

第1回松本市教育振興基本計画策定委員会

日 時：令和3年2月22日（月）
午後3時から午後4時30分
会 場：松本市勤労者福祉センター
2-1会議室

次 第

- 1 開 会
- 2 教育長あいさつ
- 3 委員自己紹介及び職員紹介
- 4 委員長選出、委員長職務代理指名
- 5 会議事項
 - (1) 第3次松本市教育振興基本計画の策定について
 - (2) 松本市の教育に関するアンケート調査の結果について
 - (3) 意見交換
- 6 今後の進め方について
- 7 閉 会

松本市教育振興基本計画 策定委員会資料
3. 2. 22
教育政策課

第3次松本市教育振興基本計画の策定について

1 趣旨

現行の第2次松本市教育振興基本計画（基本構想及び基本計画）の計画期間が令和3年度で終了することに伴い、第3次松本市教育振興基本計画を策定するものです。

2 計画の位置付けと性格

- (1) 教育基本法第17条第2項に基づく地方公共団体における教育の振興のための施策に関する基本的な計画
- (2) 松本市総合計画における教育・文化に関する個別計画としての性格を有するもの

3 構成と計画期間

- (1) 基本構想 令和4年度から令和13年度まで（10年間）
- (2) 基本計画 令和4年度から令和8年度まで（5年間）

4 策定方法

- (1) 市民アンケート調査及びヒアリング調査の実施
松本市の教育の現状と課題に関する意識を収集するため、アンケート調査（児童生徒、保護者、教職員、一般市民を対象）及び、ヒアリング調査（社会教育関係団体他）を実施
- (2) 検討機関の設置
 - ア 庁内調整会議
 - ア 関係部局長で組織する「松本市教育振興基本計画策定庁内調整会議」を設置
 - イ 調整会議の効率的な進行を図るため、調整会議の事前調整を行う幹事会を設置
 - イ 松本市教育振興基本計画策定委員会
市民意識や社会情勢を反映するため、学校関係者及び社会教育関係者を委員とする「松本市教育振興基本計画策定委員会」を設置
- (3) 計画策定支援業務の委託
委託事業者 株式会社 名豊（名古屋市）

「松本市の教育に関するアンケート調査」実施の概要と調査結果からみる課題（案）

1 国が示す方向 （第3期教育振興基本計画）

◎計画期間 平成31年度～令和4年度

- 重点事項
 - 「自立」「協働」「創造」
 - 「超スマート社会（Society 5.0）」の実現に向けた技術革新が進展するなか「人生100年時代」を豊かに生きていくためには、「人づくり革命」、「生産性革命」の一環として、若年期の教育、生涯にわたる学習や能力向上が必要
 - 教育を通じて生涯にわたる一人一人の「可能性」と「チャンス」を最大化することを今後の教育政策の中心に据えて取り組む

2. 基本的な方針

- 夢と志を持ち、可能性に挑戦するために必要となる力を育成する
- 社会の持続的な発展を牽引するための多様な力を育成する
- 生涯学び、活躍できる環境を整える
- 誰もが社会の担い手となるための学びのセーフティネットを構築する
- 教育政策推進のための基盤を整備する

3 松本市の現行の教育振興計画

◎計画期間 平成29年度～令和3年度

- 基本構想 「学都松本」をめざして
- 「学都松本」をめざすまちの姿 《①学び続けるまち》
《②共に学ばまち》
《③次代に引き継ぐまち》

3. 基本目標

- 子どもの教育の充実
- 生涯学習の推進
- スポーツを通じた健康づくり
- 文化芸術を通じた教育の推進
- 歴史・文化資産の保護と活用
- 教育委員会の機能の充実

4 松本市の本計画に関連する計画

- 第2次松本市子どもにやさしいまちづくり推進計画（令和2年度～令和6年度）
- 第2次松本市地域づくり実行計画（平成29年度～令和3年度）
- 第3期松本市地域福祉計画・地域福祉活動計画（平成28年度から令和2年度）
- 第5期松本市障害福祉計画及び第1期松本市障害児福祉計画（平成30年度から令和2年度）など

2 教育を取り巻くわが国の状況

- 社会的な潮流
 - 社会経済情勢の急激な変化
 - 人口減少と少子高齢化
 - 高度情報化の進展と技術革新
 - 在留外国人の増加
 - 地域コミュニティや家庭の状況の変化
- 子どもの状況
 - 子どもの学力について自分の考えを述べたり、解釈・説明したりすることに課題あり
 - 子どもの自己肯定感・自己有用感が諸外国に比べて低い
 - 多様性を受け入れる人権課題への対応が求められている
 - 運動する子どもとしない子どもの二極化傾向
- 教育を取り巻く状況
 - 子どもの貧困など教育の機会均等
 - 大規模災害と感染症拡大からの教訓
 - 人生100年時代の到来
 - 働き方改革の促進
 - 社会の継続的な成長・発展を目標とする国際的な取組を促進（SDGs）

5 アンケートの実施

- 幼稚園・保育園・養護学校保護者
- 小学生・中学生保護者
 - 問 おさんが通っている学校等に対して望むこと
 - 問 子どもの教育について、関心のあること
 - 問 松本市の子どもたちになってほしい姿
 - 問 子どもたちを取り巻く環境の変化
 - 問 子どもの教育に関して課題
 - 問 子育てで大切にしていること
 - 問 松本市がめざす「学都松本」の認知度 など
- 小学生・中学生
 - 問 ①自分に自信がある、②いろいろなことに積極的に挑戦することができる、③自分のことが好き
 - 問 ①友だちとの関係、②先生との関係、③学校の雰囲気、④クラスの雰囲気
 - 問 学習塾（家庭教師を含む）や習いごとへの通いの状況
 - 問 心配ごとの有無
 - 問 将来なりたい職業
 - 問 将来の松本市への居住希望 など
- 教職員・保育士・幼稚園教諭
 - 問 「生きがい」、「やりがい」の有無
 - 問 仕事をするうえで、①時間をかけている業務、②負担感を感じている業務
 - 問 多忙を解消するために必要なこと
 - 問 学校教育等で子どもたちに学んでほしいこと
 - 問 子どもの教育に関して課題 など
- 一般調査
 - 問 家庭での教育力向上に必要な取組み
 - 問 地域で子どもを育てるために必要な取組み
 - 問 生涯学習活動の実施状況
 - 問 学習情報やサークル情報の入手方法
 - 問 松本市がめざす「学都松本」の認知度 など

6 アンケートを補完するヒアリングの実施

7 直近の国の動向 （令和の日本型学校教育）

◎令和3年1月答申

- 基本理念
「個別最適な学び」「協働的な学び」
- 基本的な方針
 - 学校教育の質と多様性、包摂性を高め、教育の機会均等を実現する
 - 連携・分担による学校マネジメントを実現する
 - これまでの実践とICTとの最適な組み合わせを実現する
 - 履修主義・修得主義等を適切に組み合わせる
 - 感染症や災害の発生等を乗り越えて学びを保障する
 - 社会構造の変化の中で、持続的に魅力ある学校教育を実現する

8 松本市の新たな総合計画 （2021年度～）

○今後10年間のまちづくりを方向性を示す「基本構想2030」の素案に関するパブリックコメントを令和3年1月に実施

- キャッチフレーズ
「豊かさ幸せに挑み続ける三ガク都」
- 基本理念
松本市民は、日々の暮らしの中で、
（岳）自然豊かな環境に感謝し

（楽）文化・芸術を楽しむ

（学）共に生涯学び続ける

ことにより、三ガク都に象徴される松本らしさを「シンカ（進化、深化、真価）」する

9 松本市の教育の現状を踏まえたSWOT分析による重要課題（案）

重要課題を抽出するにあたり、国、松本市の方針を踏まえ、松本市の教育行政で充実していること、問題となっていることを整理するとともに、国や社会的な問題点を整理し、重要課題を抽出しました。

松本市において充実していること【強み】	松本市において問題となっていること【弱み】
<ul style="list-style-type: none"> ・特色ある学校づくり（地域づくり）の学習会 ・特別支援教育における副学籍制度、地域連携、保護者支援 ・先進的な学校給食のアレルギー対応 ・松本版コミュニティスクール事業の実施 ・観光資源の「松本城」と新国宝の「旧開智学校」 ・全国初の認定を受けた松本市文化財保存活用地域計画 ・美術館における国内外の美術作品を紹介する展覧会の開催 ・松本まるごと博物館構想 ・「学都松本」の認知度（アンケート） など ※令和元年度教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価報告書より（一部アンケート） 	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの体力、運動能力 ・全ての教職員に対するカリキュラムマネジメント ・三密を意識しての学習や部活動など、学校の教職員や子どもたちに大変なストレスが生じている ・家庭でリモート授業を実施できない子ども ・新しい生活様式に対応した避難訓練、避難生活の心構え、学校生活の仕方等の学習 ・「松本市子どもの権利に関する条例」の認知度（アンケート） ・生涯学習活動をしていない方が半数（アンケート） など ※令和元年度教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価報告書より（一部アンケート）
国等の動向社会的背景【機会】	社会的な問題【脅威】
<ul style="list-style-type: none"> ・日本語指導が必要な外国人児童生徒が増加 ・新学習指導要領を踏まえた教育環境の整備 ・小中一貫教育をはじめとした学制改革 ・幼児教育・保育の無償化 ・教員の働き方改革 ・学校を核とした地域との連携・協働 など 	<ul style="list-style-type: none"> ・少子化・高齢化による社会活力の低下 ・雇用環境の変容 ・格差の再生産・固定化 ・新型コロナウイルスによる学校スケジュールの遅れと体験の不足 ・安全・安心な学校づくり ・性的マイノリティへの配慮、児童虐待への対応など、多様化する対策が必要 など

【重要課題（1）】子どもが主体的・対話的で深い学びを通して、課題を見つけ解決していく力を育てていくことが必要です。あわせて、子どもの自己肯定感を高めるとともに、家庭の教育力を高めるために親自身が子どもの状況とその環境の変化を把握していくことが必要です。

【重要課題（2）】人生100年時代を迎えるにあたり、市内の教育資源を軸とした地域コミュニティの維持・活性化や地域課題の解決に寄与する「学び」と「活動」の循環の形成が必要とされています。

【重要課題（3）】学校経営改革として学校における組織体制や教員の働き方を見直すとともに、地域の多様な人材を活用した推進をすることが必要とされています。

「松本市の教育に関するアンケート調査」に関する主な調査結果

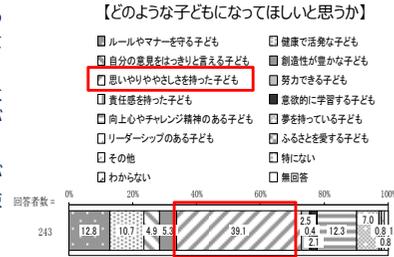
《 家庭 》

《 子ども本人 》

《 学校・地域 》

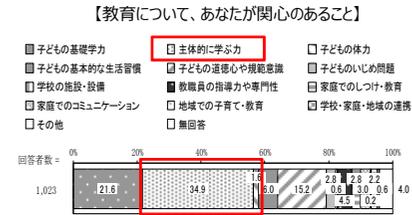
(1) 幼稚園・保育園・養護学校保護者

問7 学校等に対して望むことは、「学校等での出来事など情報を提供してほしい」が31.3%と最も高い。
 問9 子どもの教育について、関心のあることは、「主体的に学ぶ力」が32.5%と最も高い。
 問10 松本市の子どもたちに、どのような子どもになってほしいと思うかは、「思いやりやさしさを持った子ども」が39.1%と最も高い。【図参照】
 問12 子どもの教育に関して課題は、「いじめ問題」の割合が51.0%と最も高い。
 問15 地域の行事にお子さんと一緒に参加しているかは、「よく参加している」と「時々参加している」をあわせた「参加している」の割合が49.8%。
 問17 子育てで大切にしていることは、「ほめるときはほめ、しかるときはきちんとしかること」の割合が25.1%と最も高い。
 問19 家庭での教育力向上にどのような取り組みが必要だと思うかは、「子どもと保護者が一緒に体験できる機会の充実」の割合が25.9%と最も高い。



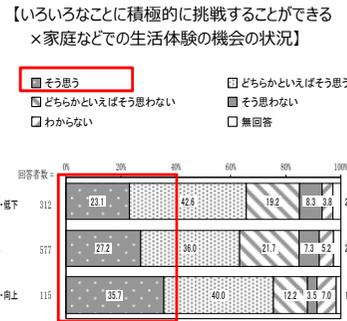
(2) 小中学生保護者

問7 お子さんを通っている学校等に対して望むことは、「授業を充実してほしい」が50.8%と最も高い。
 問9 子どもの教育について、あなたが関心のあることは、「主体的に学ぶ力」が34.9%と最も高い。【図参照】
 問10 松本市の子どもたちに、どのような子どもになってほしいと思うかは、「思いやりやさしさを持った子ども」が34.0%と最も高い。
 問12 子どもの教育に関して課題は、「基礎学力の低下」が36.5%と最も高い。
 問13 松本市の教育について、【現在の状況】は、『ICTを活用した学び』『英語教育』で“十分と感じない”が約4割。また、『読書活動』『安全・安心な学校施設』『学校から地域・家庭への情報発信』で“十分と感じる”が約3割。【今後の重要度】は、すべての項目で“重要”が高く、特に『英語教育』で8割半ば。
 問15 地域の行事にお子さんと一緒に参加しているかは、「よく参加している」と「時々参加している」をあわせた「参加している」が62.2%。
 問17 子育てで大切にしていることは、「スキンシップや会話をたくさんすること」が23.7%と最も高い。
 問19 家庭での教育力向上にどのような取り組みが必要だと思うかは、「大人が自ら見本となる意識の向上」が23.7%と最も高い。



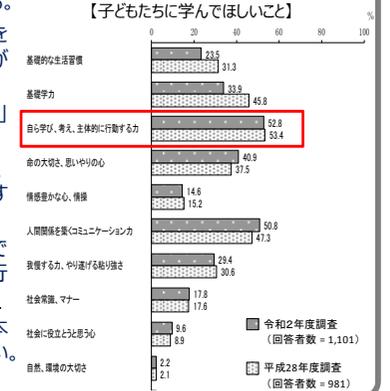
(3) 小中学生

問3 自身について、すべての項目で、学年が下がるにつれ「そう思う」が高い。
 また、保護者の回答で家庭などでの生活体験の機会の状況において、増加・濃厚・向上と回答している方や「学都松本」の認知度を、めざすまちの姿まで知っている”と回答している方で、その子どもが”そう思う”と回答している割合が高い。【図参照】
 問19 心配ごとがあるかについて、「ある」と「ときどきある」をあわせた“ある”が36.2%。学年別でみると、学年が上がると「ある”の割合が高くなっており、中学校3年生で約5割。
 問26 将来なりたい職業があるかについて、「何となくある」が38.1%と最も高い。また、学年別でみると、他に比べ、中学校3年生で「考えたことはあるが決まっていない」が高く、約3割。
 問27 将来、松本市に住みたいと思うかは、「できれば住みたい」が27.6%と最も高い。また、学年別でみると、学年が下がるにつれ「ずっと住み続けたい」が高くなっており、小学校3年生で約3割。さらに、保護者の回答で家庭などでの生活体験の機会の状況において、増加・濃厚・向上で「ずっと住み続けたい」の割合が高い。



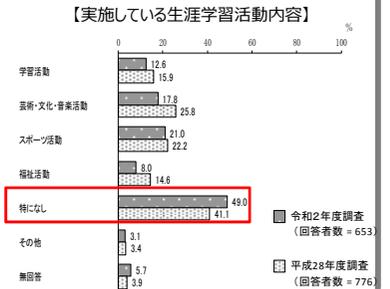
(4) 教職員

問3 ご自身の職務に「生きがい」、「やりがい」を感じるかについて、「感じる」と「どちらかといえば感じる」をあわせた“感じる”が91.8%、「あまり感じない」と「感じない」をあわせた“感じない”の割合が7.1%。平成28年度調査と比較すると、「感じる」の割合が減少。
 問4 ご自身の職務について忙しいと感じているかは、「感じている」と「どちらかというと感じている」をあわせた“感じている”が89.7%。また、学校種別でみると、他に比べ、保育園で“感じている”が高く、9割半ばとなっている。
 問5 仕事をすううえで、あなたが、①時間をかけている業務は、「保育・授業の準備」が60.2%と最も高い。
 ②負担感を感じている業務は、「事務処理」が37.8%と最も高い。
 問6 多忙を解消するために必要なことは、「調査や事務関係の書類の提出を少なくする」が21.0%と最も高い。
 問11 学校教育等で特に子どもたちに学んでほしいことは、「自ら学び、考え、主体的に行動する力」が52.8%と最も高い。【図参照】
 問12 子どもの教育に関して課題は、「基本的な生活習慣の乱れ」が55.7%と最も高い。



(5) 一般

問12 地域で子どもを育てるためにはどのような取り組みが必要だと思うかは、「地域の大人が地域の子どもの関心を持ち、ほめたり、注意したり、声をかける」が34.0%と最も高い。
 問16 どんな生涯学習活動をしているかは、「特になし」が49.0%と最も高い。【図参照】
 問18 学習情報やサークル情報をどのように知るかは、「広報まつもと」が55.1%と最も高い。平成28年度調査と比較すると、「インターネット」が増加。
 問24 松本市が「学都松本」をめざしていることを知っているかについて、「内容はわからないが聞いたことはある」の割合が66.6%と最も高い。



【まとめ】
 ・子どもの教育の関心は、「主体的に学ぶ力」が最も高い。
 ・子どもになってほしい姿は、「思いやりやさしさを持った子ども」が最も高い。
 ・松本市の教育について、「読書活動」、「学校施設」、「学校からの情報発信」の評価が高い。一方で、「ICTを活用した学び」や「英語教育」で評価が低い。
 ・子育てで大切にしていることは、「スキンシップや会話」、「ほめるときはほめ、しかるときはしかること」が高い。

【まとめ】
 ・子どもの自己肯定感に関する質問は、学年があがるにつれ低くなる。家庭での生活体験や保護者の「学都松本」に対する認知度が高いほど自己肯定感が高くなっている。
 ・子どもの心配事は学年が上がると高くなる、中学3年生では約5割。
 ・将来なりたい職業で「何となくある」が最も高い。
 ・松本市に住み続けたい意向は、学年があがるにつれ低くなる。家庭での生活体験が高いほど住み続けたい意向が高くなっている。

【まとめ】
 ・教員の職務について、約9割が忙しいと回答している。また、負担を感じながら、時間をかけているのは、「事務処理」が最も高い。
 ・教員が学校教育で特に学んでほしいことは、「主体的に学び、考え行動する力」と「コミュニケーション力」が最も高い。
 ・一般市民で、生涯学習活動をしていない方が約半数。5年前に比べ増加。
 ・一般市民で、学習情報やサークル情報について、「広報まつもと」の割合が最も高いが、5年前と比べ、「インターネット」の割合が増加している。

松本市の教育に関するアンケート調査
調査結果報告書（案）

【抜粋版】

令和3年 月

松本市教育委員会

I 調査の概要

1 調査の目的

本調査は、教育に関する市民の意見を把握し、今後の教育行政推進の参考にするとともに、「第3次松本市教育振興基本計画」を策定していく上での基礎資料とすることを目的として実施したものです。

2 調査対象

- (1)児童・生徒：市内小学校13校、中学校10校の小学校3、6年生、中学校3年生
- (2)保護者：(1)児童・生徒の保護者に加え、市内幼稚園・保育園12園の年長クラス保護者及び養護学校小学校3、6年生、中学校3年生保護者
- (3)教職員：(1)(2)対象校、園の教職員等に加え市内7校の高等学校教職員
- (4)一般：16歳以上の市民から1,500名を無作為抽出

※(4)一般以外は、前回調査（平成28年度）と同じ学校を対象として、経年変化を追跡する。

3 調査期間

令和2年10月30日から令和2年11月20日

4 調査方法

郵送による配布・回収

学校を通じて直接配付・回収

5 回収状況

	配布数	有効回答数	有効回答率
児童・生徒	1,299通	1,020通	78.5%
幼稚園・保育園・ 養護学校保護者	1,641通	1,266通	77.1%
小中学生保護者			
教職員	1,479通	1,101通	74.4%
一般	1,500通	653通	43.5%
合計	5,919通	4,040通	68.3%

6 調査結果の表示方法

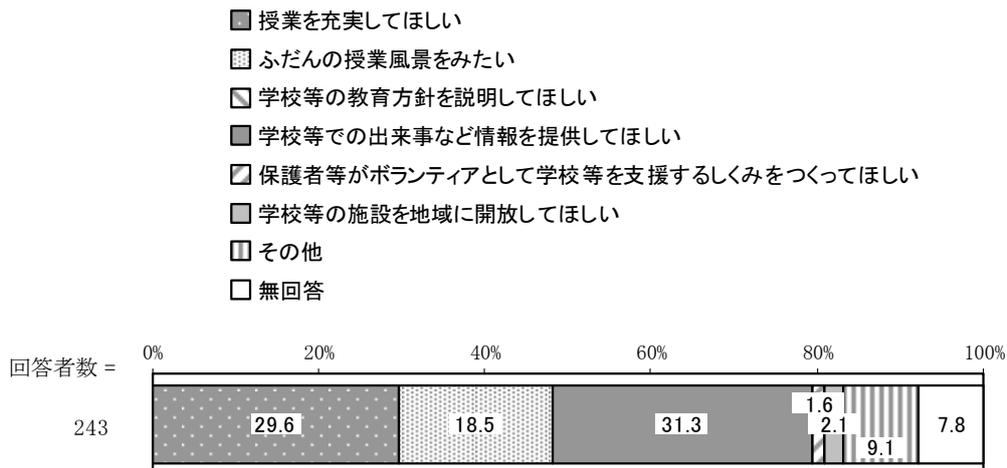
- ・回答は各質問の回答者数（N）を基数とした百分率（%）で示してあります。また、小数点以下第2位を四捨五入しているため、内訳の合計が100.0%にならない場合があります。
- ・複数回答が可能な設問の場合、回答者が全体に対してどのくらいの比率であるかという見方になるため、回答比率の合計が100.0%を超える場合があります。
- ・クロス集計の場合、無回答を排除しているため、クロス集計の有効回答数の合計と単純集計（全体）の有効回答数が合致しないことがあります。なお、クロス集計とは、複数項目の組み合わせで分類した集計のことで、複数の質問項目を交差して並べ、表やグラフを作成することにより、その相互の関係を明らかにするための集計方法です。
- ・調査結果を図表にて表示していますが、グラフ以外の表は、最も高い割合のものを■で網かけをしています。（無回答を除く）

II 調査結果

1 幼稚園・保育園・養護学校保護者

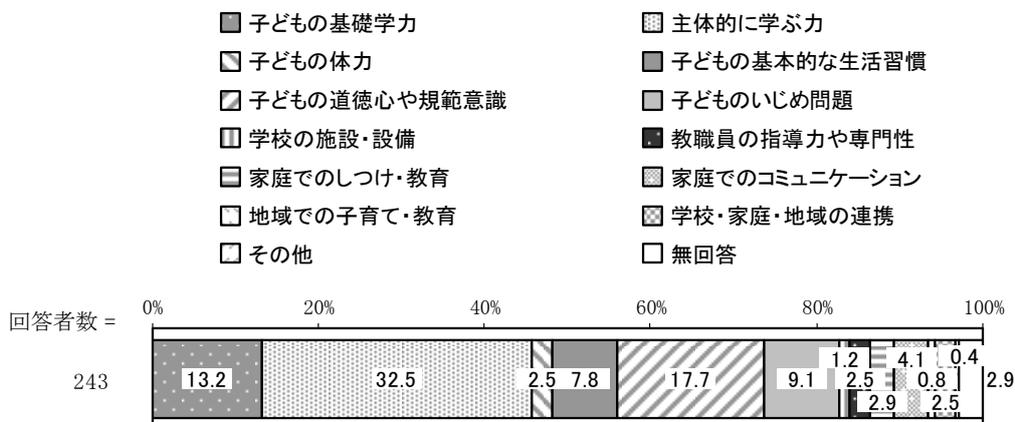
問7 あなたは、お子さんが通っている学校等に対して何を望みますか。
(最もあてはまるもの1つに○)

「学校等での出来事など情報を提供してほしい」の割合が31.3%と最も高く、次いで「授業を充実してほしい」の割合が29.6%、「ふだんの授業風景をみたい」の割合が18.5%となっています。



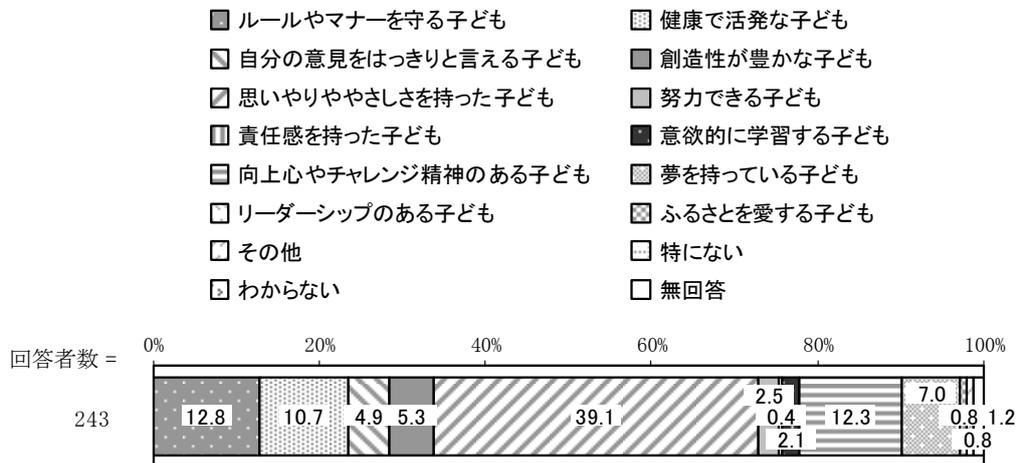
問9 子どもの教育について、あなたが関心のあることは何ですか。
(最もあてはまるもの1つに○)

「主体的に学ぶ力」の割合が32.5%と最も高く、次いで「子どもの道徳心や規範意識」の割合が17.7%、「子どもの基礎学力」の割合が13.2%となっています。



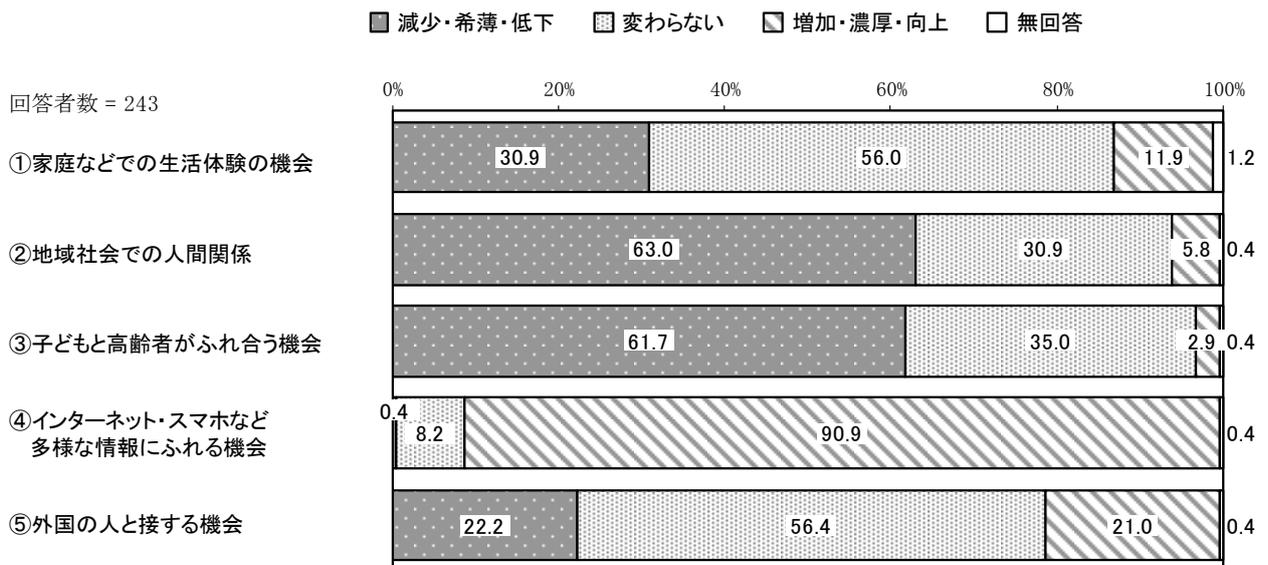
問10 あなたは、松本市の子どもたちに、どのような子どもになってほしいと思いますか。

「思いやりやさしさを持った子ども」の割合が39.1%と最も高く、次いで「ルールやマナーを守る子ども」の割合が12.8%、「向上心やチャレンジ精神のある子ども」の割合が12.3%となっています。



問11 子どもたちを取り巻く環境は、この数年、どのように変化してきたと思いますか。(〇は①～⑤ごとに1つ)

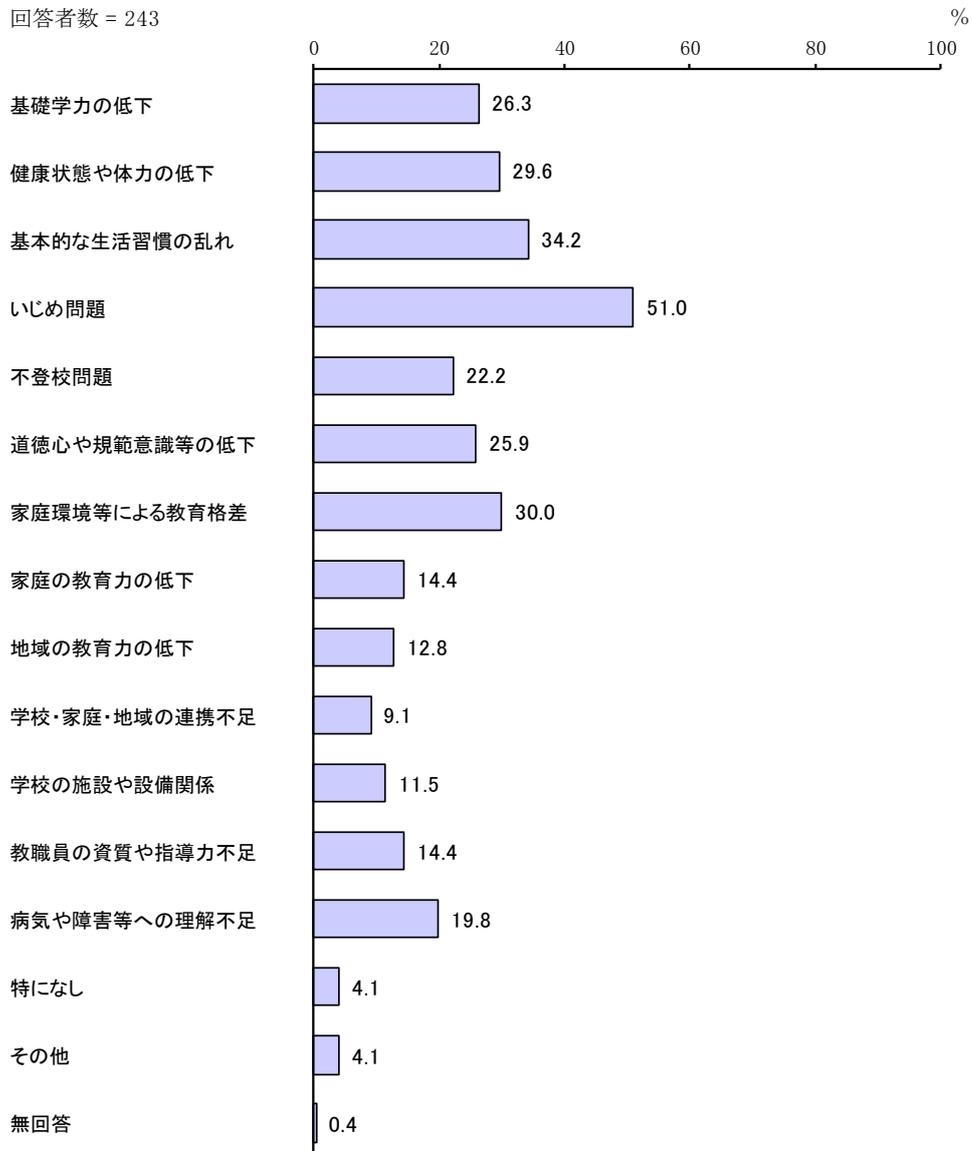
『②地域社会での人間関係』『③子どもと高齢者がふれ合う機会』で「減少・希薄・低下」の割合が高く、約6割となっています。また、『④インターネット・スマホなど多様な情報にふれる機会』で「増加・濃厚・向上」の割合が高く、約9割となっています。



問12 子どもの教育に関して課題は何だと思えますか。(あてはまるものすべてに○)

「いじめ問題」の割合が51.0%と最も高く、次いで「基本的な生活習慣の乱れ」の割合が34.2%、「家庭環境等による教育格差」の割合が30.0%となっています。

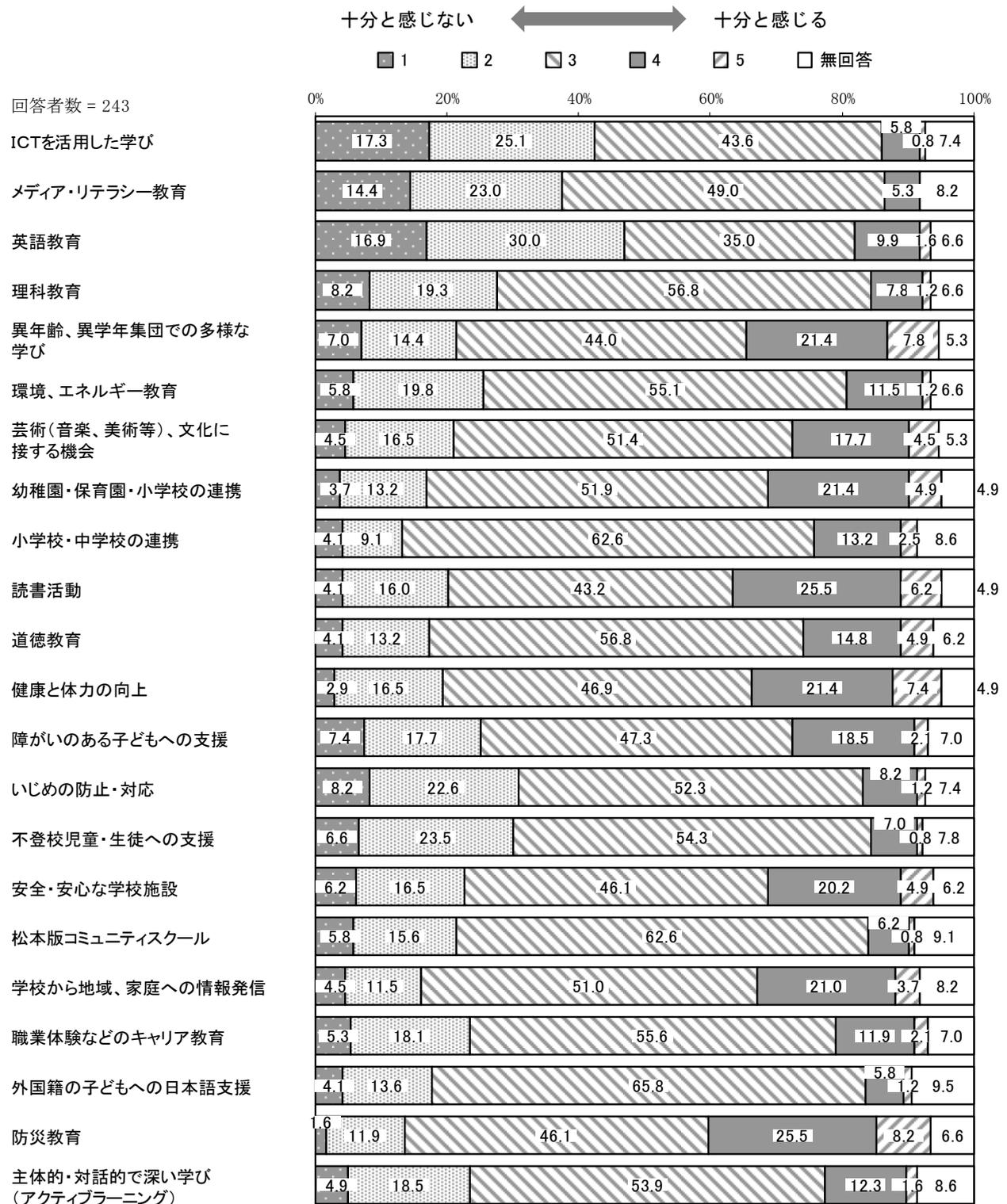
回答者数 = 243



問 13 松本市の教育について「現在の状況」と「今後の重要度」について、それぞれ5段階であなたの考えに最も近い番号を1つずつ選んで○をつけてください。

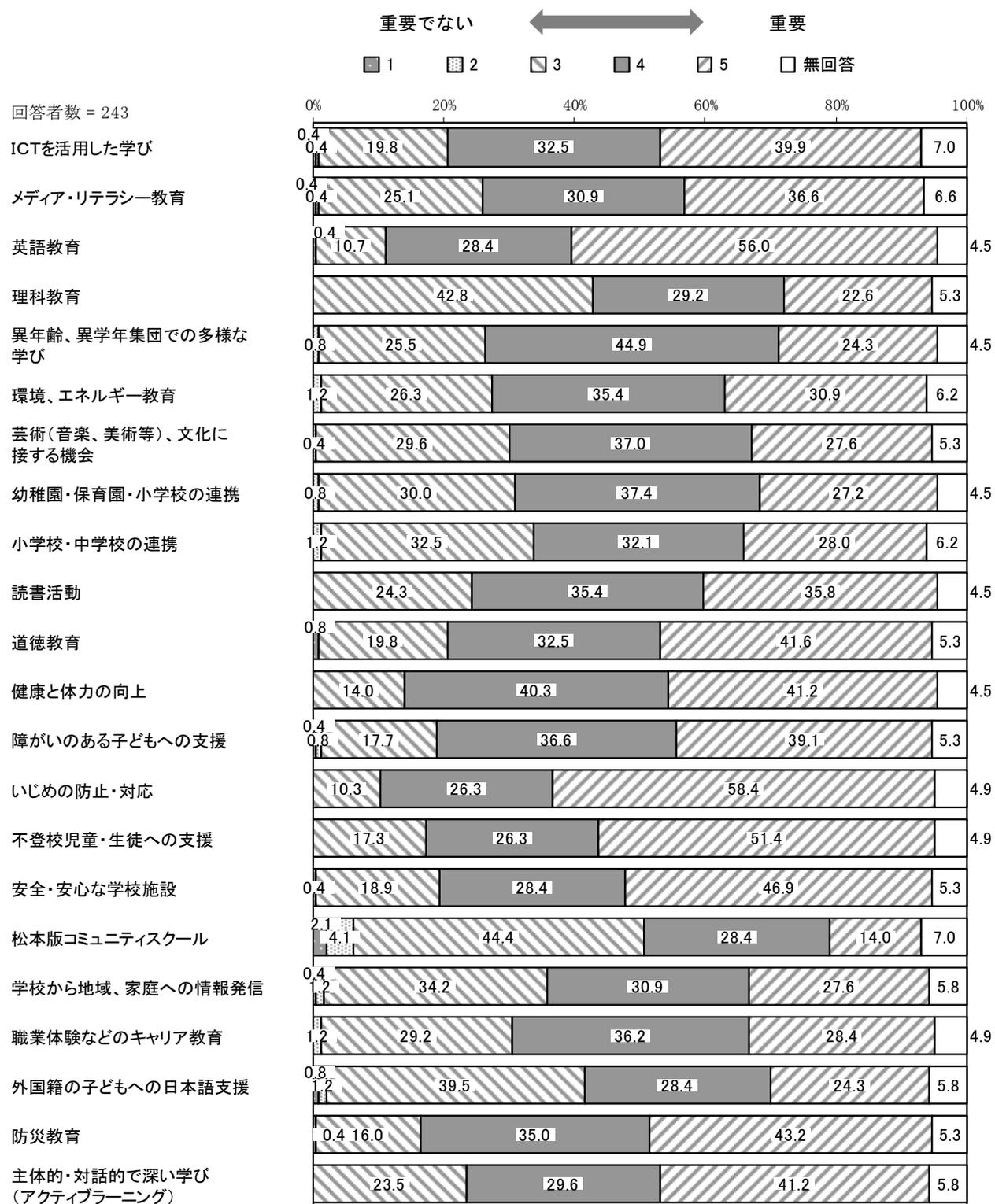
1. 現在の状況

『ICTを活用した学び』で「1」と「2」をあわせた“十分と感じない”の割合が高く、4割を超えています。また、『異年齢、異学年集団での多様な学び』『読書活動』『健康と体力の向上』『防災教育』で「4」と「5」をあわせた“十分と感じる”の割合が高く、約3割となっています。



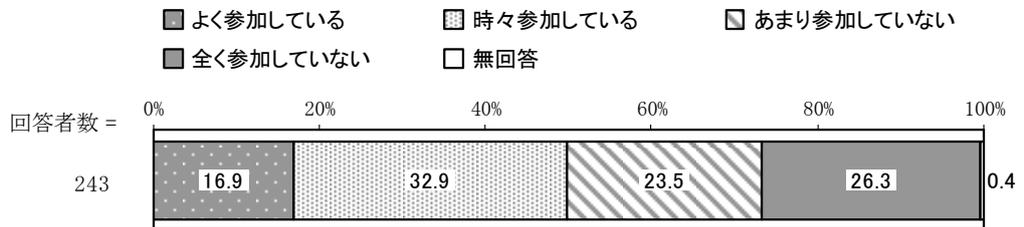
2. 今後の重要度

すべての項目で「4」と「5」をあわせた“重要”の割合が5割を超えています。特に『英語教育』『健康と体力の向上』『いじめの防止・対応』では“重要”の割合が高く、8割を超えています。



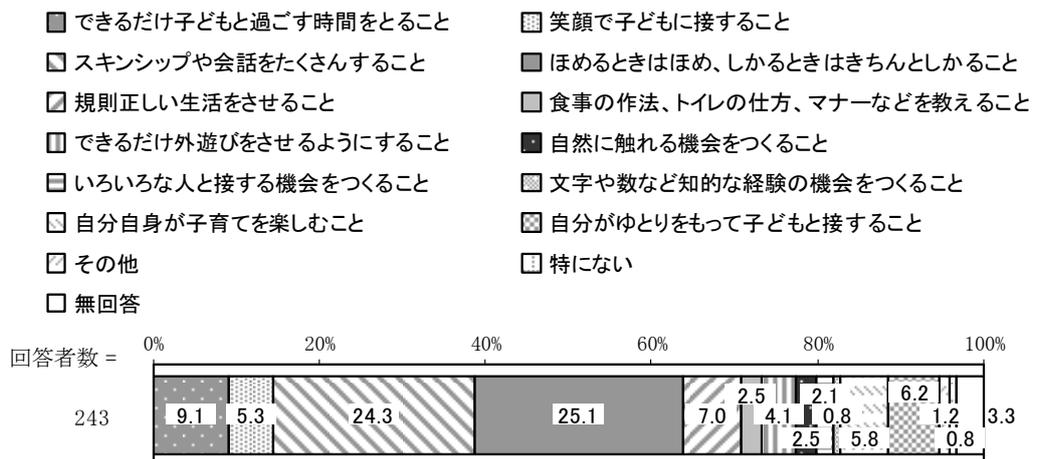
問 15 昨年 1 年間で、地域の行事にお子さんと一緒に参加していますか。

「よく参加している」と「時々参加している」をあわせた“参加している”の割合が 49.8%、「あまり参加していない」と「全く参加していない」をあわせた“参加していない”の割合が 49.8% となっています。



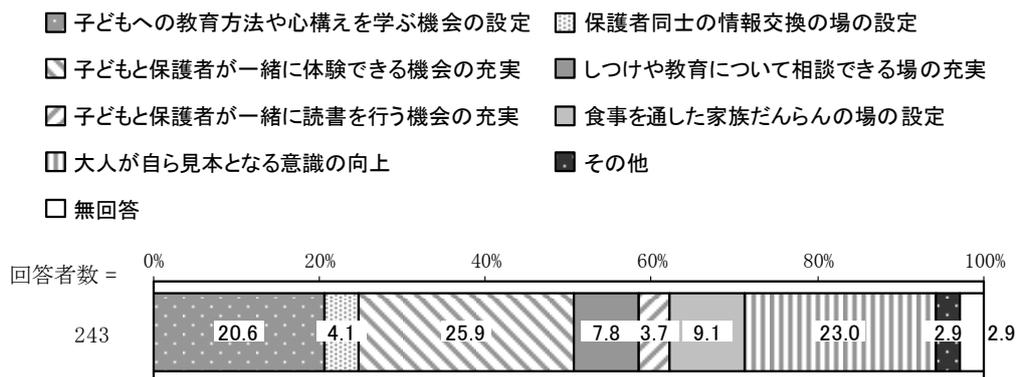
問 17 あなたが子育てで大切にしていることはどんなことですか。(最もあてはまるもの 1 つに○)

「ほめるときはほめ、しかるときはきちんとしかること」の割合が 25.1%と最も高く、次いで「スキンシップや会話をたくさんすること」の割合が 24.3%となっています。



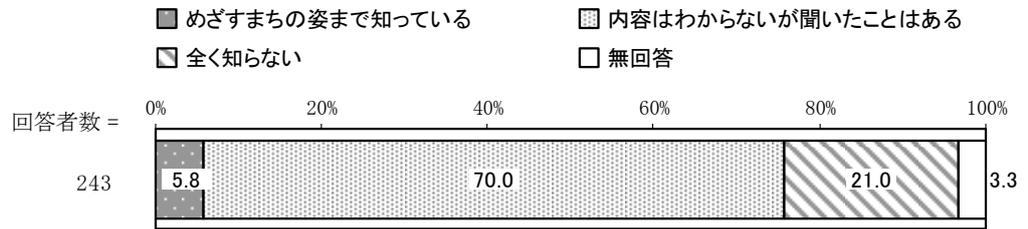
問 19 あなたは、家庭での教育力向上にどのような取組みが必要だと思いますか。(最もあてはまるもの 1 つに○)

「子どもと保護者が一緒に体験できる機会の充実」の割合が 25.9%と最も高く、次いで「大人が自ら見本となる意識の向上」の割合が 23.0%、「子どもへの教育方法や心構えを学ぶ機会の設定」の割合が 20.6%となっています。



問 22 松本市が「学都松本」をめざしていることを知っていますか。

「内容はわからないが聞いたことはある」の割合が 70.0%と最も高く、次いで「全く知らない」の割合が 21.0%となっています。

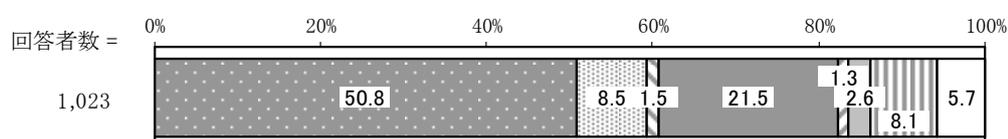


2 小学生・中学生保護者

問7 あなたは、お子さんが通っている学校等に対して何を望みますか。
(最もあてはまるもの1つに○)

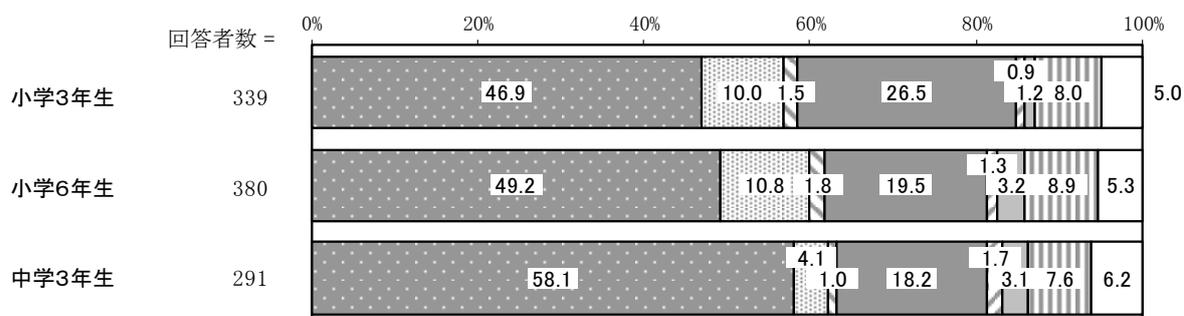
「授業を充実してほしい」の割合が50.8%と最も高く、次いで「学校等での出来事など情報を提供してほしい」の割合が21.5%となっています。

- 授業を充実してほしい
- ふだんの授業風景をみたい
- 学校等の教育方針を説明してほしい
- 学校等での出来事など情報を提供してほしい
- 保護者等がボランティアとして学校等を支援するしくみをつくってほしい
- 学校等の施設を地域に開放してほしい
- その他
- 無回答



【子どもの学年別】

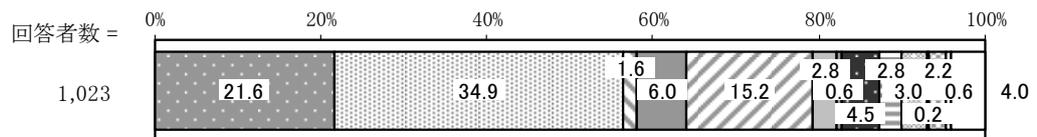
子どもの学年別で見ると、他に比べ、中学3年生で「授業を充実してほしい」の割合が高く、約6割となっています。また、小学3年生で「学校等での出来事など情報を提供してほしい」の割合が高く、2割半ばとなっています。



問9 子どもの教育について、あなたが関心のあることは何ですか。
(最もあてはまるもの1つに○)

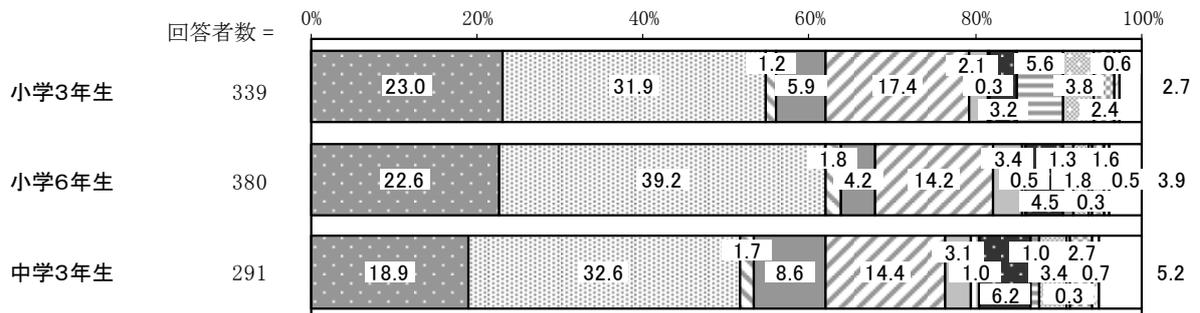
「主体的に学ぶ力」の割合が34.9%と最も高く、次いで「子どもの基礎学力」の割合が21.6%、「子どもの道徳心や規範意識」の割合が15.2%となっています。

- 子どもの基礎学力
- 主体的に学ぶ力
- 子どもの体力
- 子どもの基本的な生活習慣
- 子どもの道徳心や規範意識
- 子どものいじめ問題
- 学校の施設・設備
- 教職員の指導力や専門性
- 家庭でのしつけ・教育
- 家庭でのコミュニケーション
- 地域での子育て・教育
- 学校・家庭・地域の連携
- その他
- 無回答



【子どもの学年別】

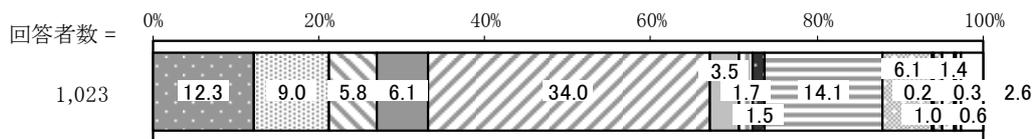
子どもの学年別で見ると、他に比べ、小学6年生で「主体的に学ぶ力」の割合が高く、約4割となっています。



問 10 あなたは、松本市の子どもたちに、どのような子どもになってほしいと思いますか。(最もあてはまるもの1つに○)

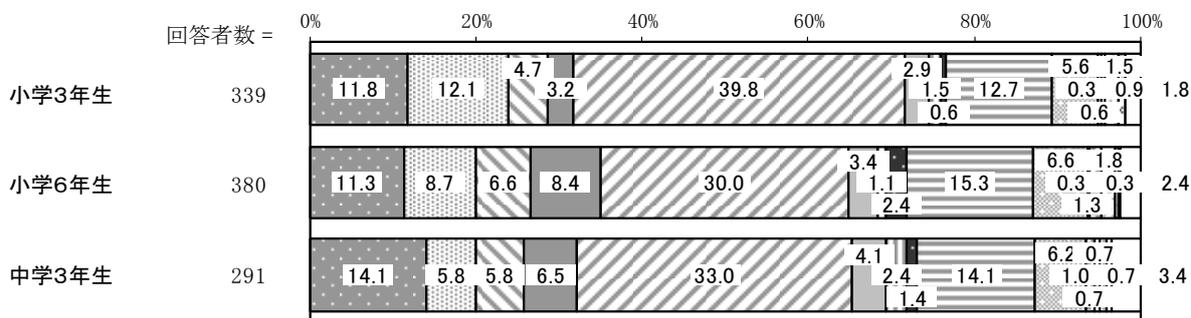
「思いやりやさしさを持った子ども」の割合が34.0%と最も高く、次いで「向上心やチャレンジ精神のある子ども」の割合が14.1%、「ルールやマナーを守る子ども」の割合が12.3%となっています。

- ルールやマナーを守る子ども
- 健康で活発な子ども
- 自分の意見をはっきりと言える子ども
- 創造性が豊かな子ども
- 思いやりやさしさを持った子ども
- 努力できる子ども
- 責任感を持った子ども
- 意欲的に学習する子ども
- 向上心やチャレンジ精神のある子ども
- 夢を持っている子ども
- リーダーシップのある子ども
- ふるさとを愛する子ども
- その他
- 特にない
- わからない



【子どもの学年別】

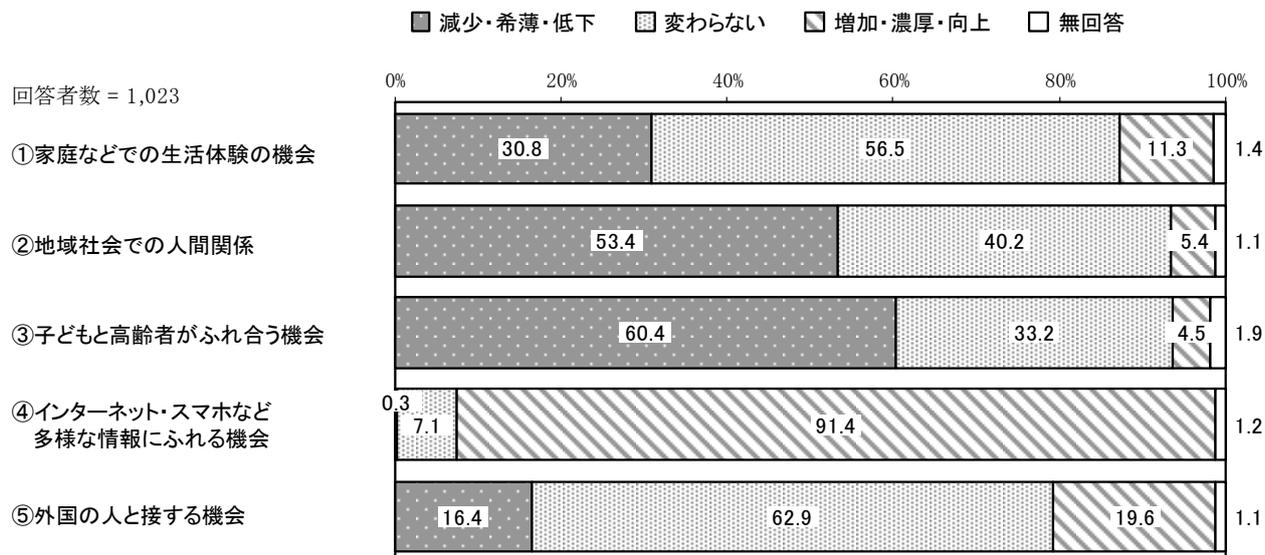
子どもの学年別で見ると、他に比べ、小学3年生で「思いやりやさしさを持った子ども」の割合が高く、約4割となっています。



問 11 子どもたちを取り巻く環境は、この数年、どのように変化してきたと思いますか。(〇は①～⑤ごとに1つ)

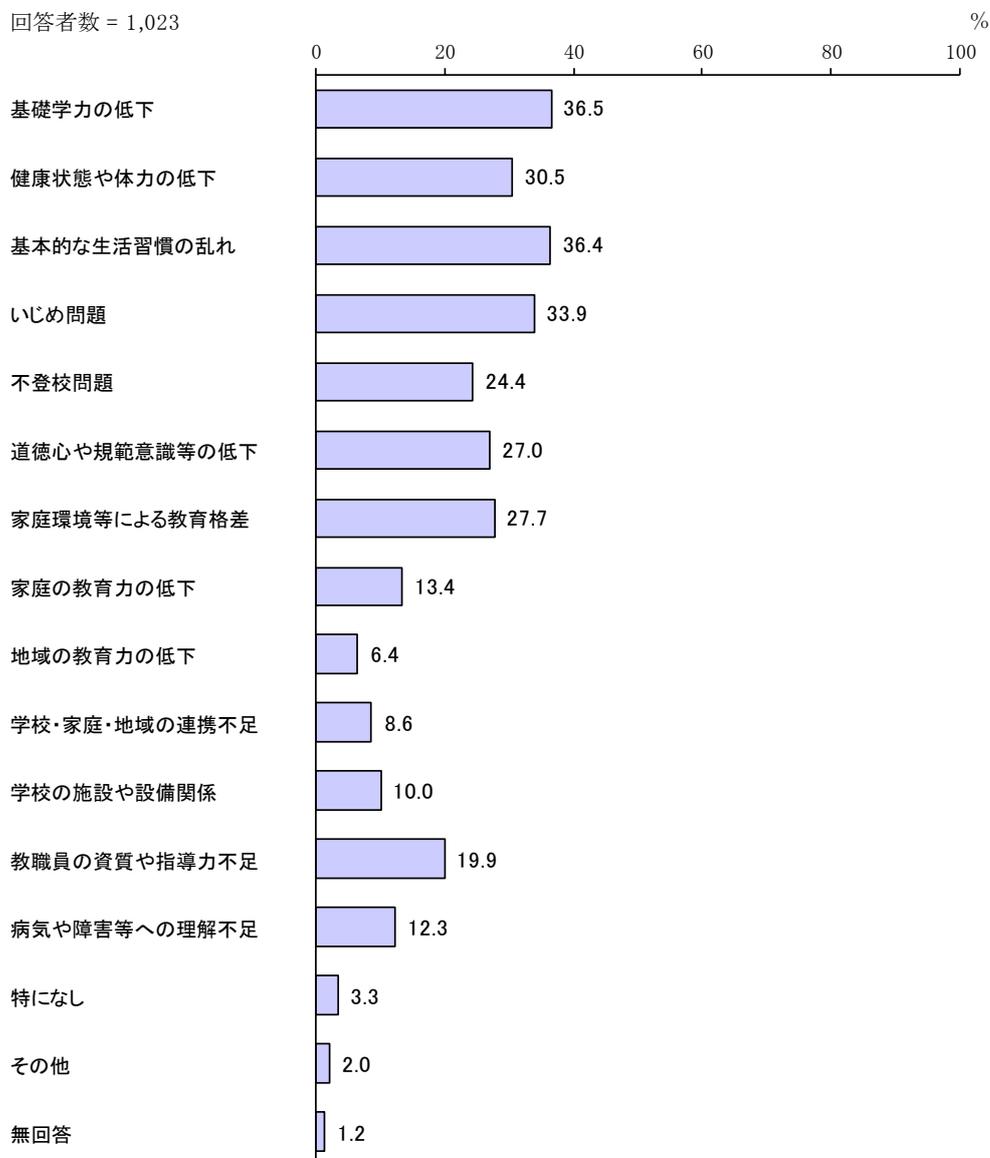
『②地域社会での人間関係』『③子どもと高齢者がふれ合う機会』で「減少・希薄・低下」の割合が高く、特に『③子どもと高齢者がふれ合う機会』で約6割となっています。

また、『④インターネット・スマホなど多様な情報にふれる機会』で「増加・濃厚・向上」の割合が高く、約9割となっています。



問 12 子どもの教育に関して課題は何だと思えますか。(あてはまるものすべてに○)

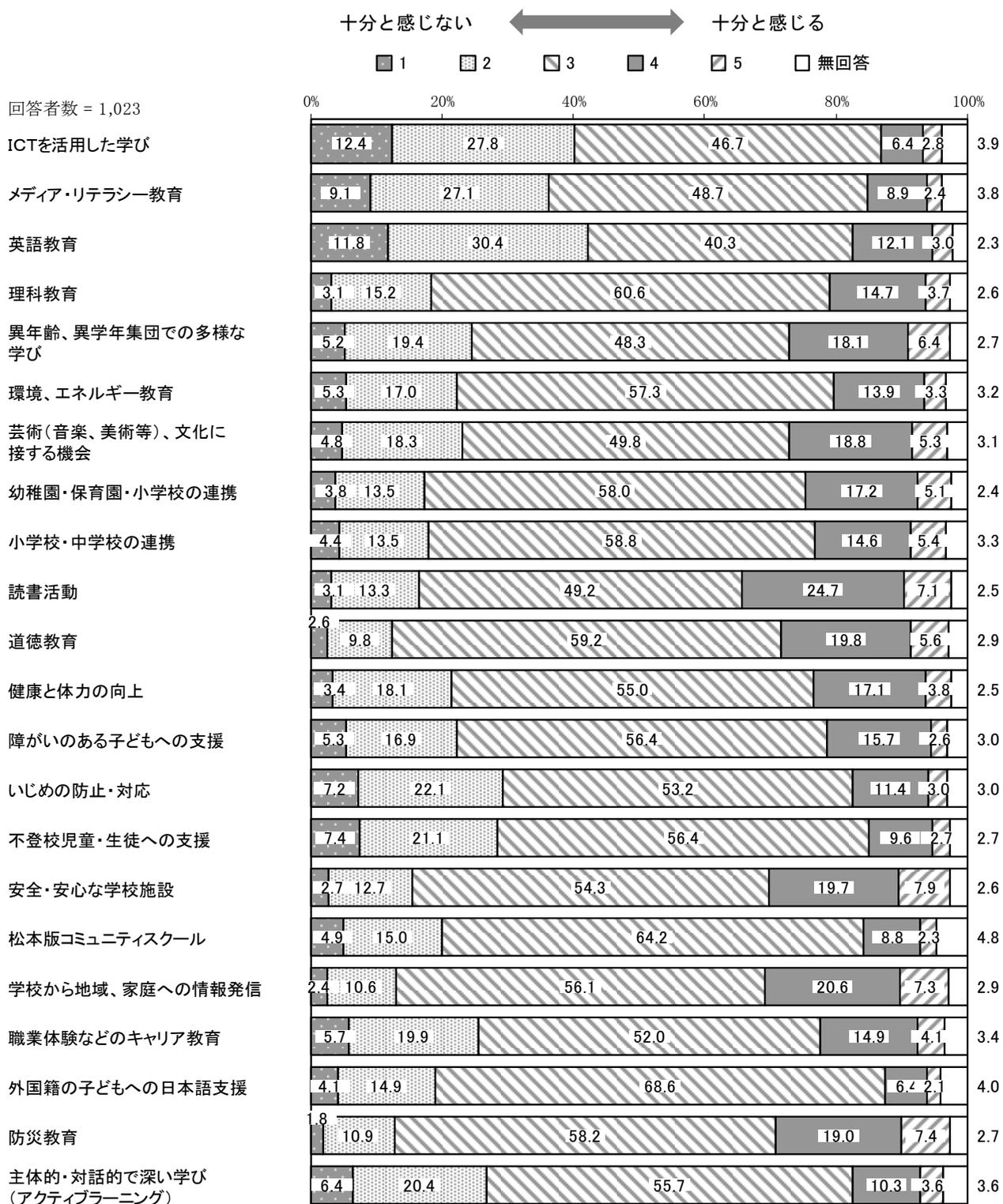
「基礎学力の低下」の割合が 36.5%と最も高く、次いで「基本的な生活習慣の乱れ」の割合が 36.4%、「いじめ問題」の割合が 33.9%となっています。



問 13 松本市の教育について「現在の状況」と「今後の重要度」について、それぞれ5段階であなたの考えに最も近い番号を1つずつ選んで○をつけてください。

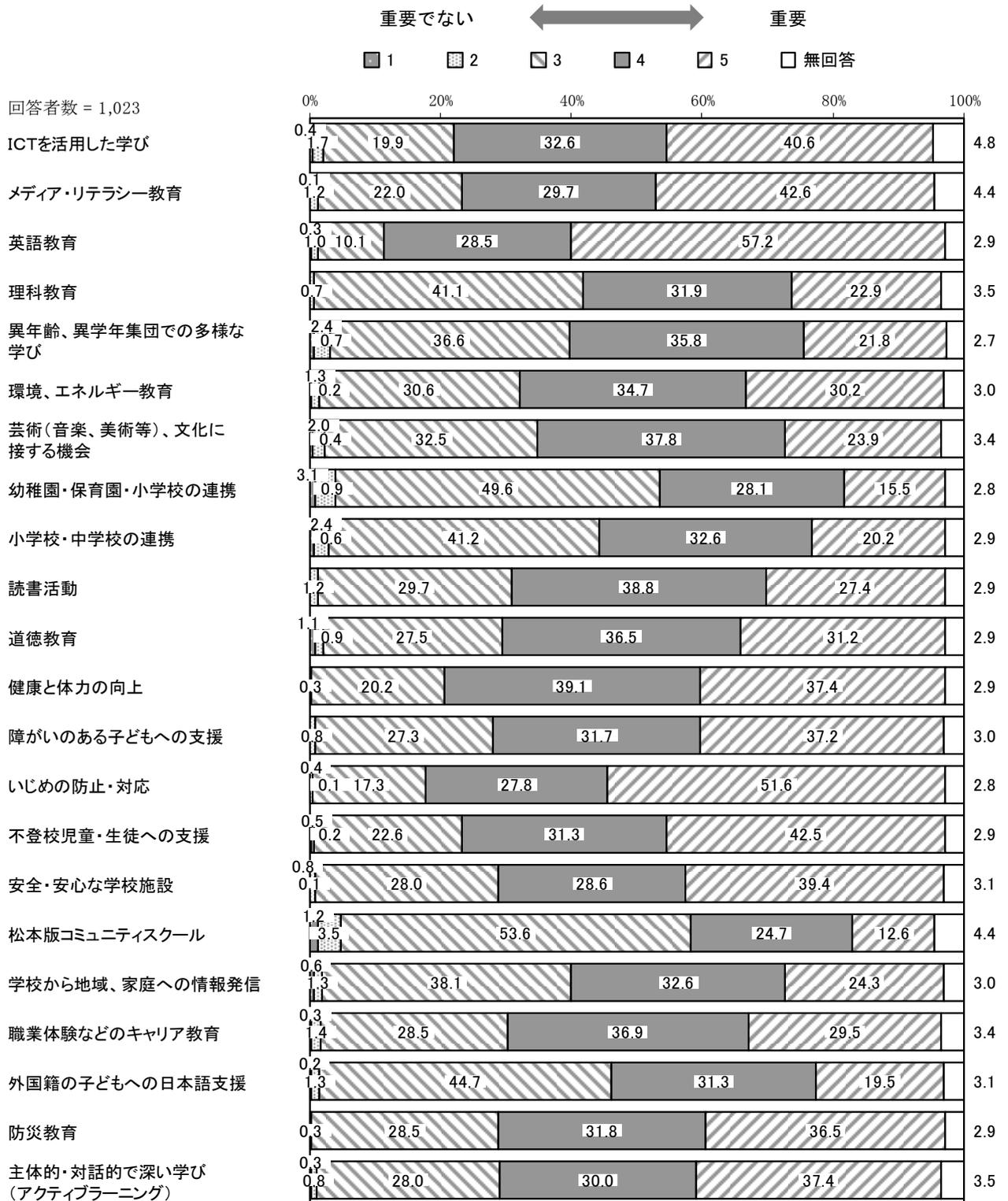
1. 現在の状況

『ICTを活用した学び』『英語教育』で「1」と「2」をあわせた“十分と感じない”の割合が高く、約4割となっています。また、『読書活動』『安全・安心な学校施設』『学校から地域、家庭への情報発信』で「4」と「5」をあわせた“十分と感じる”の割合が高く、約3割となっています。



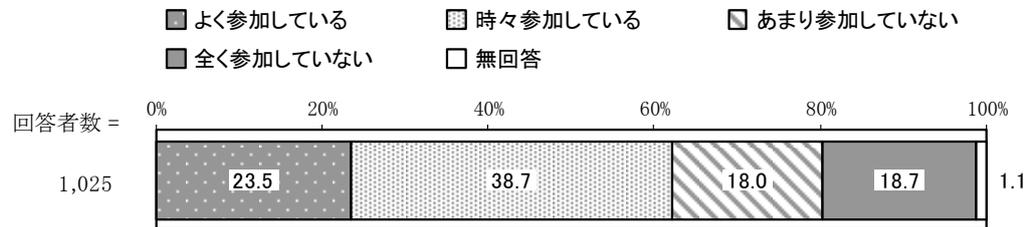
2. 今後の重要度

すべての項目で「4」と「5」をあわせた“重要”の割合が高く、特に『英語教育』で8割半ばとなっています。



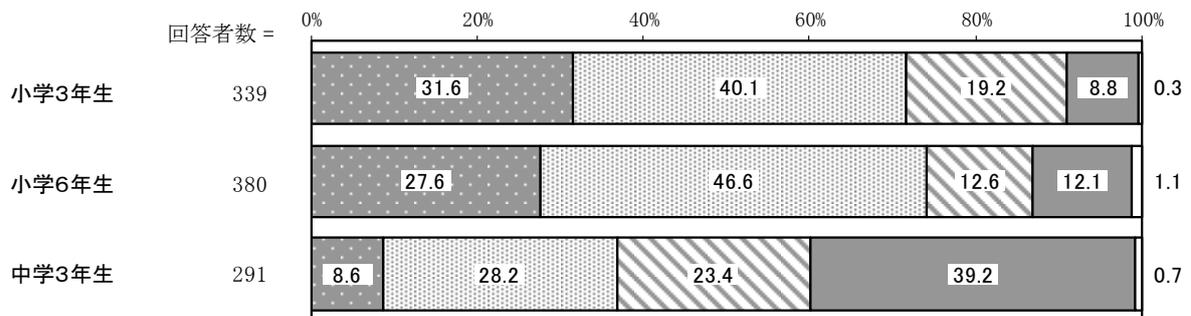
問 15 昨年1年間で、地域の行事にお子さんと一緒に参加していますか。

「よく参加している」と「時々参加している」をあわせた“参加している”の割合が 62.2%、「あまり参加していない」と「全く参加していない」をあわせた“参加していない”の割合が 36.7%となっています。



【子どもの学年別】

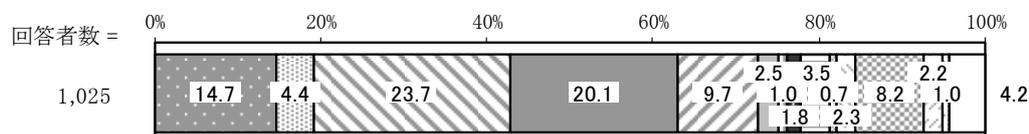
子どもの学年別でみると、中学3年生に比べ、小学3年生、小学6年生で“参加している”の割合が高く、7割半ばとなっています。



**問 17 あなたが子育てで大切にしていることはどんなことですか。
(最もあてはまるもの1つに○)**

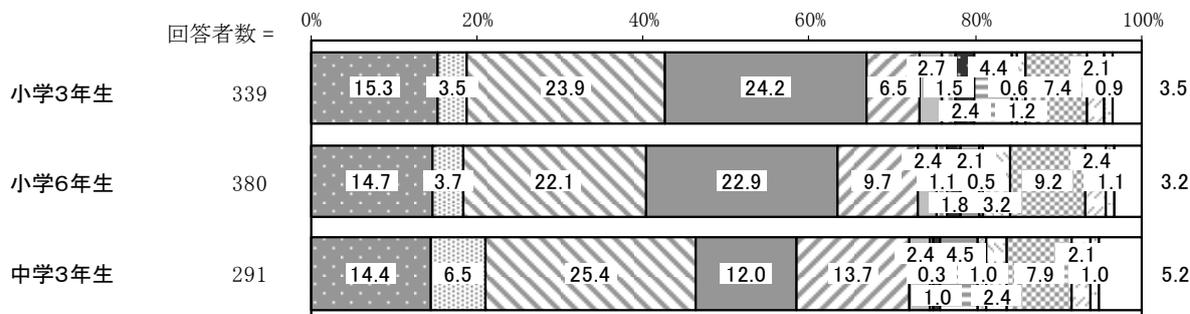
「スキンシップや会話をたくさんすること」の割合が23.7%と最も高く、次いで「ほめるときはほめ、しかるときはきちんとしかること」の割合が20.1%、「できるだけ子どもと過ごす時間をとること」の割合が14.7%となっています。

- できるだけ子どもと過ごす時間をとること
- スキンシップや会話をたくさんすること
- 規則正しい生活をさせること
- できるだけ外遊びをさせるようにすること
- いろいろな人と接する機会をつくること
- 自分自身が子育てを楽しむこと
- その他
- 無回答
- 笑顔で子どもに接すること
- ほめるときはほめ、しかるときはきちんとしかること
- 食事の作法、トイレの仕方、マナーなどを教えること
- 自然に触れる機会をつくること
- 文字や数など知的な経験の機会をつくること
- 自分がゆとりをもって子どもと接すること
- 特にない



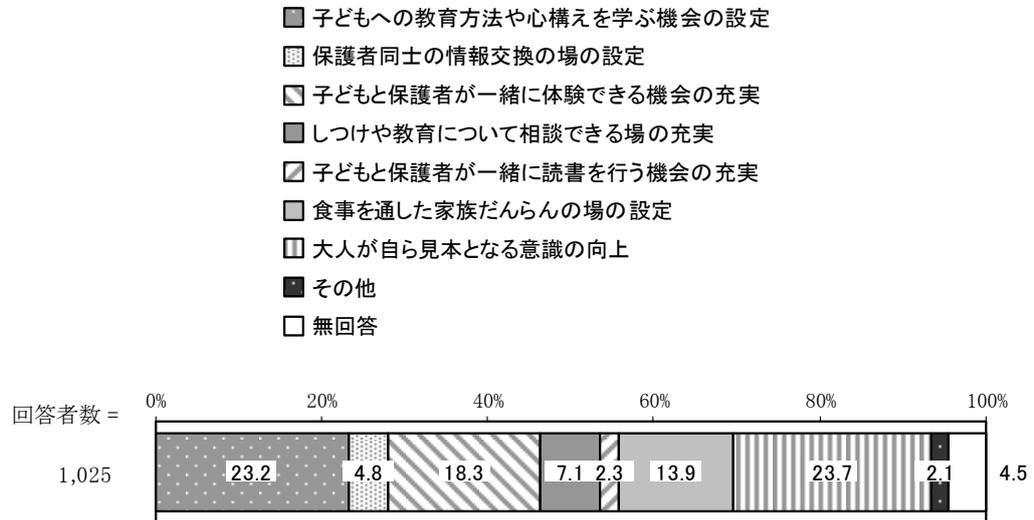
【子どもの学年別】

子どもの学年別でみると、中学3年生に比べ、小学3年生、小学6年生で「ほめるときはほめ、しかるときはきちんとしかること」の割合が高く、2割半ばとなっています。



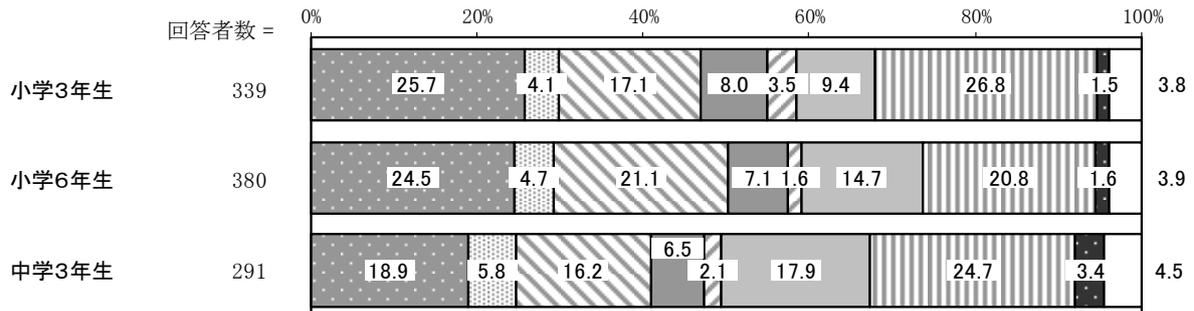
**問 19 あなたは、家庭での教育力向上にどのような取組みが必要だと思いますか。
(最もあてはまるもの1つに○)**

「大人が自ら見本となる意識の向上」の割合が23.7%と最も高く、次いで「子どもへの教育方法や心構えを学ぶ機会の設定」の割合が23.2%、「子どもと保護者が一緒に体験できる機会の充実」の割合が18.3%となっています。



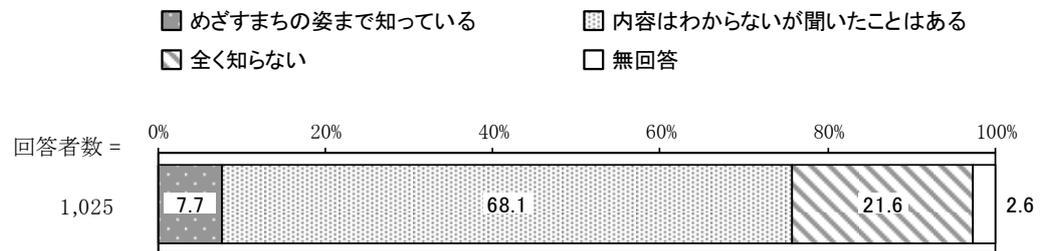
【子どもの学年別】

子どもの学年別でみると、学年が上がるにつれ「食事を通した家族だんらんの場の設定」の割合が高くなっており、中学3年生で約2割となっています。また、中学3年生に比べ、小学3年生、小学6年生で「子どもへの教育方法や心構えを学ぶ機会の設定」の割合が高く、2割半ばとなっています。



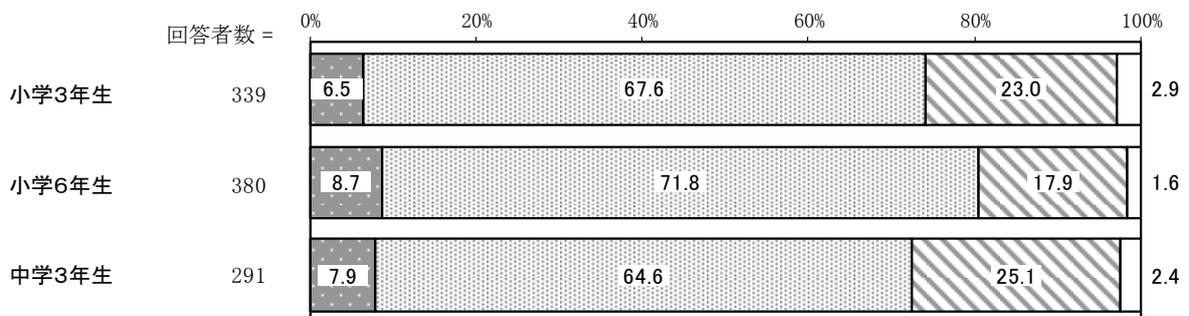
問 22 松本市が「学都松本」をめざしていることを知っていますか。

「内容はわからないが聞いたことはある」の割合が 68.1%と最も高く、次いで「全く知らない」の割合が 21.6%となっています。



【子どもの学年別】

子どもの学年別でみると、中学3年生に比べ、小学3年生、小学6年生で「内容はわからないが聞いたことはある」の割合が高く、約7割となっています。

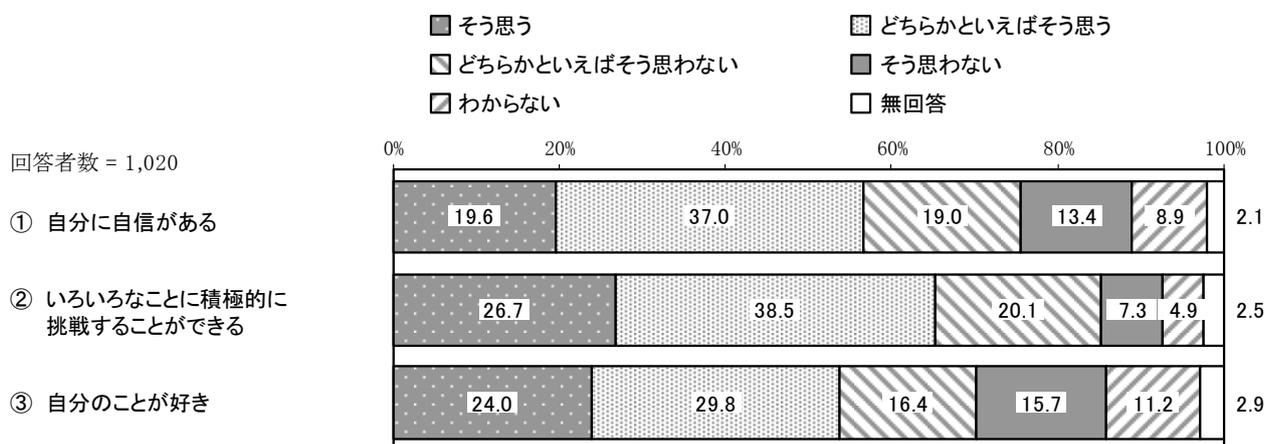


3 小学生・中学生

問3 あなた自身についてお聞きします。

(①～③の各項目について、あてはまるものに、それぞれひとつだけに○)

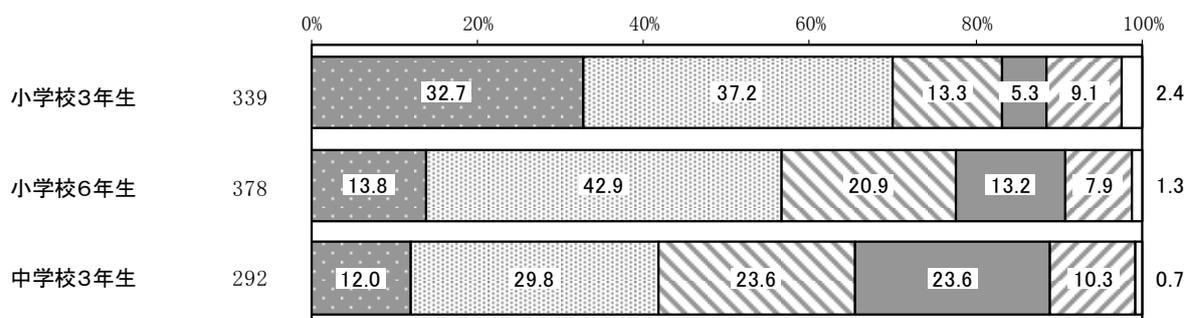
『② いろいろなことに積極的に挑戦することができる』で「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」をあわせた“そう思う”の割合が高く、6割半ばとなっています。



【学年別】

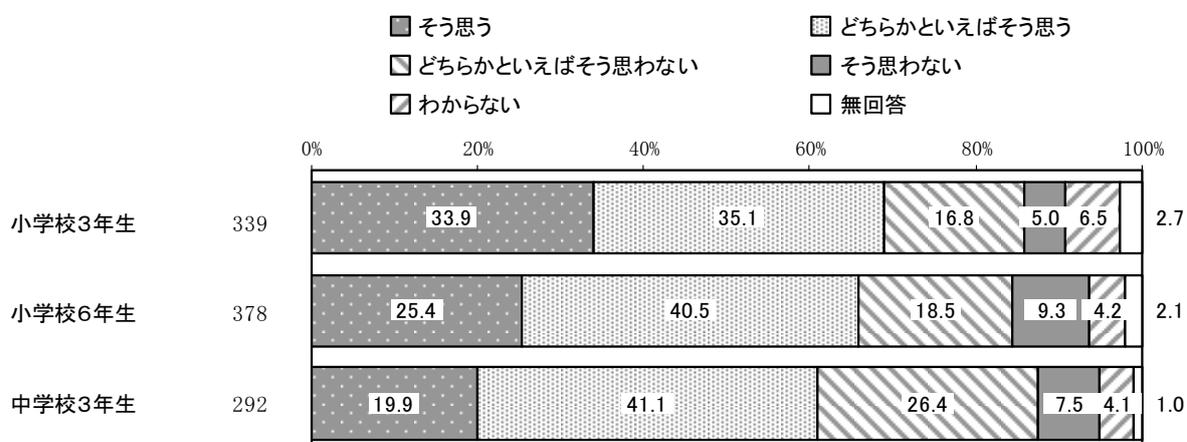
①自分に自信がある

学年別でみると、学年が下がるにつれ“そう思う”の割合が高くなっており、小学校3年生で約7割となっています。



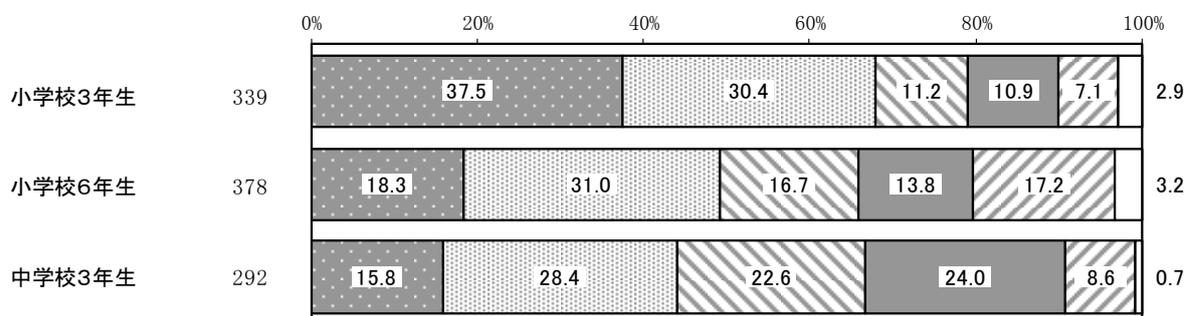
②いろいろなことに積極的に挑戦することができる

学年別でみると、学年が下がるにつれ“そう思う”の割合が高くなっており、小学校3年生で約7割となっています。



③自分のことが好き

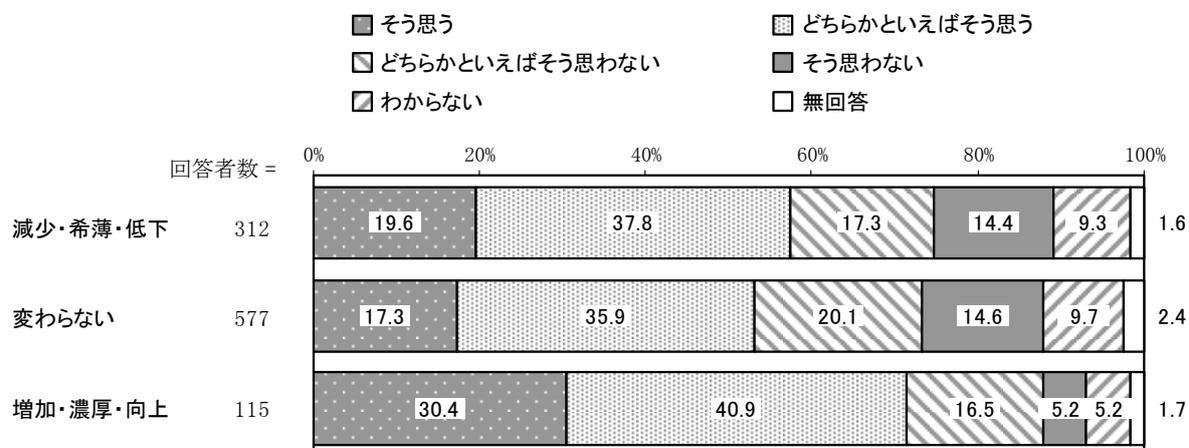
学年別でみると、学年が下がるにつれ“そう思う”の割合が高くなっており、小学校3年生で約7割となっています。



【家庭などでの生活体験の機会の状況別】

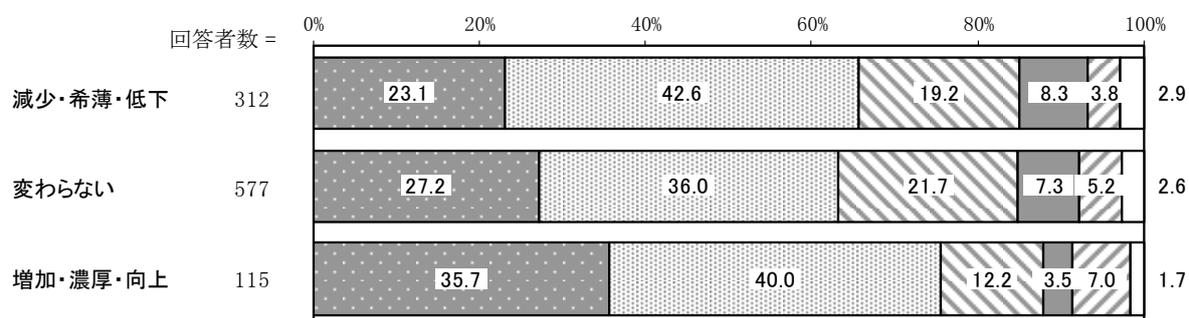
①自分に自信がある

家庭などでの生活体験の機会の状況別でみると、他に比べ、増加・濃厚・向上で“そう思う”の割合が高くなっています。



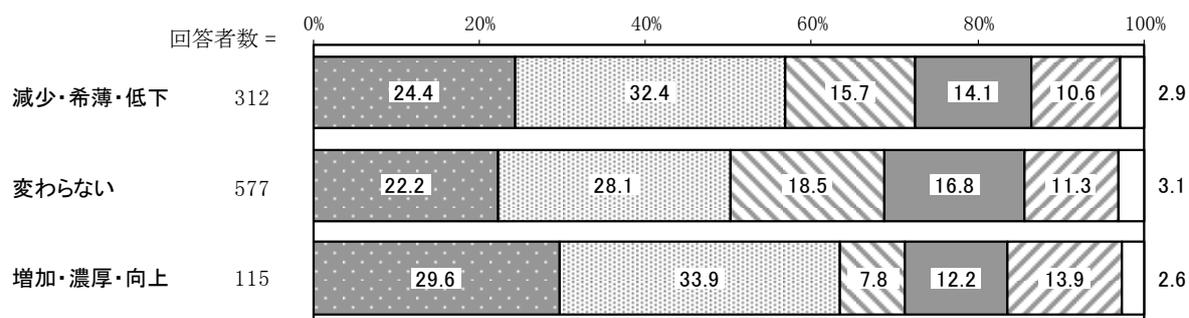
②いろいろなことに積極的に挑戦することができる

家庭などでの生活体験の機会の状況別でみると、他に比べ、増加・濃厚・向上で“そう思う”の割合が高くなっています。



③自分のことが好き

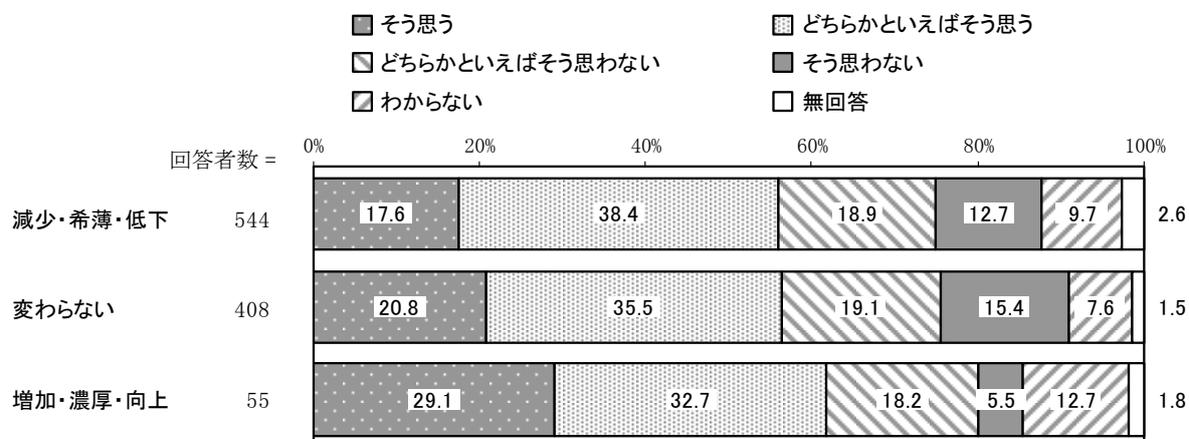
家庭などでの生活体験の機会の状況別でみると、他に比べ、増加・濃厚・向上で“そう思う”の割合が高くなっています。



【地域社会での人間関係の状況別】

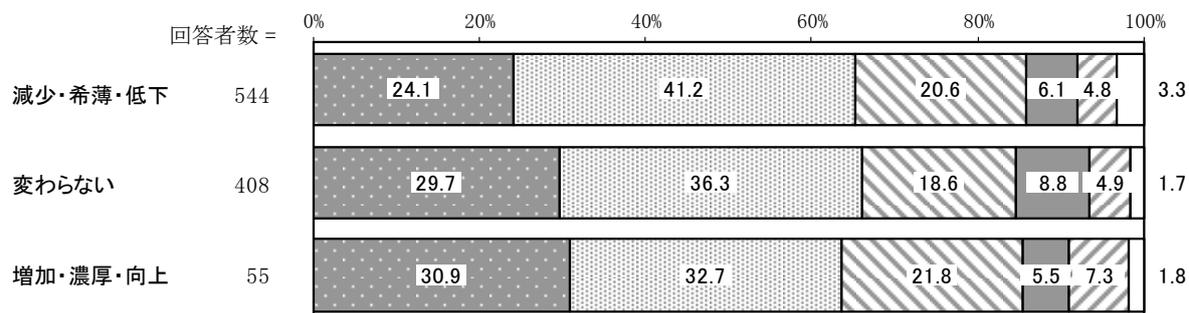
①自分に自信がある

地域社会での人間関係の状況別でみると、他に比べ、増加・濃厚・向上で“そう思う”の割合が高くなっています。



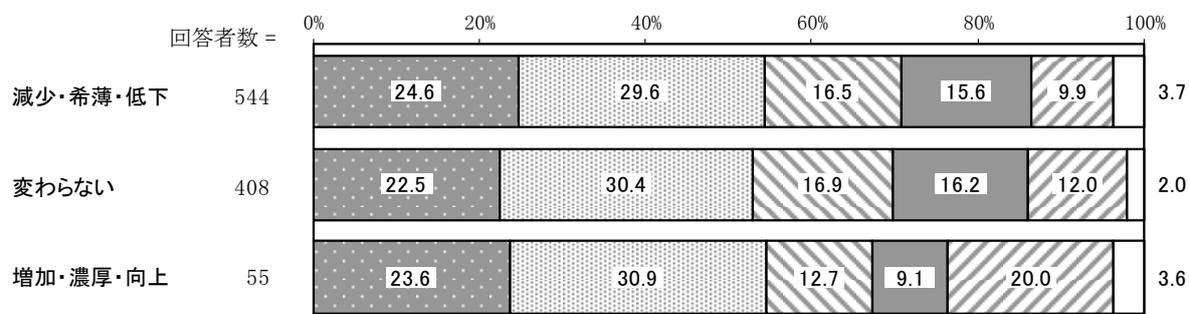
②いろいろなことに積極的に挑戦することができる

地域社会での人間関係の状況別でみると、大きな差異はみられません。



③自分のことが好き

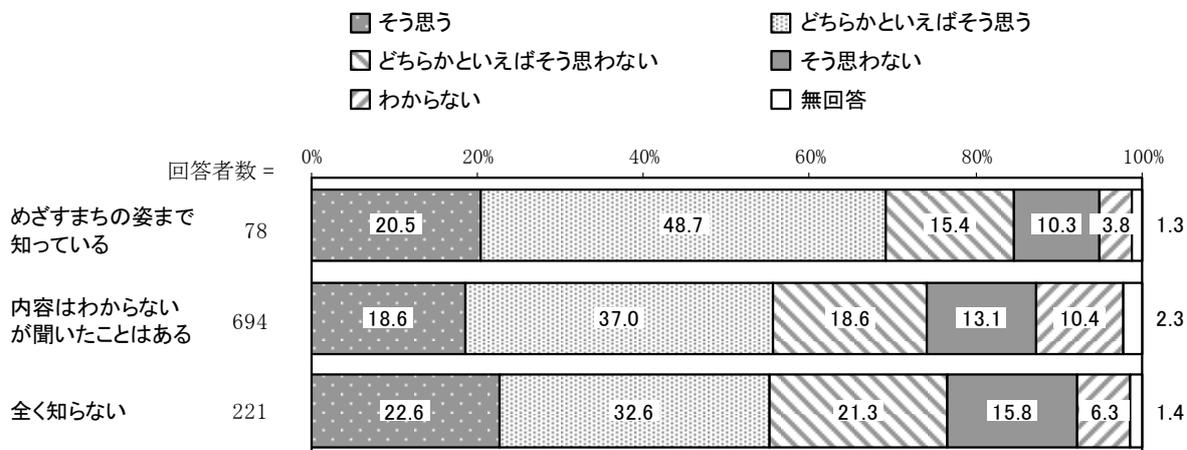
地域社会での人間関係の状況別でみると、他に比べ、増加・濃厚・向上で“そう思わない”の割合が低くなっています。



【保護者の「学都松本」の認知度別】

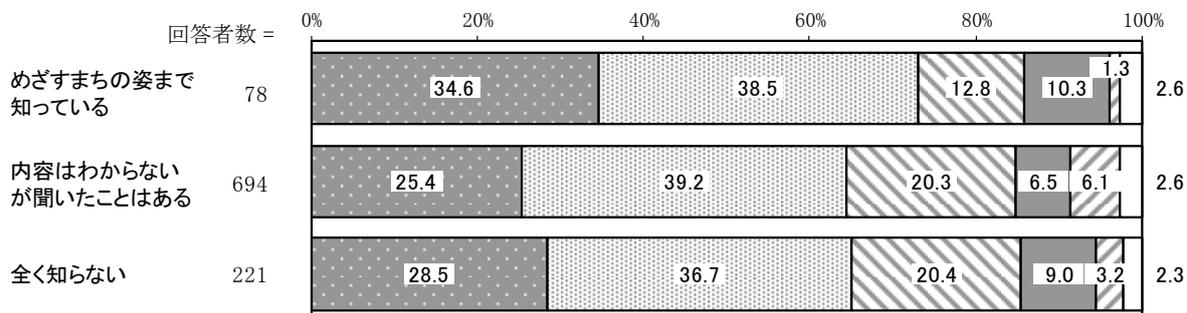
①自分に自信がある

保護者の「学都松本」の認知度別でみると、他に比べ、めざすまちの姿まで知っているで“そう思う”の割合が高くなっています。



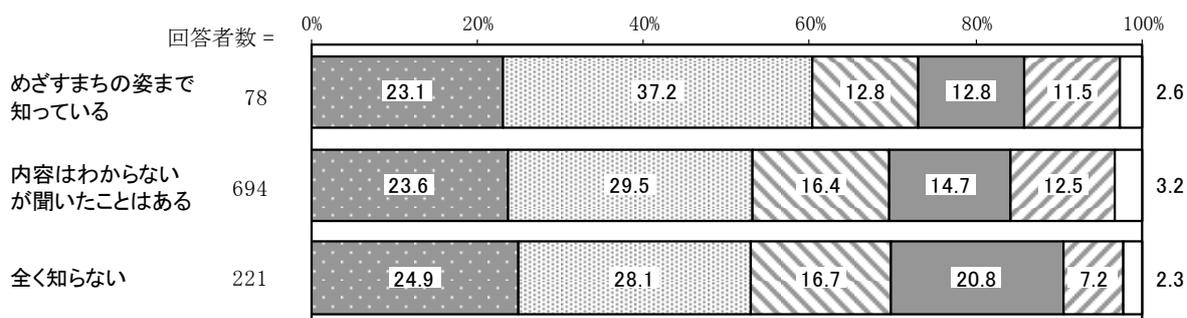
②いろいろなことに積極的に挑戦することができる

保護者の「学都松本」の認知度別でみると、他に比べ、めざすまちの姿まで知っているで“そう思う”の割合が高くなっています。



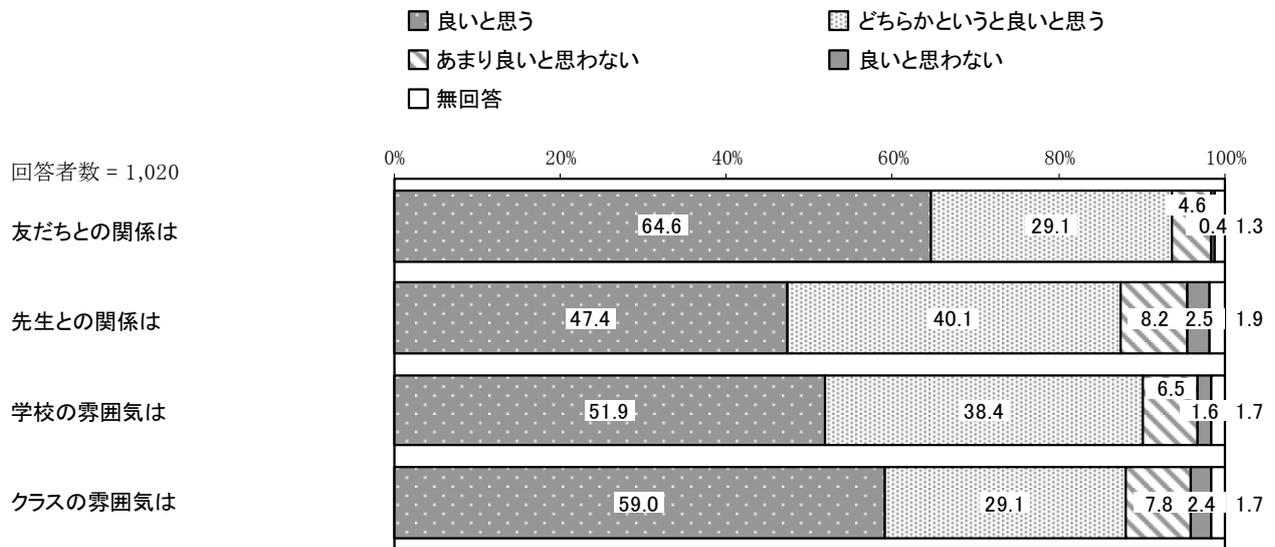
③自分のことが好き

保護者の「学都松本」の認知度別でみると、他に比べ、めざすまちの姿まで知っているで“そう思う”の割合が高くなっています。



問 10 あなたは、次の項目についてどのくらい良いと思いますか。

すべての項目で「良いと思う」と「どちらかというと思う」をあわせた“良いと思う”の割合が高く、約9割となっています。



【学年別】

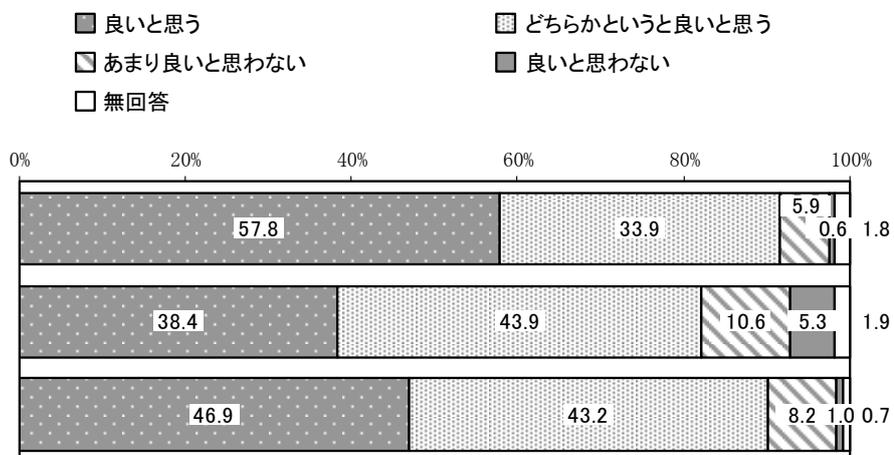
①友だちとの関係

学年別でみると、学年が下がるにつれ「良いと思う」の割合が高くなっており、小学校3年生で約7割となっています。



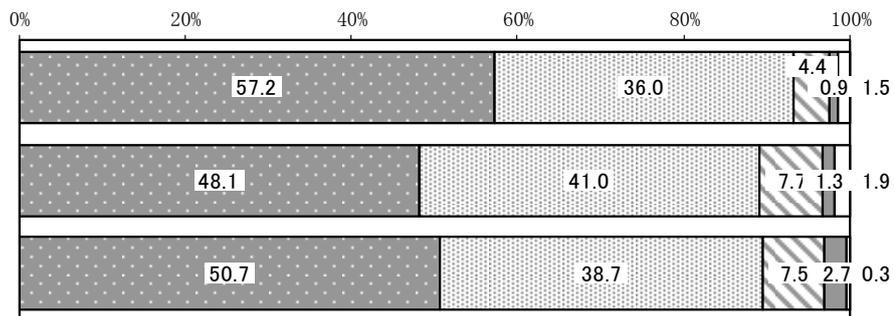
②先生との関係

学年別でみると、他に比べ、小学校6年生で“良いと思わない”の割合が高く、1割半ばとなっています。



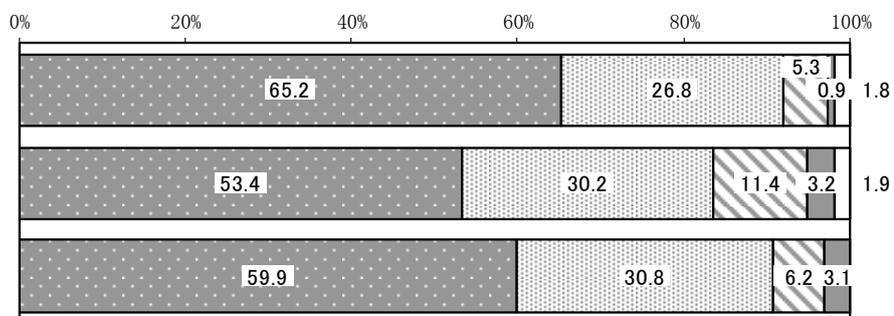
③学校の雰囲気

学年別でみると、他に比べ、小学校3年生で「良いと思う」の割合が高く、約6割となっています。



④クラスの雰囲気

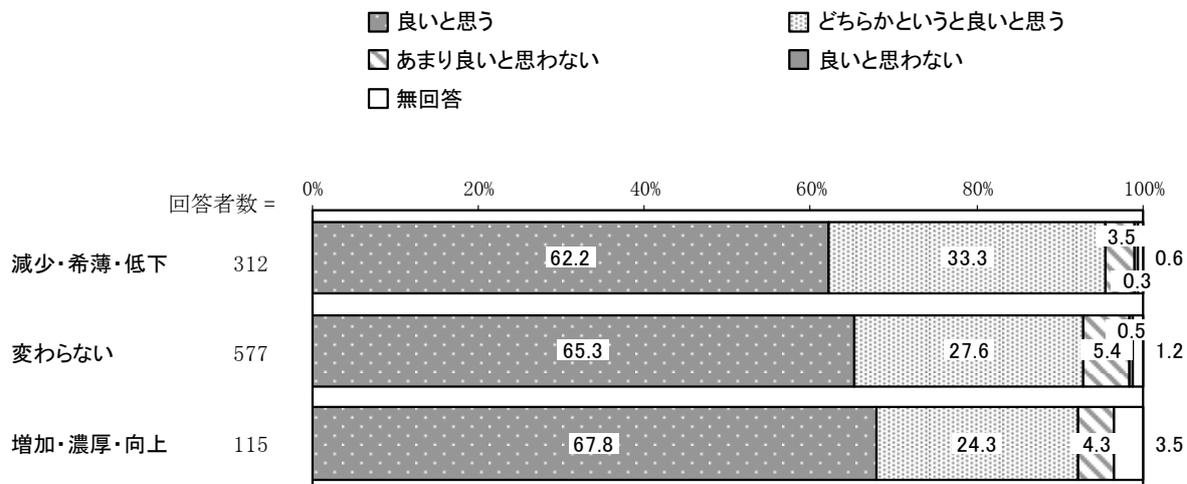
学年別でみると、他に比べ、小学校6年生で“良いと思う”の割合が高く、1割半ばとなっています。



【家庭などでの生活体験の機会の状況別】

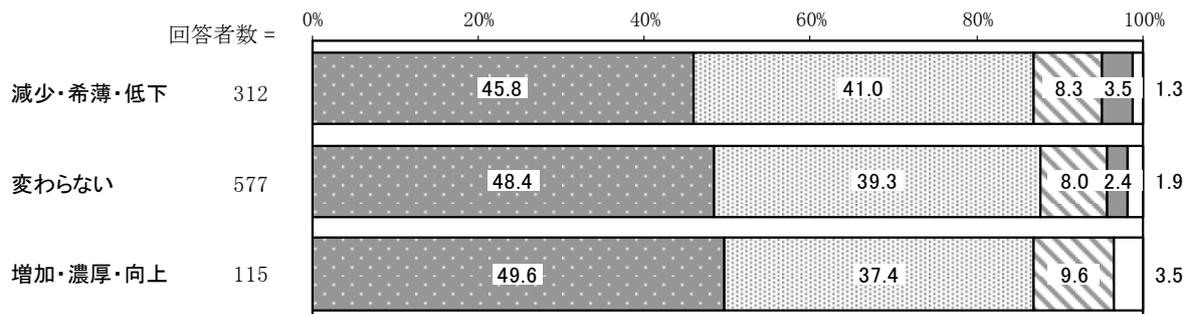
① 友だちとの関係は

家庭などでの生活体験の機会の状況別でみると、大きな差異はみられません。



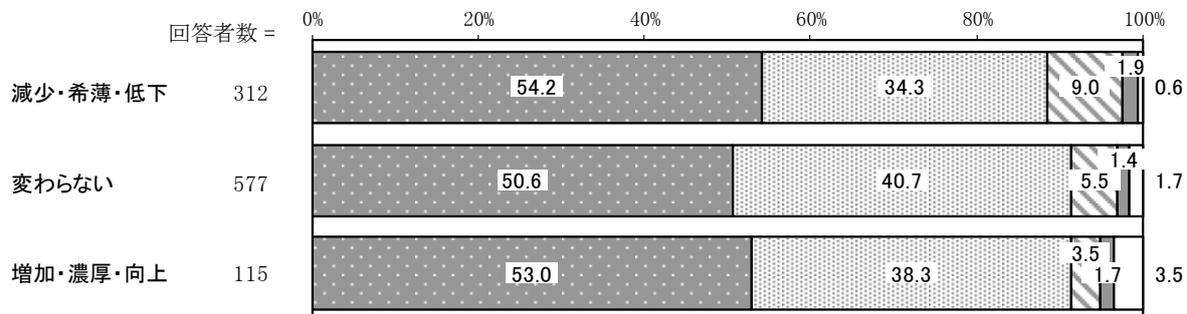
② 先生との関係は

家庭などでの生活体験の機会の状況別でみると、大きな差異はみられません。



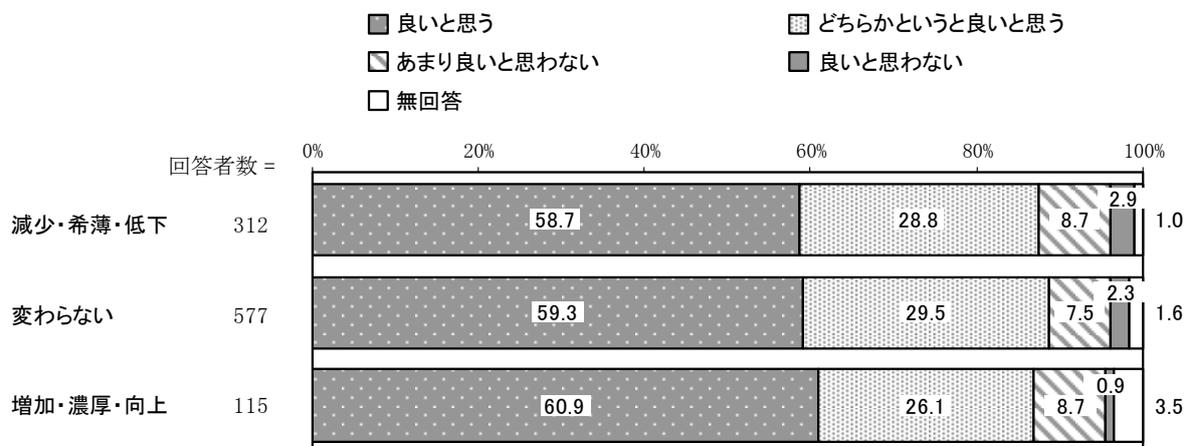
③ 学校の雰囲気は

家庭などでの生活体験の機会の状況別でみると、他に比べ、減少・希薄・低下で“良いと思わない”の割合が高くなっています。



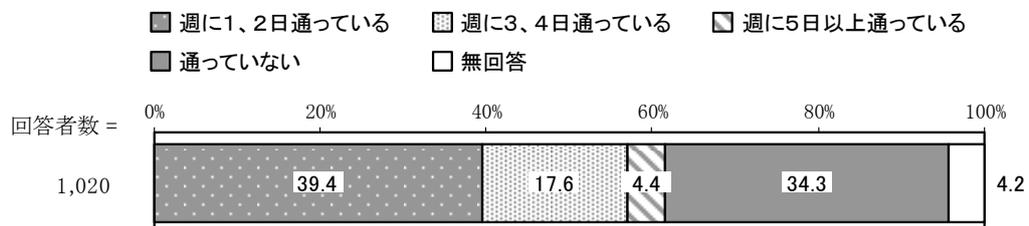
④クラスの雰囲気は

家庭などでの生活体験の機会の状況別でみると、大きな差異はみられません。



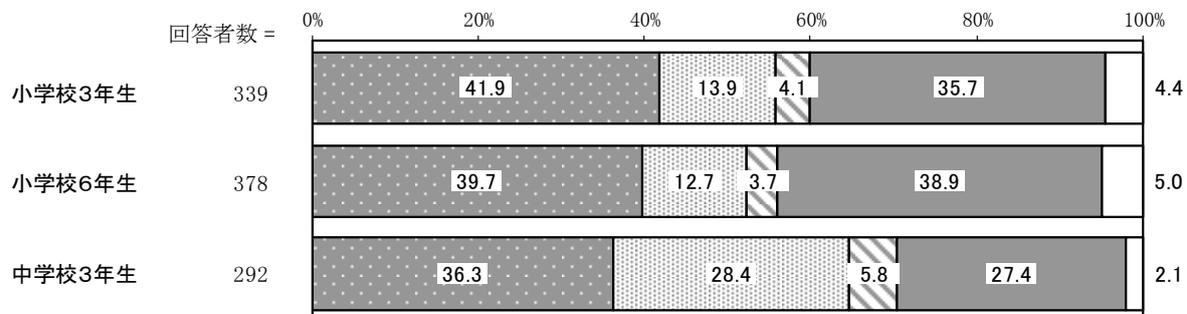
問 16 あなたは、学習塾（家庭教師を含む）や習いごとに通っていますか。

「週に1、2日通っている」の割合が39.4%と最も高く、次いで「通っていない」の割合が34.3%、「週に3、4日通っている」の割合が17.6%となっています。



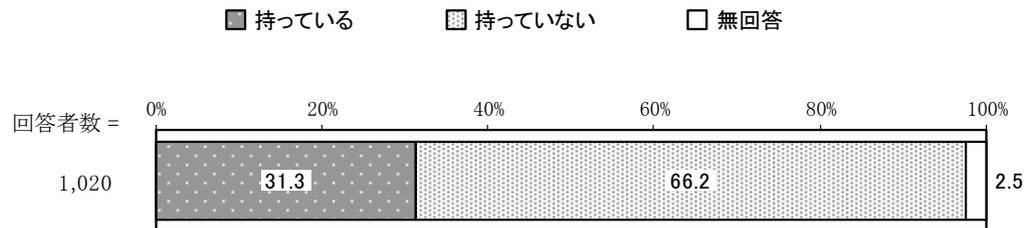
【学年別】

学年別でみると、他に比べ、中学校3年生で「週に3、4日通っている」の割合が高く、約割となっています。



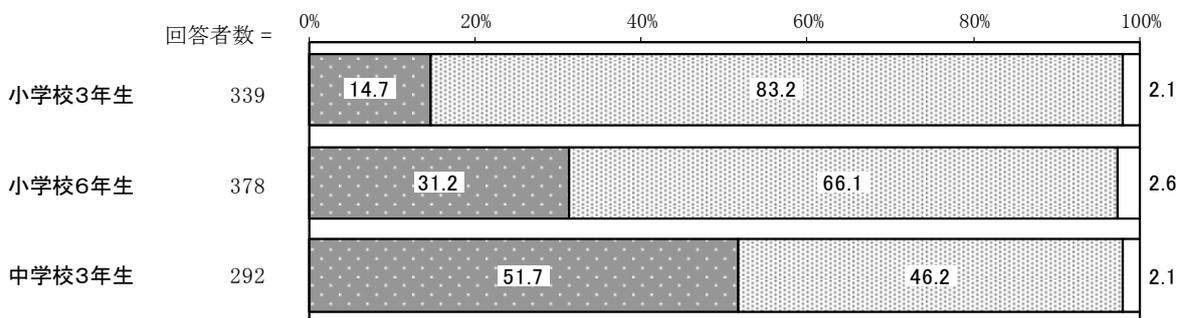
問 17 あなたは、自分の携帯電話やスマホを持っていますか。

「持っている」の割合が 31.3%、「持っていない」の割合が 66.2%となっています。



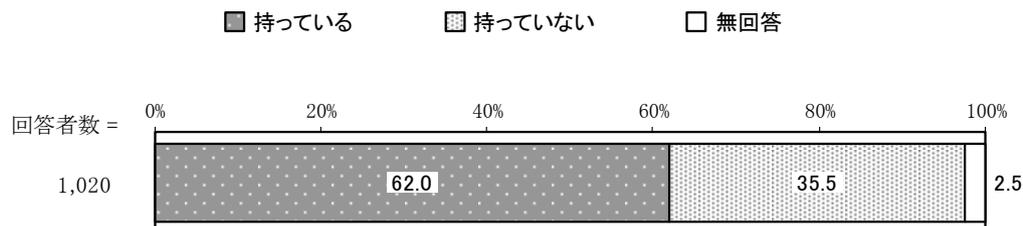
【学年別】

学年別でみると、他に比べ、学年が上がるにつれ「持っている」の割合が高くなっており、中学校3年生で約5割となっています。



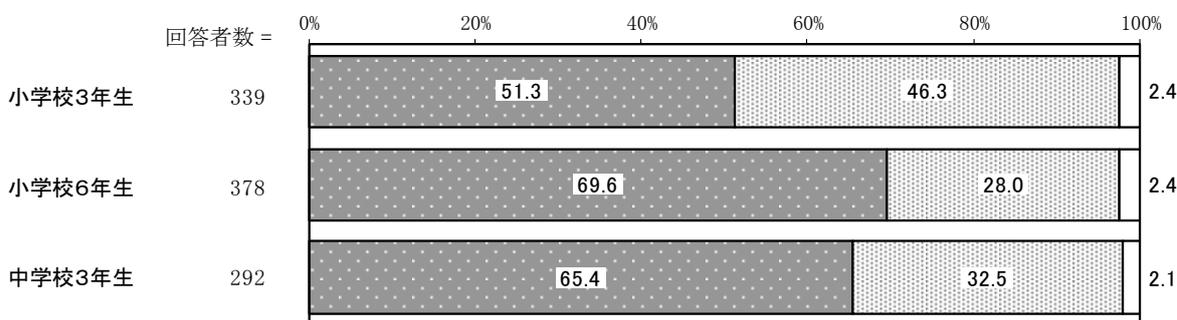
問 18 あなたは、自分のパソコンやタブレット、小型ゲーム機を持っていますか。

「持っている」の割合が 62.0%、「持っていない」の割合が 35.5%となっています。



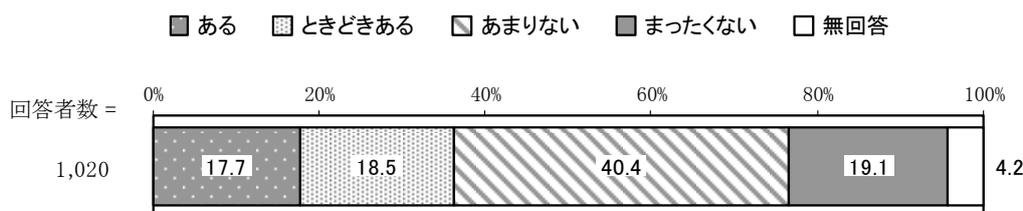
【学年別】

学年別でみると、他に比べ、小学校6年生で「持っている」の割合が高く、約7割となっています。また、小学校3年生で「持っていない」の割合が高く、4割半ばとなっています。



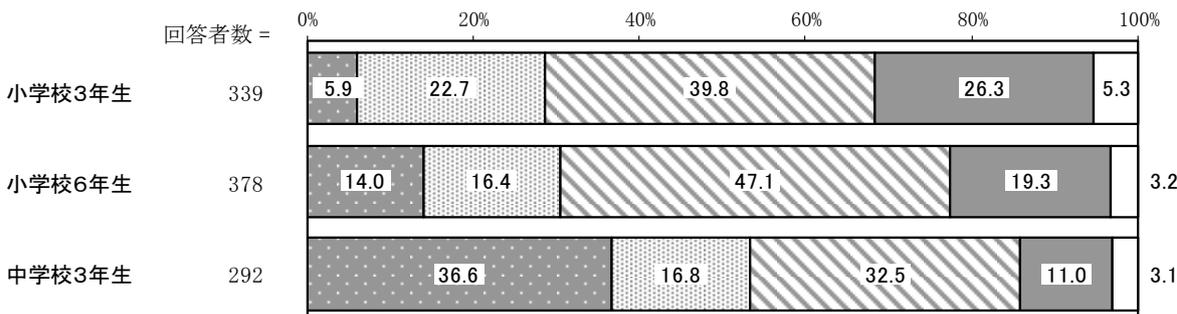
問 19 あなたは、心配ごとがありますか。

「ある」と「ときどきある」をあわせた“ある”の割合が 36.2%、「あまりない」と「まったくない」をあわせた“ない”の割合が 59.5%となっています。



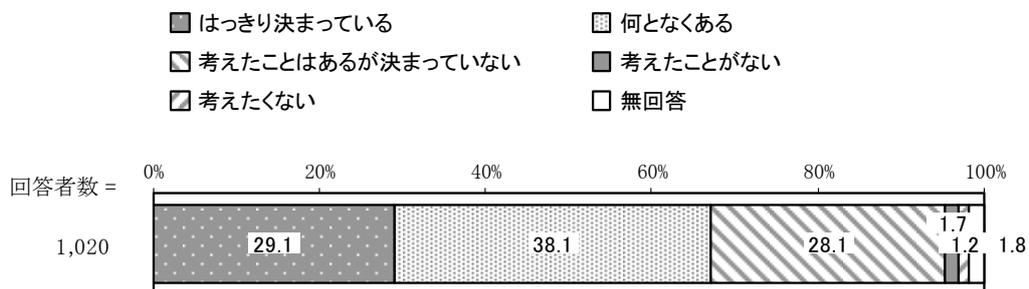
【学年別】

学年別でみると、学年が上がるにつれ“ある”の割合が高くなっており、中学校3年生で約5割となっています。



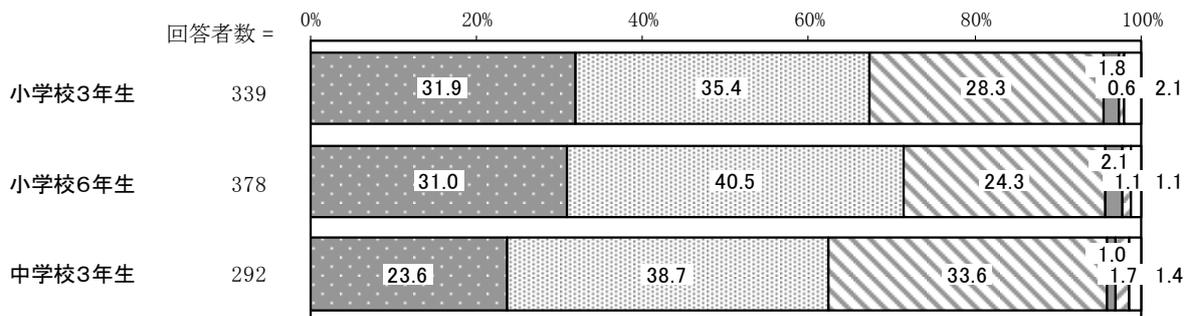
問 26 あなたは、将来なりたい職業がありますか。

「何となくある」の割合が38.1%と最も高く、次いで「はっきり決まっている」の割合が29.1%、「考えたことはあるが決まっていない」の割合が28.1%となっています。



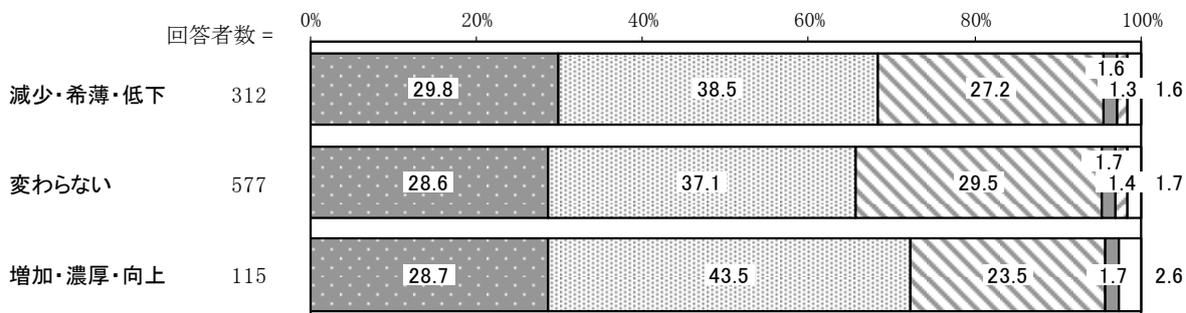
【学年別】

学年別でみると、他に比べ、中学校3年生で「考えたことはあるが決まっていない」の割合が高く、約3割となっています。



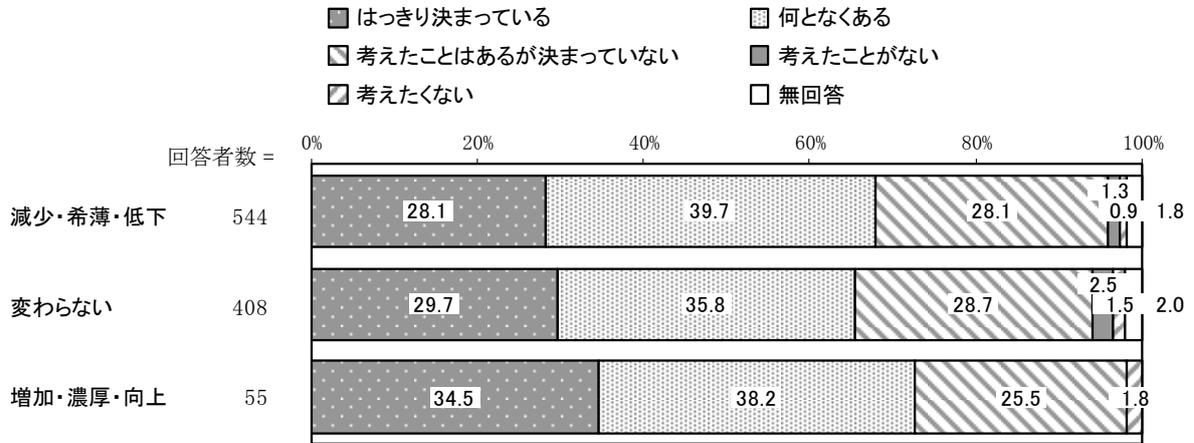
【家庭などでの生活体験の機会の状況別】

家庭などでの生活体験の機会の状況別でみると、他に比べ、増加・濃厚・向上で「何となくある」の割合が高くなっています。



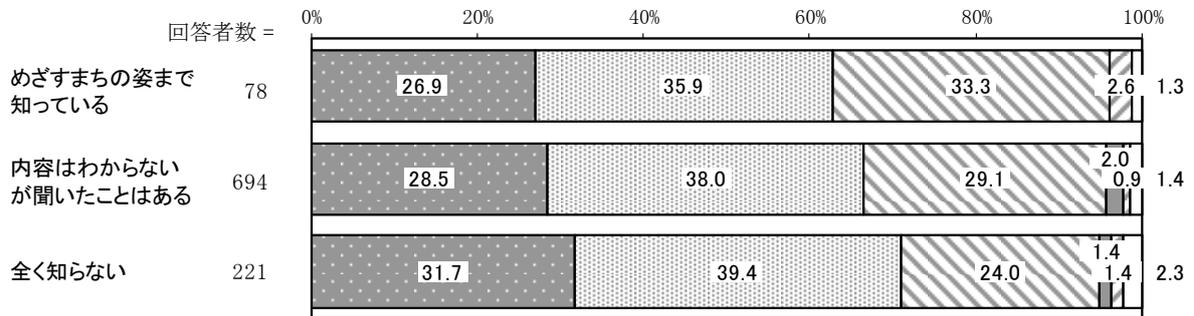
【地域社会での人間関係の状況別】

地域社会での人間関係の状況別でみると、他に比べ、増加・濃厚・向上で「はっきり決まっている」の割合が高くなっています。



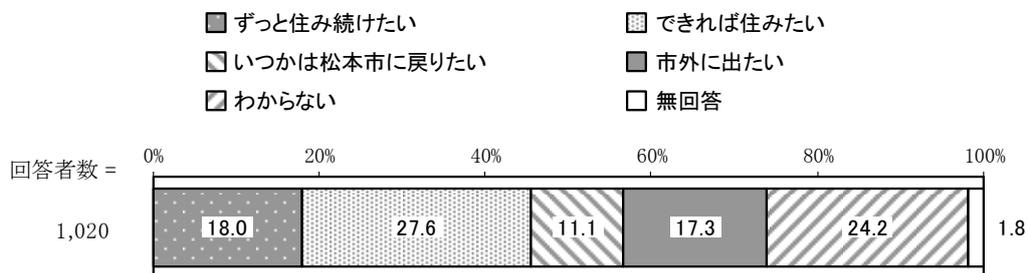
【保護者の「学都松本」の認知度別】

保護者の「学都松本」の認知度別でみると、他に比べ、めざすまちの姿まで知っているで「考えたことはあるが決まっていない」の割合が高くなっています。



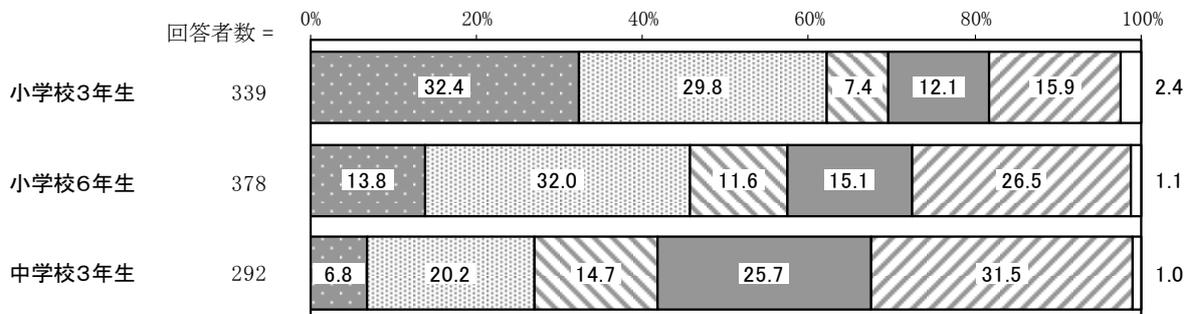
問 27 将来、松本市に住みたいと思いますか。

「できれば住みたい」の割合が 27.6%と最も高く、次いで「わからない」の割合が 24.2%、「ずっと住みたい」の割合が 18.0%となっています。



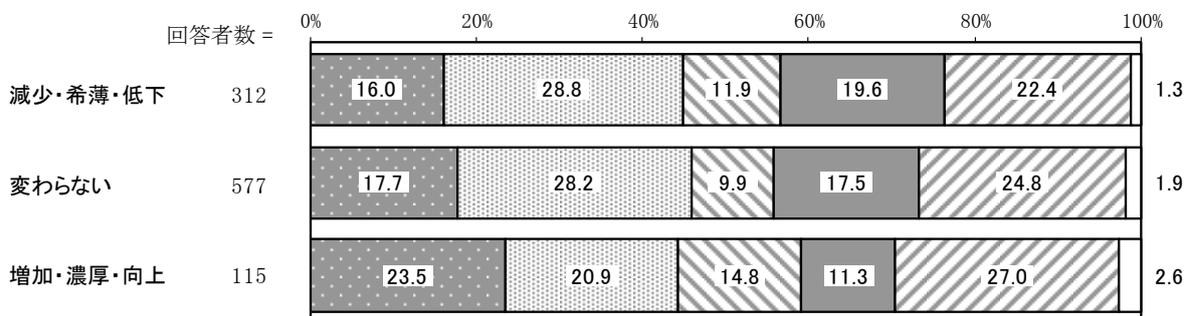
【学年別】

学年別でみると、学年が下がるにつれ「ずっと住みたい」の割合が高くなっており、小学校3年生で約3割となっています。



【家庭などでの生活体験の機会の状況別】

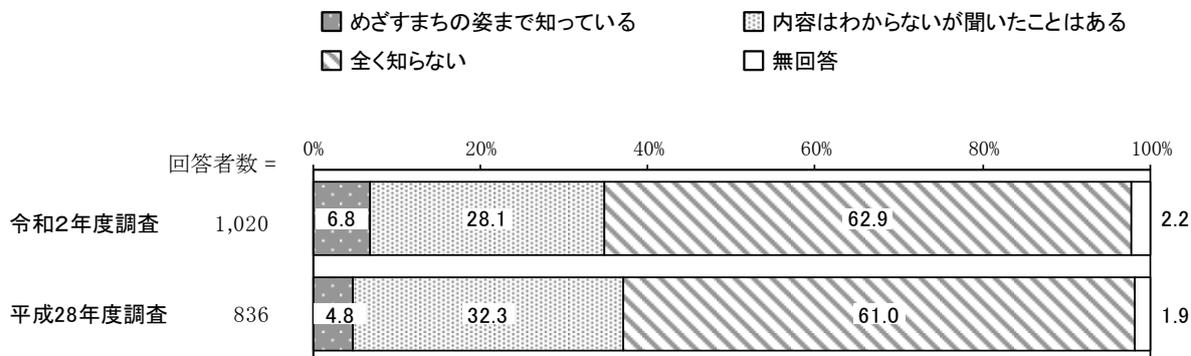
家庭などでの生活体験の機会の状況別でみると、他に比べ、増加・濃厚・向上で「ずっと住みたい」の割合が高くなっています。また、減少・希薄・低下で「市外に出たい」の割合が高くなっています。



問 28 松本市が「学都松本」をめざしていることを知っていますか。

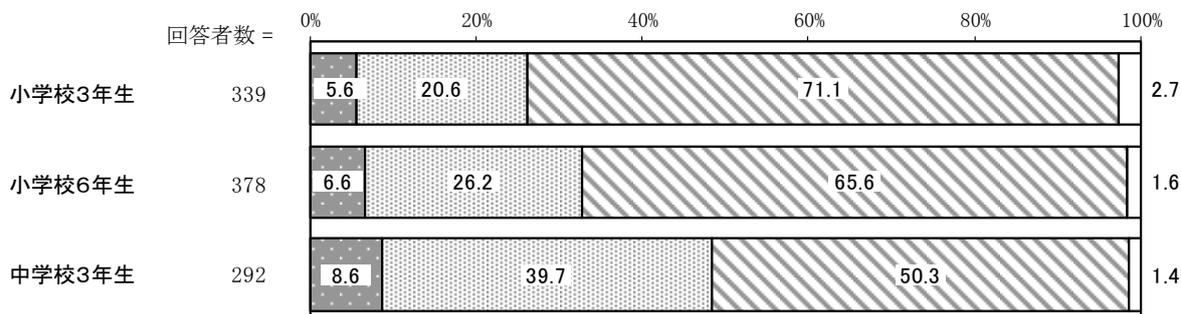
「全く知らない」の割合が 62.9%と最も高く、次いで「内容はわからないが聞いたことはある」の割合が 28.1%となっています。

平成 28 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【学年別】

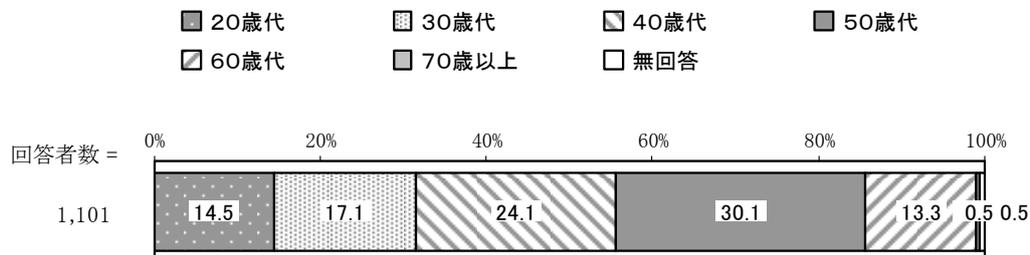
学年別でみると、学年が上がるにつれ「内容はわからないが聞いたことはある」の割合が高く、中学校3年生で約4割となっています。また、学年が下がるにつれ「全く知らない」の割合が高くなっており、小学校3年生で約7割となっています。



4 教職員・保育士・幼稚園教諭

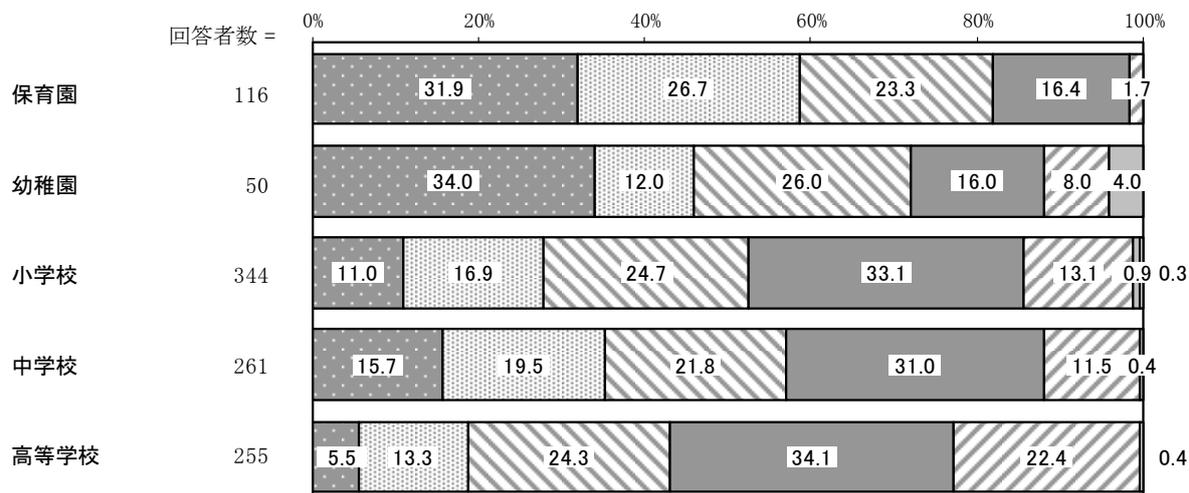
問1 あなたは何歳ですか。

「50歳代」の割合が30.1%と最も高く、次いで「40歳代」の割合が24.1%、「30歳代」の割合が17.1%となっています。



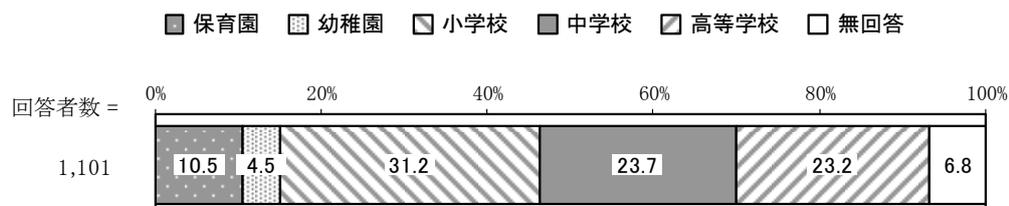
【学校種別】

学校種別でみると、他に比べ、保育園、幼稚園で「20歳代」の割合が、小学校、中学校、高等学校で「50歳代」の割合が、高等学校で「60歳代」の割合が高くなっています。



問2 あなたの勤務先は次のうちどれですか。

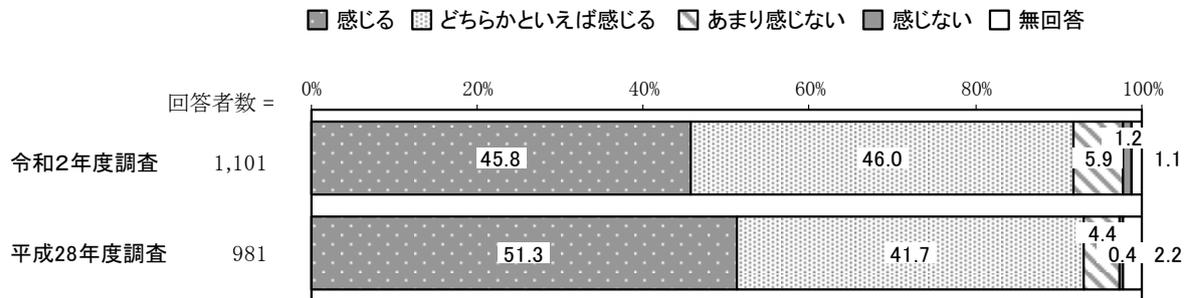
「小学校」の割合が31.2%と最も高く、次いで「中学校」の割合が23.7%、「高等学校」の割合が23.2%となっています。



問3 あなたは、ご自身の職務に「生きがい」、「やりがい」を感じますか。

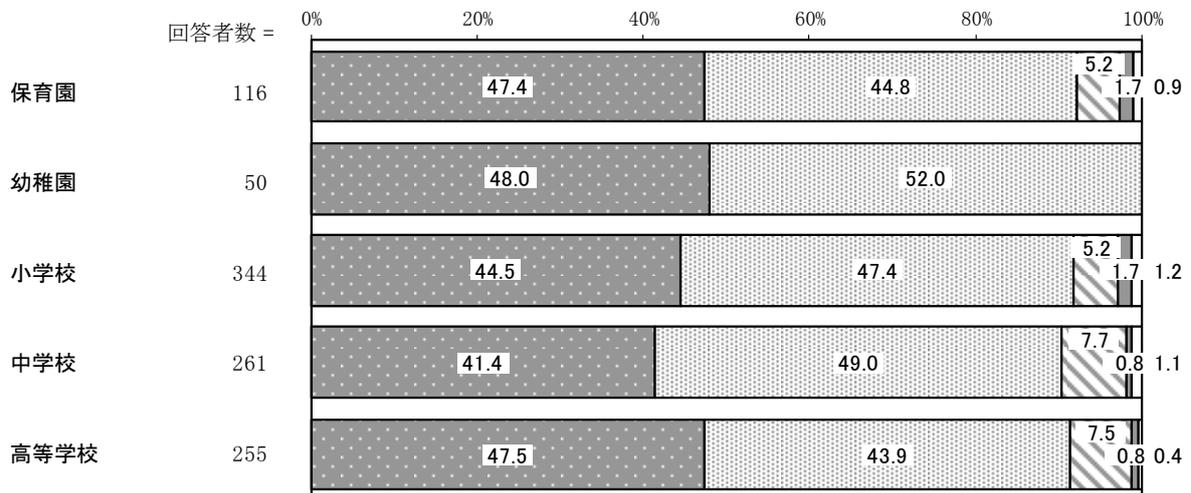
「感じる」と「どちらかといえば感じる」をあわせた“感じる”の割合が91.8%、「あまり感じない」と「感じない」をあわせた“感じない”の割合が7.1%となっています。

平成28年度調査と比較すると、「感じる」の割合が減少しています。



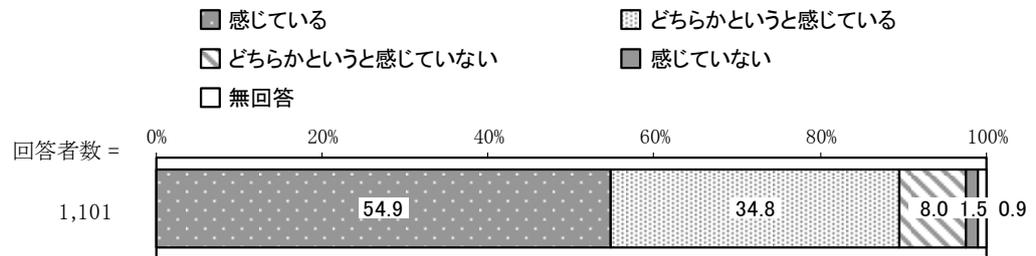
【学校種別】

学校種別でみると、大きな差異はみられません。



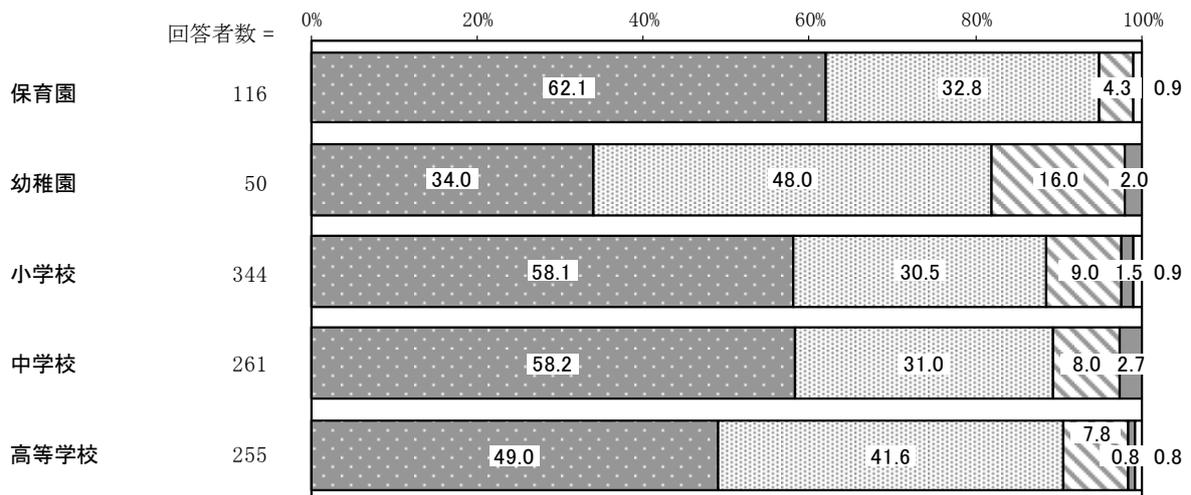
問4 あなたはご自身の職務について忙しいと感じていますか。

「感じている」と「どちらかというと感じている」をあわせた“感じている”の割合が89.7%、「どちらかというと感じていない」と「感じていない」をあわせた“感じていない”の割合が9.5%となっています。



【学校種別】

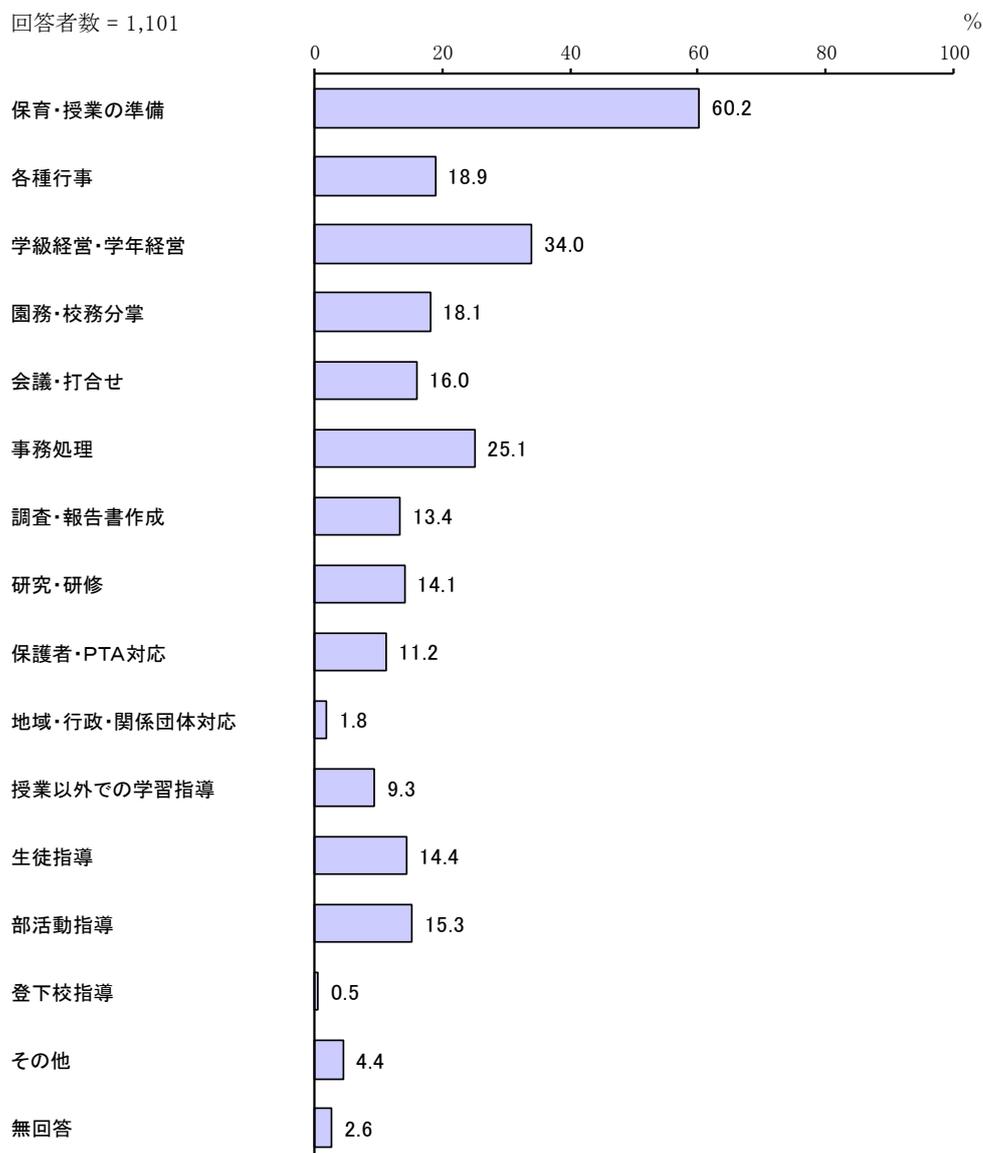
学校種別でみると、他に比べ、保育園で“感じている”の割合、が高、9割半ばとなっています。また、幼稚園で“感じていない”の割合が高く、約2割となっています。



問5 仕事をするうえで、あなたが、①時間をかけている業務、②負担感を感じている業務は、どのような業務ですか。(3つ以内の番号を記入)
 (①と②の回答は重複しても構いません)

1. 時間をかけている業務

「保育・授業の準備」の割合が60.2%と最も高く、次いで「学級経営・学年経営」の割合が34.0%、「事務処理」の割合が25.1%となっています。



【学校種別】

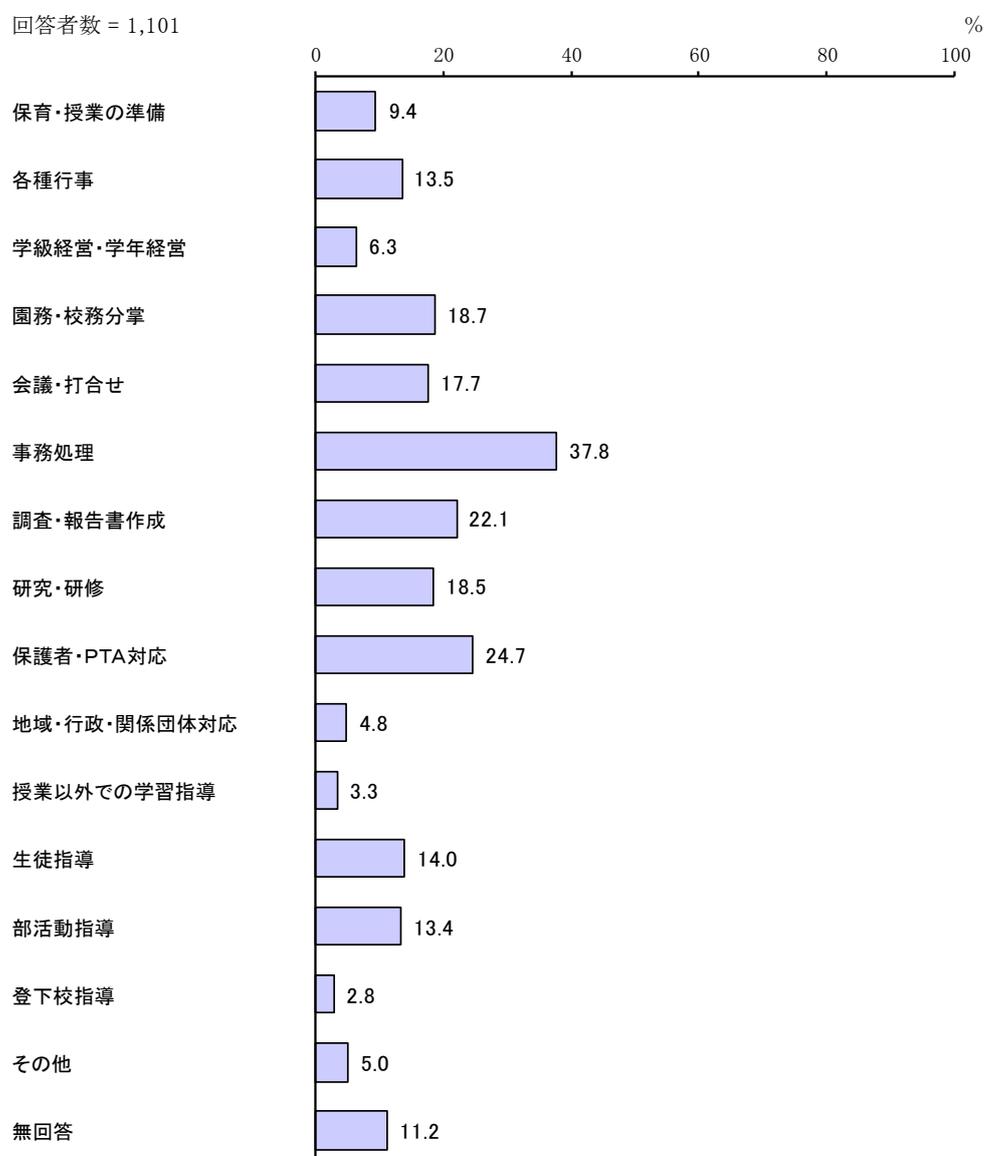
学校種別でみると、他に比べ、保育園で「保育・授業の準備」「各種行事」の割合が高くなっています。また、小学校で「学級経営・学年経営」の割合が、中学校、高等学校で「部活動指導」の割合が高くなっています

単位：％

区分	回答者数(件)	保育・授業の準備	各種行事	学級経営・学年経営	園務・校務分掌	会議・打合せ	事務処理	調査・報告書作成	研究・研修	保護者・PTA対応	地域・行政・関係団体対応	授業以外での学習指導	生徒指導	部活動指導	登下校指導	その他	無回答
保育園	116	69.8	47.4	25.0	8.6	18.1	43.1	13.8	11.2	8.6	—	—	1.7	—	—	6.9	4.3
幼稚園	50	64.0	22.0	20.0	16.0	36.0	16.0	8.0	22.0	12.0	—	—	4.0	—	—	6.0	6.0
小学校	344	56.7	17.4	42.7	16.0	15.7	26.5	14.0	15.7	16.9	1.7	5.2	16.3	3.5	1.2	4.9	2.9
中学校	261	55.6	18.4	32.2	20.7	11.9	23.8	13.8	16.9	9.6	2.7	8.4	18.0	27.2	0.8	4.6	1.5
高等学校	255	61.6	5.9	32.5	23.1	12.5	19.6	12.5	11.0	7.1	2.4	21.6	16.9	32.5	—	2.4	0.4

2. 負担感を感じている業務

「事務処理」の割合が37.8%と最も高く、次いで「保護者・PTA対応」の割合が24.7%、「調査・報告書作成」の割合が22.1%となっています。



【学校種別】

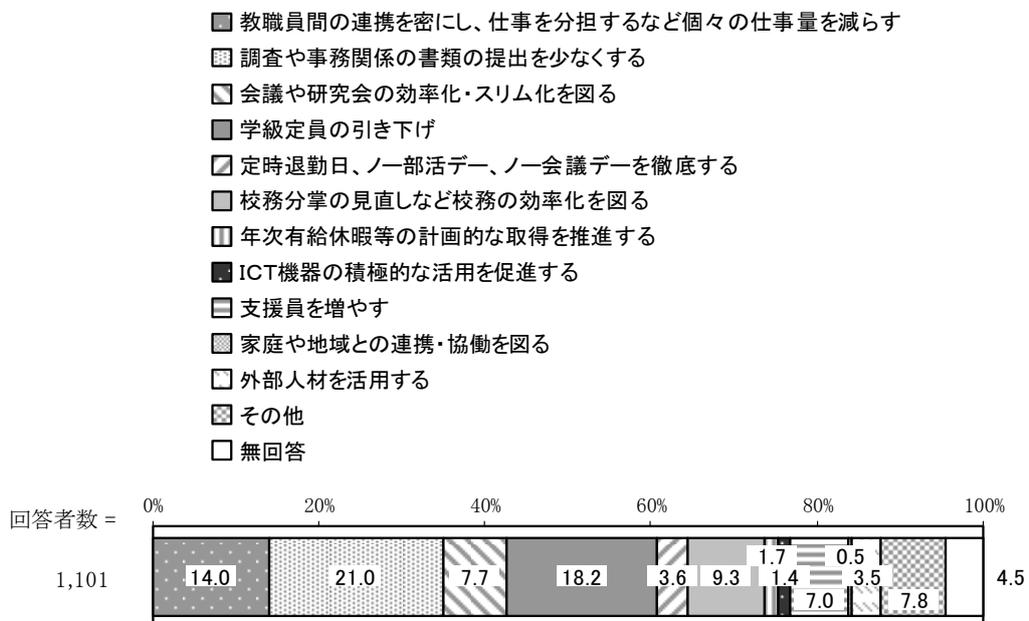
学校種別でみると、他に比べ、保育園で「各種行事」「研究・研修」の割合が、幼稚園で「保護者・PTA対応」の割合が、中学校、高等学校で「部活動指導」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数(件)	保育・授業の準備	各種行事	学級経営・学年経営	園務・校務分掌	会議・打合せ	事務処理	調査・報告書作成	研究・研修	保護者・PTA対応	地域・行政・関係団体対応	授業以外での学習指導	生徒指導	部活動指導	登下校指導	その他	無回答
保育園	116	16.4	31.9	6.0	8.6	10.3	48.3	20.7	30.2	24.1	1.7	—	2.6	—	—	7.8	12.9
幼稚園	50	22.0	18.0	4.0	6.0	20.0	26.0	8.0	20.0	34.0	—	2.0	6.0	—	—	6.0	18.0
小学校	344	7.0	9.6	3.8	19.8	16.6	38.4	23.0	23.5	28.8	5.5	3.2	15.1	2.3	5.5	4.9	12.8
中学校	261	7.7	13.4	6.9	21.8	16.1	30.3	23.0	22.2	26.4	4.6	3.4	15.7	28.4	3.4	4.2	8.0
高等学校	255	8.6	8.2	10.6	23.9	22.7	40.4	22.0	4.7	18.0	6.3	5.5	20.4	25.1	1.2	3.5	7.8

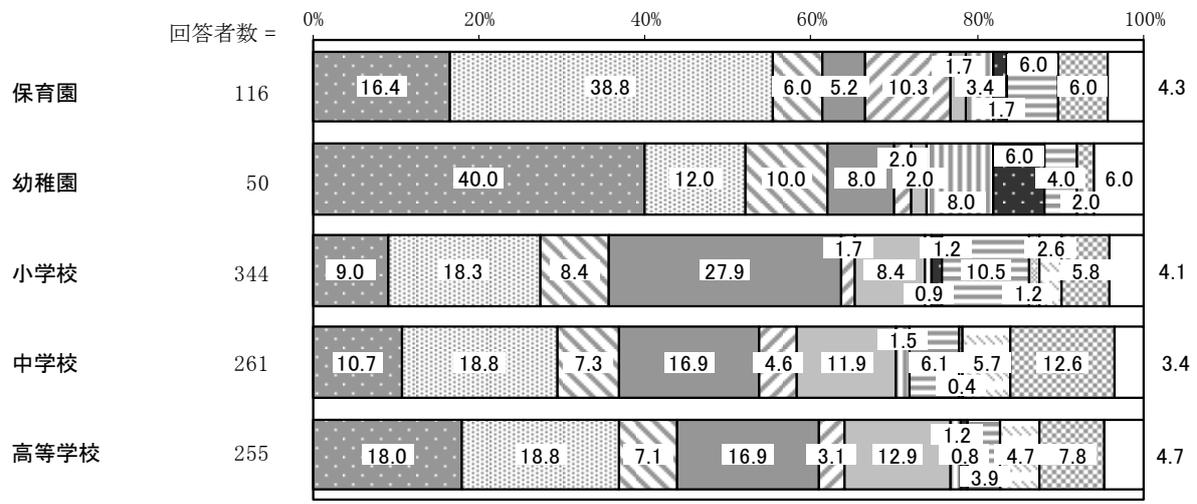
**問6 多忙を解消するために必要なことは何だと思えますか。
(最もあてはまるもの1つに○)**

「調査や事務関係の書類の提出を少なくする」の割合が21.0%と最も高く、次いで「学級定員の引き下げ」の割合が18.2%、「教職員間の連携を密にし、仕事を分担するなど個々の仕事量を減らす」の割合が14.0%となっています。



【学校種別】

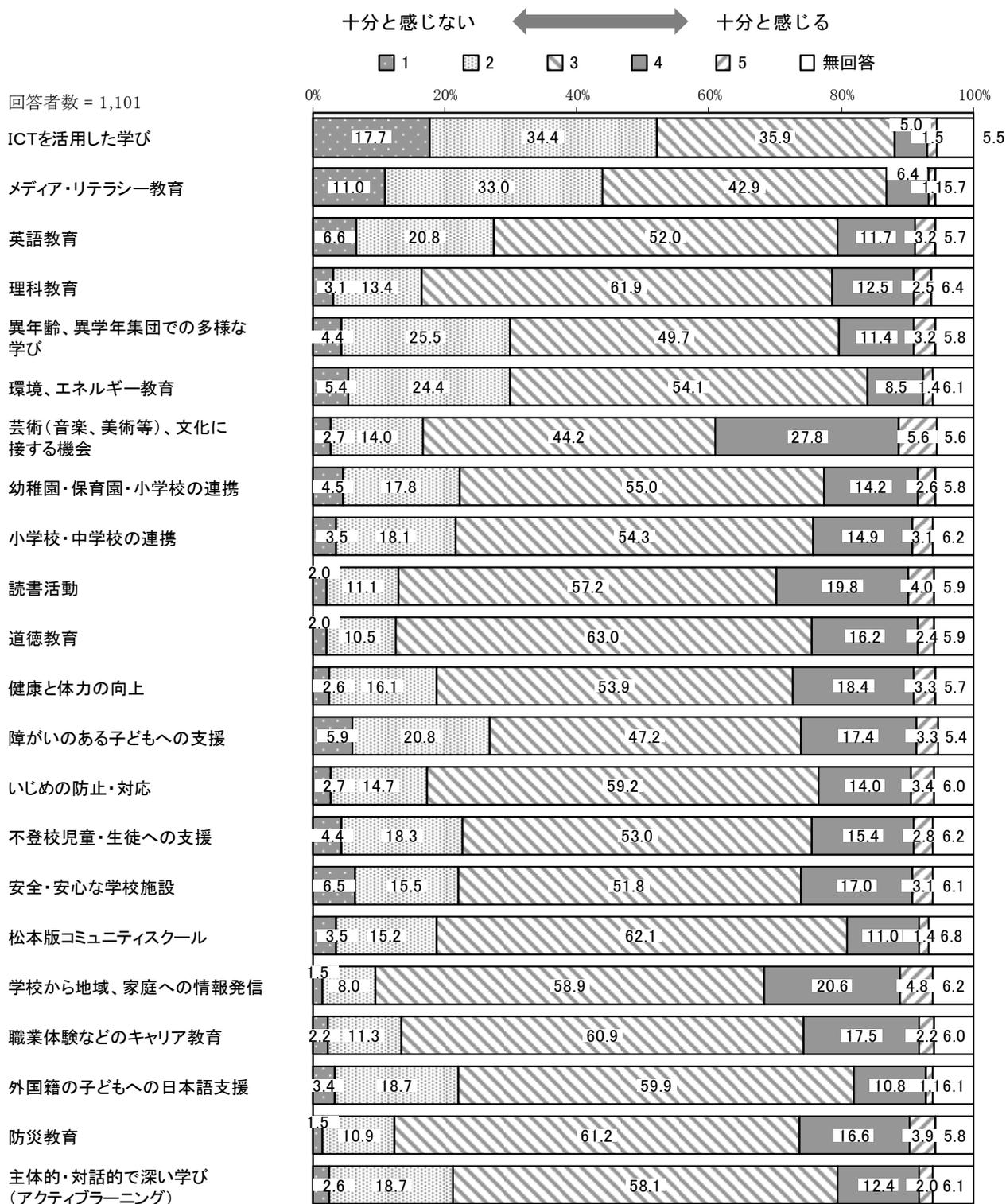
学校種別でみると、他に比べ、保育園で「調査や事務関係の書類の提出を少なくする」の割合が、幼稚園で「教職員間の連携を密にし、仕事を分担するなど個々の仕事量を減らす」の割合が高く、約4割となっています。また、小学校で「学級定員の引き下げ」の割合が高く、約3割となっています。



問 10 松本市の教育について「現在の状況」と「今後の重要度」について、それぞれ5段階であなたの考えに最も近い番号を1つずつ選んで〇をつけてください。

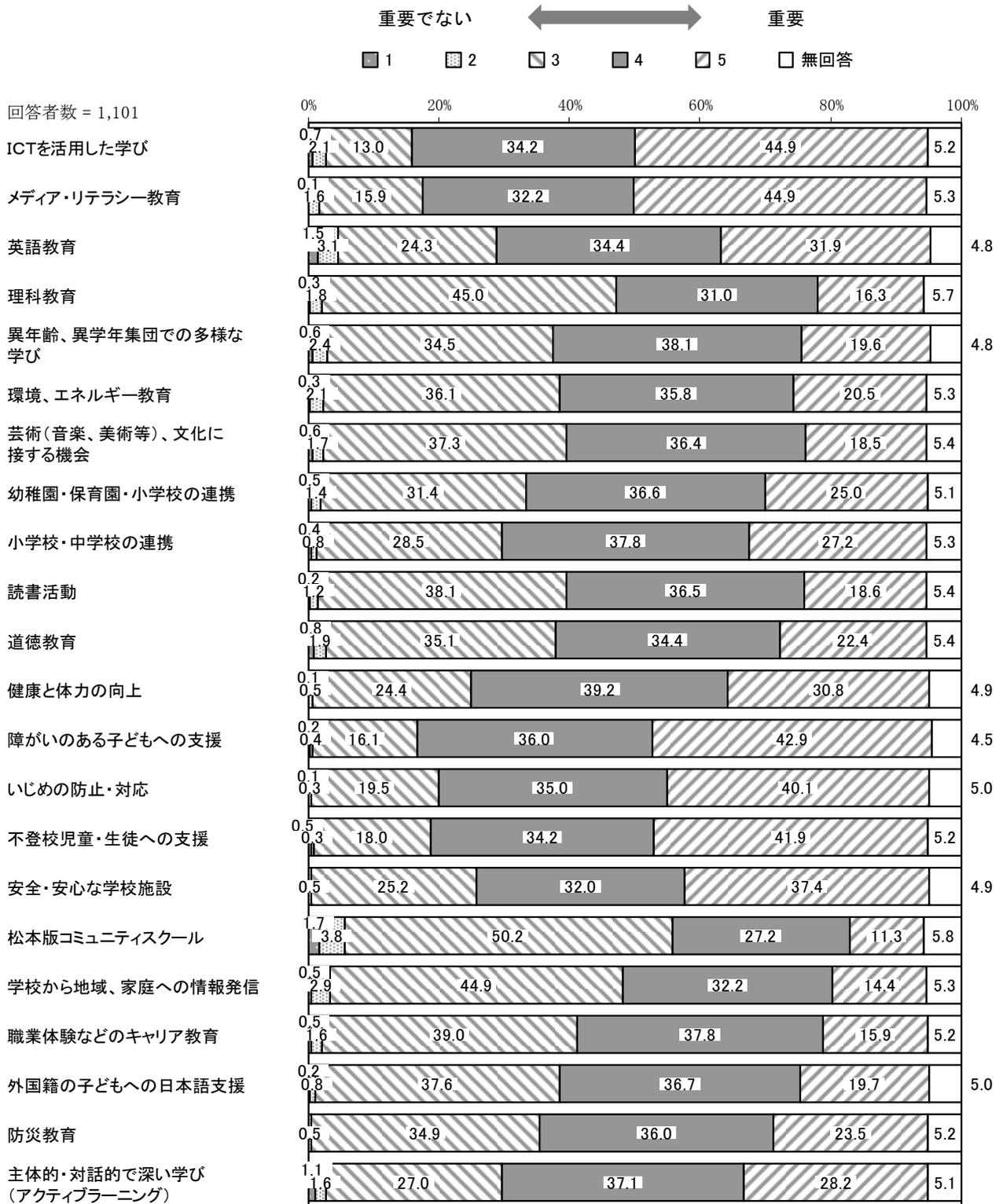
1. 現在の状況

『ICTを活用した学び』で、「1」と「2」をあわせた“十分と感じない”の割合が高く、約5割となっています。また、『芸術（音楽、美術等）、文化に接する機会』で「4」と「5」をあわせた“十分と感じる”の割合が高く、約3割となっています。



2. 今後の重要度

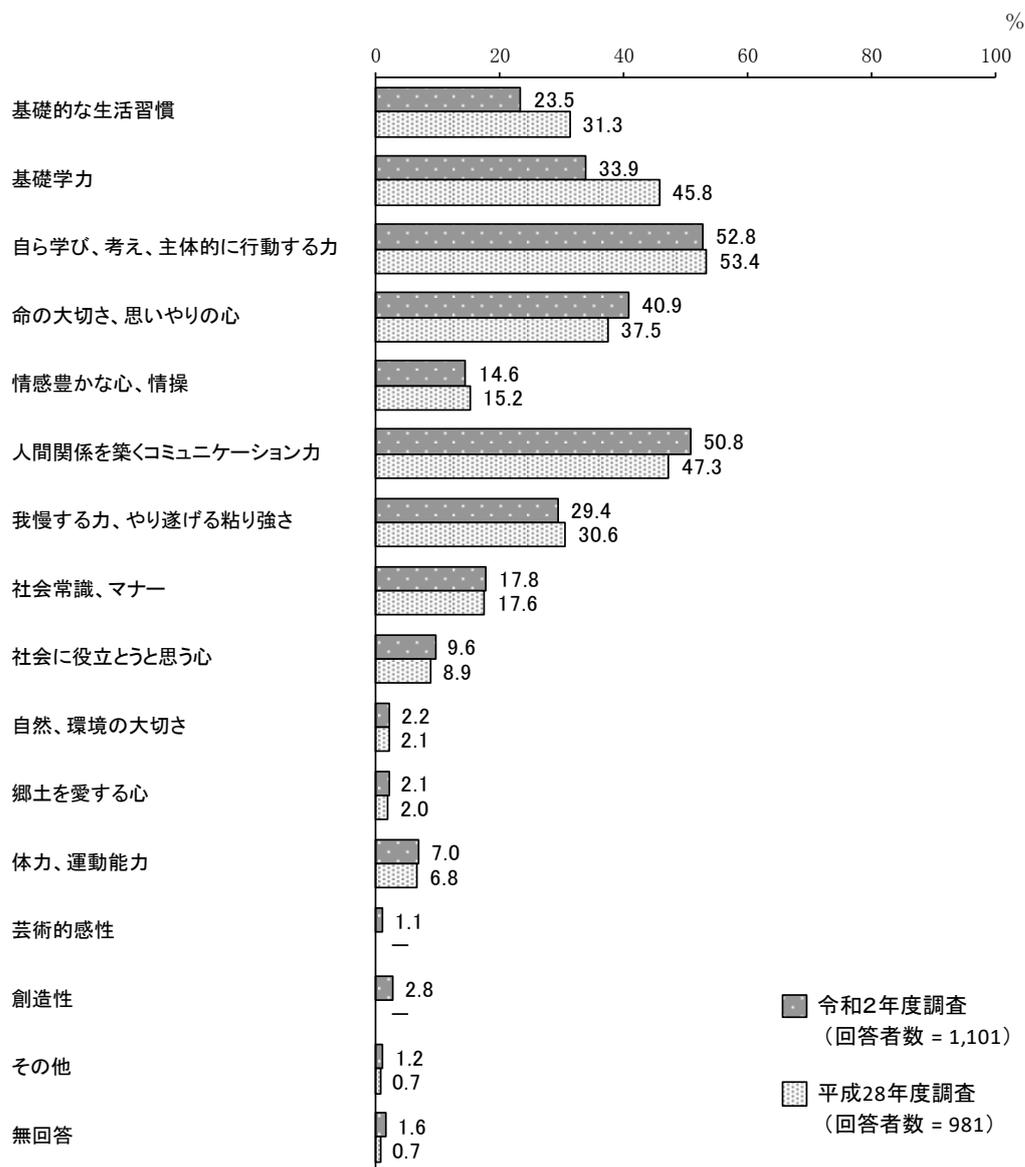
『ICTを活用した学び』『メディア・リテラシー教育』『障がいのある子どもへの支援』で「4」と「5」をあわせた“重要”の割合が高く、約8割となっています。また、『松本版コミュニティスクール』で“重要”の割合が低く、約4割となっています。



11 あなたが、学校教育等で特に子どもたちに学んでほしいこと3つ以内を選んでください。

「自ら学び、考え、主体的に行動する力」の割合が52.8%と最も高く、次いで「人間関係を築くコミュニケーション力」の割合が50.8%、「命の大切さ、思いやりの心」の割合が40.9%となっています。

平成28年度調査と比較すると、「基礎的な生活習慣」「基礎学力」の割合が減少しています。

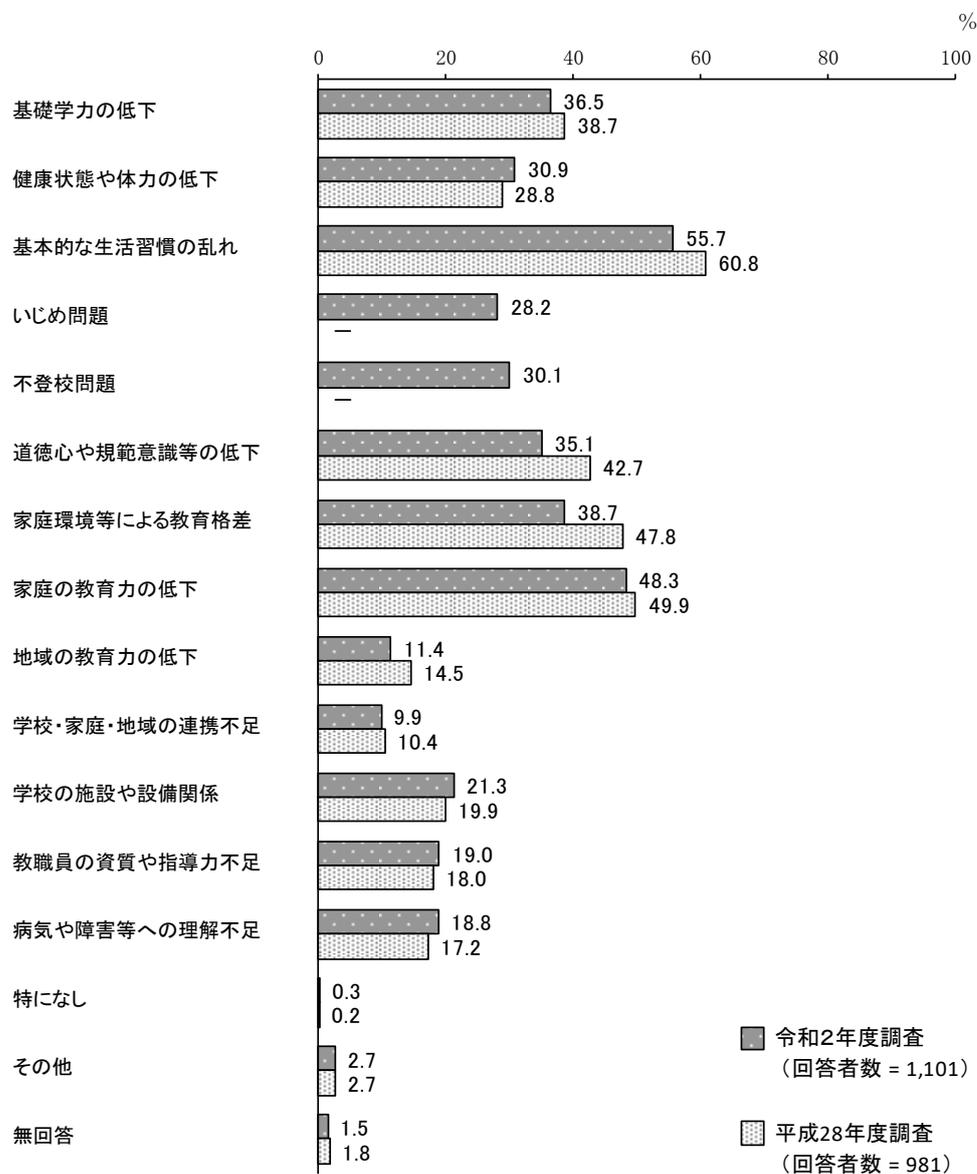


※平成28年度調査では「芸術的感性」「創造性」の選択肢がありません。

問 12 子どもの教育に関して課題は何だと思えますか。(あてはまるものすべてに○)

「基本的な生活習慣の乱れ」の割合が 55.7%と最も高く、次いで「家庭の教育力の低下」の割合が 48.3%、「家庭環境等による教育格差」の割合が 38.7%となっています。

平成 28 年度調査と比較すると、「基本的な生活習慣の乱れ」「道徳心や規範意識等の低下」「家庭環境等による教育格差」の割合が減少しています。

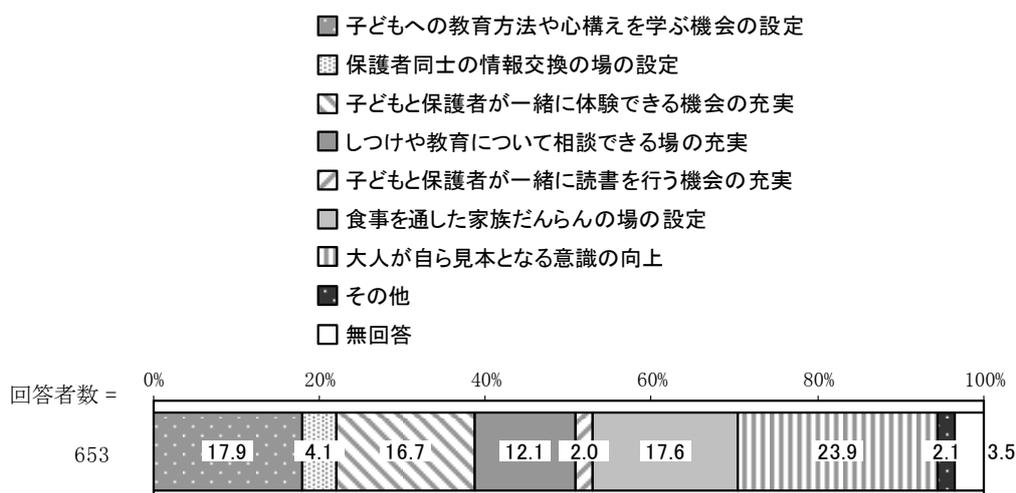


※平成 28 年度調査では「いじめ問題」「不登校問題」の選択肢がありません。

5 一般調査

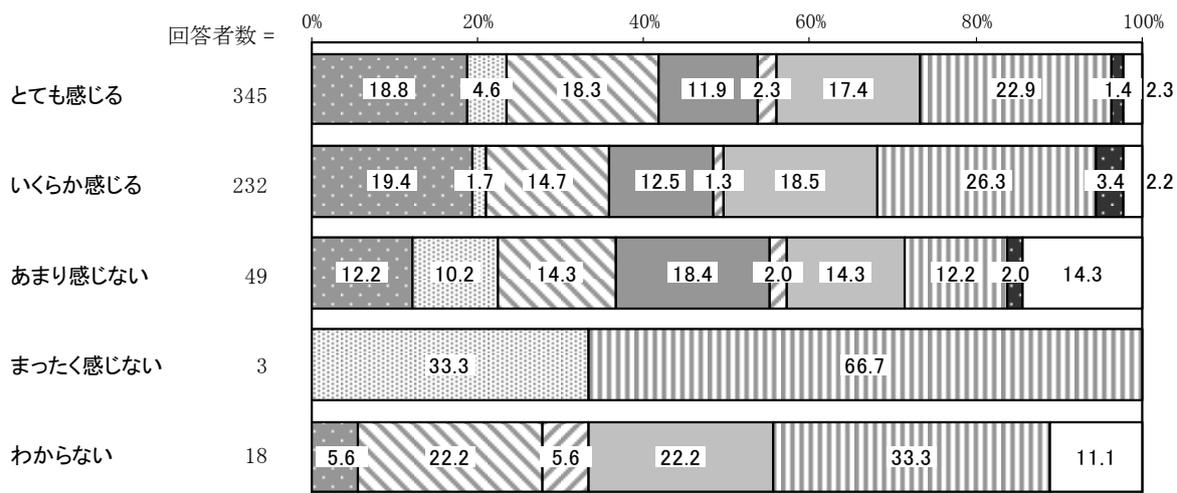
問 11 あなたは、家庭での教育力向上にどのような取り組みが必要だと思いますか。
(最もあてはまるもの1つに○)

「大人が自ら見本となる意識の向上」の割合が23.9%と最も高く、次いで「子どもへの教育方法や心構えを学ぶ機会の設定」の割合が17.9%、「子どもと保護者が一緒に体験できる機会の充実」の割合が17.6%となっています。



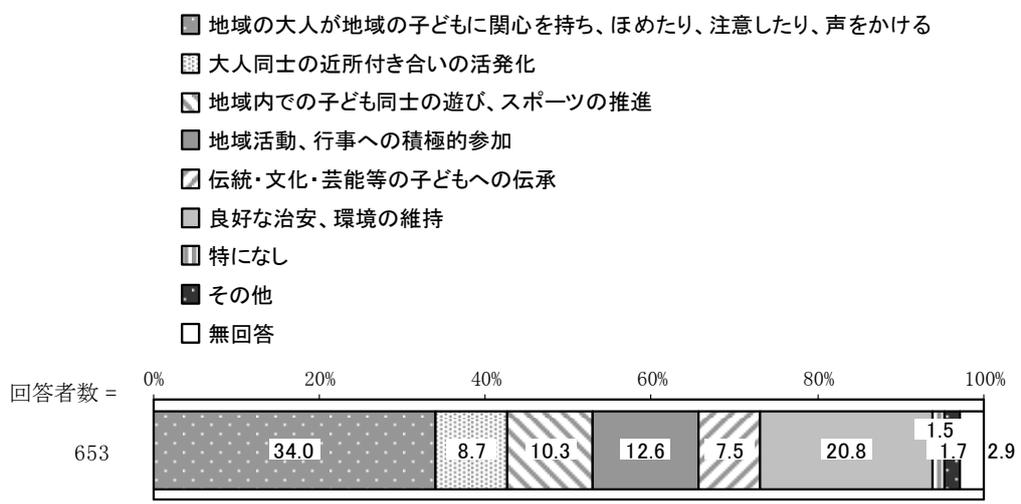
【愛着の有無別】

愛着の有無別でみると、他に比べ、とても感じるで「子どもと保護者が一緒に体験できる機会の充実」の割合が、とても感じる、いくらか感じるで「子どもへの教育方法や心構えを学ぶ機会の設定」の割合が高くなっています。



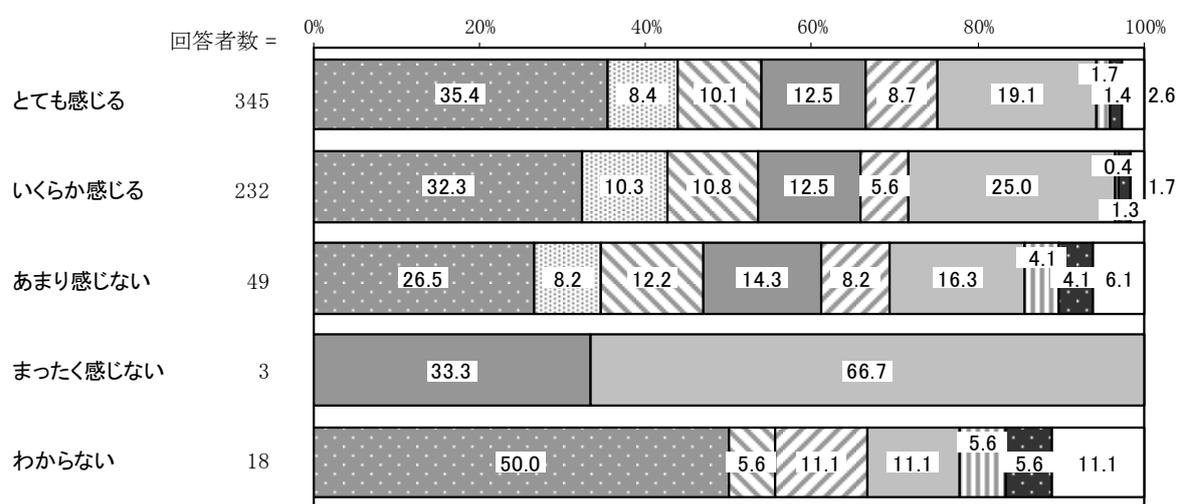
問 12 あなたは、地域で子どもを育てるためにはどのような取り組みが必要だと思いますか。(最もあてはまるもの1つに○)

「地域の大人が地域の子どもの関心を持ち、ほめたり、注意したり、声をかける」の割合が34.0%と最も高く、次いで「良好な治安、環境の維持」の割合が20.8%、「地域活動、行事への積極的参加」の割合が12.6%となっています。



【愛着の有無別】

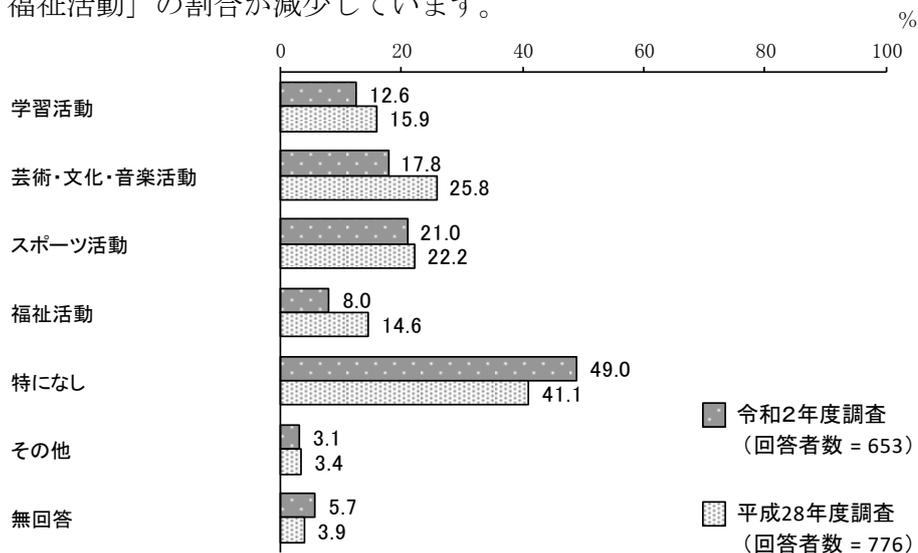
愛着の有無別で見ると、他に比べ、とても感じる、いくらか感じるで「地域の大人が地域の子どもの関心を持ち、ほめたり、注意したり、声をかける」の割合が高くなっています。



問 16 あなたは、どんな生涯学習活動をしていますか。(あてはまるものすべてに○)

「特になし」の割合が49.0%と最も高く、次いで「スポーツ活動」の割合が21.0%、「芸術・文化・音楽活動」の割合が17.8%となっています。

平成28年度調査と比較すると、「特になし」の割合が増加しています。一方、「芸術・文化・音楽活動」「福祉活動」の割合が減少しています。



【年代別】

年代別でみると、他に比べ、20歳代で「学習活動」の割合が、50歳代で「スポーツ活動」の割合が高くなっています。また、20歳代、60歳代で「芸術・文化・音楽活動」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	有効回答数(件)	学習活動	芸術・文化・音楽活動	スポーツ活動	福祉活動	特になし	その他	無回答
10歳代	8	25.0	12.5	12.5	—	50.0	—	—
20歳代	53	24.5	22.6	17.0	3.8	45.3	3.8	5.7
30歳代	65	20.0	7.7	20.0	3.1	56.9	4.6	3.1
40歳代	113	9.7	13.3	20.4	5.3	65.5	0.9	—
50歳代	126	11.1	18.3	23.8	5.6	51.6	3.2	1.6
60歳代	101	13.9	22.8	21.8	8.9	46.5	2.0	5.9
70歳以上	186	8.1	19.9	21.0	14.0	36.6	4.3	12.9

【愛着の有無別】

愛着の有無別で見ると、他に比べ、とても感じるで「芸術・文化・音楽活動」「スポーツ活動」の割合が高くなっています。

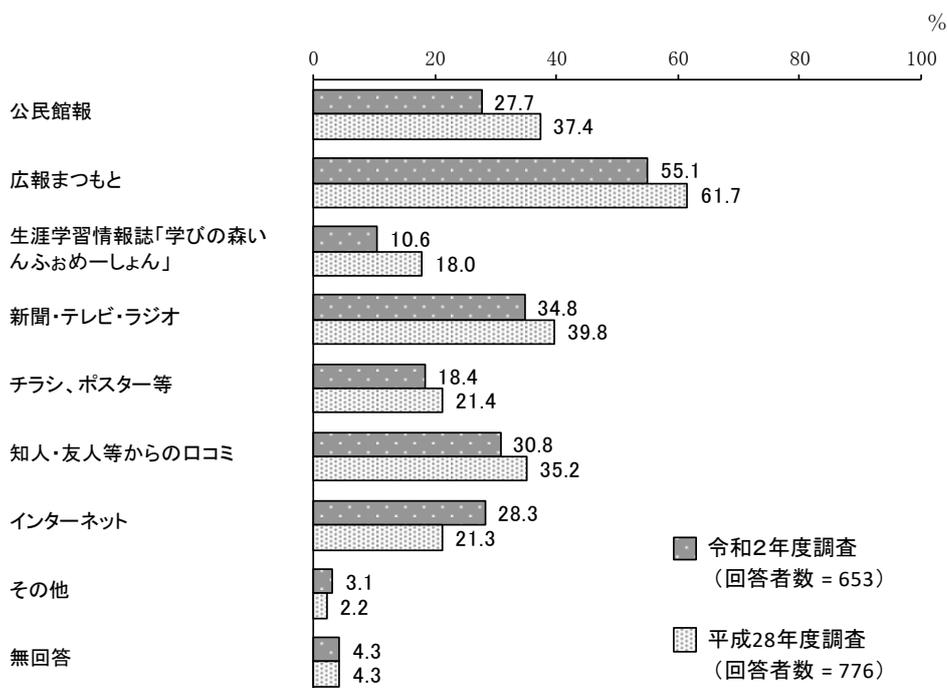
単位：％

区分	有効回答数 (件)	学習活動	芸術・文化・ 音楽活動	スポーツ活動	福祉活動	特になし	その他	無回答
とても感じる	345	14.5	23.5	23.2	7.2	43.2	3.2	5.5
いづらか感じる	232	10.8	10.8	20.7	8.2	55.2	2.6	4.3
あまり感じない	49	8.2	12.2	14.3	8.2	63.3	2.0	4.1
まったく感じない	3	—	—	—	—	33.3	66.7	—
わからない	18	5.6	16.7	11.1	11.1	55.6	—	22.2

問 18 あなたは、学習情報やサークル情報をどのように知りますか。
 (あてはまるものすべてに○)

「広報まつもと」の割合が 55.1%と最も高く、次いで「新聞・テレビ・ラジオ」の割合が 34.8%、「知人・友人等からの口コミ」の割合が 30.8%となっています。

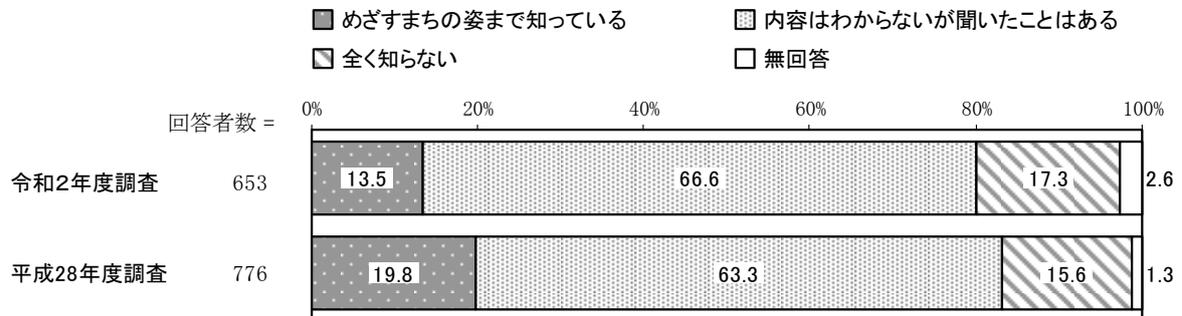
平成 28 年度調査と比較すると、「インターネット」の割合が増加しています。一方、「公民館報」「広報まつもと」「生涯学習情報誌「学びの森いんふおめーしょん」」の割合が減少しています。



問 24 松本市が「学都松本」をめざしていることを知っていますか。

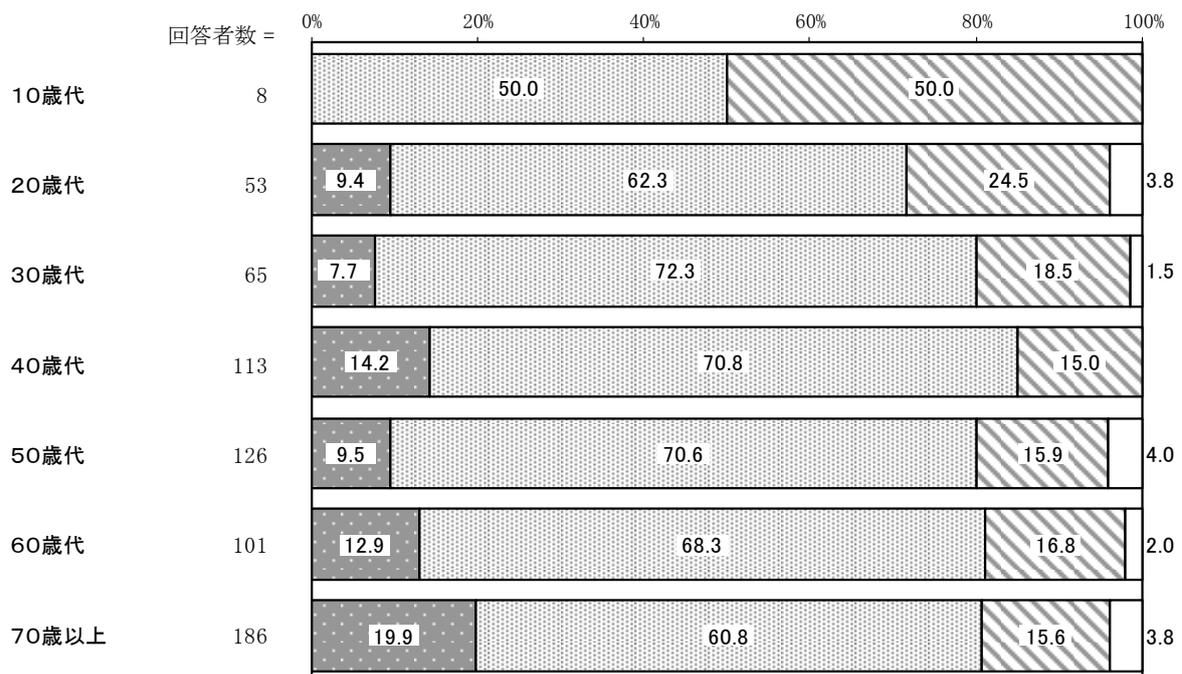
「内容はわからないが聞いたことはある」の割合が 66.6%と最も高く、次いで「全く知らない」の割合が 17.3%、「めざすまちの姿まで知っている」の割合が 13.5%となっています。

平成 28 年度調査と比較すると、「めざすまちの姿まで知っている」の割合が減少しています。



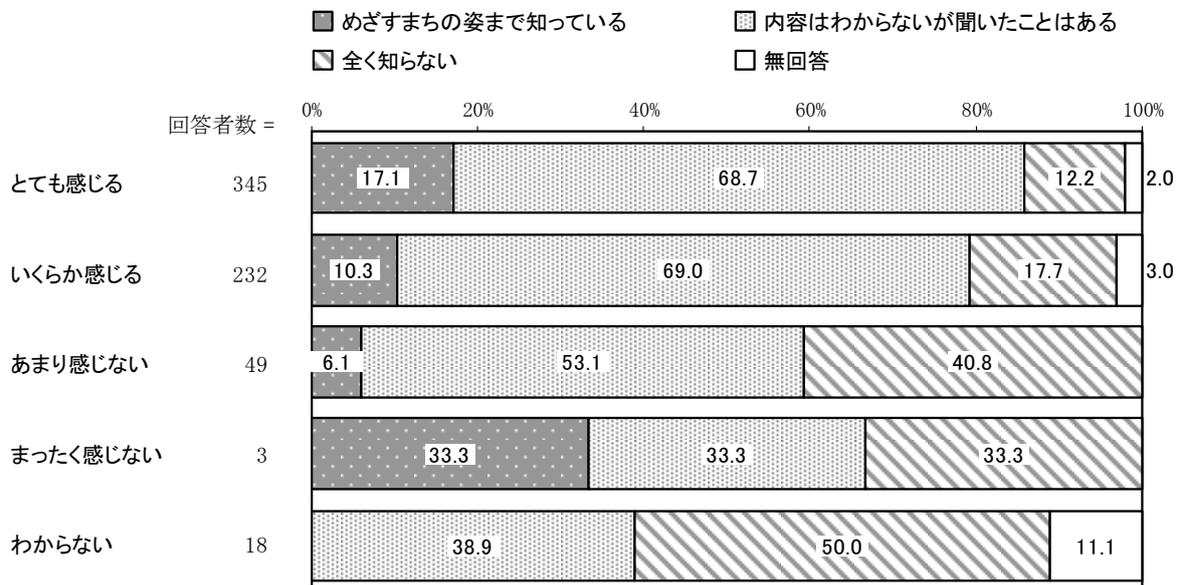
【年代別】

年代別でみると、他に比べ、70歳以上で「めざすまちの姿まで知っている」の割合が高くなっています。また、20歳代で「全く知らない」の割合が高くなっています。



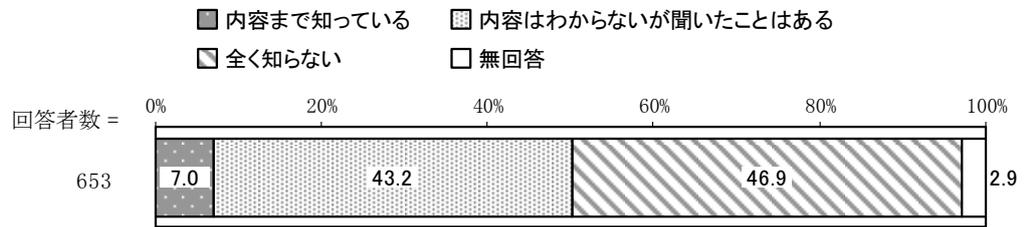
【愛着の有無別】

愛着の有無別で見ると、愛着を感じている人ほど「めざすまちの姿まで知っている」の割合が高くなっています。また、あまり感じないで「全く知らない」の割合が高くなっています。



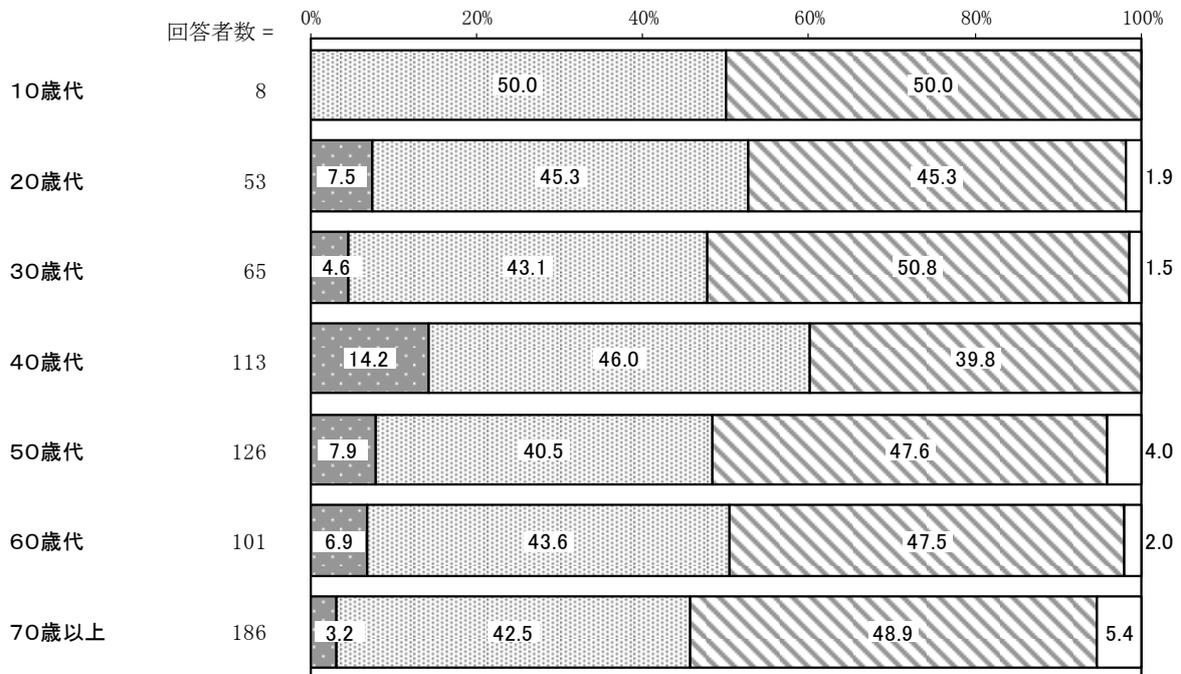
問 26 あなたは、「松本市子どもの権利に関する条例」を知っていますか。

「全く知らない」の割合が 46.9%と最も高く、次いで「内容はわからないが聞いたことはある」の割合が 43.2%となっています。



【年代別】

年代別でみると、他に比べ、40歳代で「内容まで知っている」の割合が高くなっています。また、30歳代で「全く知らない」の割合が高くなっています。



まつもとし きょういく かん
松本市の教育に関するアンケート調査 ちょうさ

【 お 願 い 】

このアンケート調査は、松本市の小・中学生の皆さんにお聞きするものです。

学校や家庭での普段の生活の様子や日頃思っていることについて教えてください。

どうしても答えづらい質問には答えなくてもいいです。

調査の結果は、これからの松本市の教育に生かしたいと考えていますので、自由に意見を書

いてください。ご協力をお願いいたします。

令和2年10月 松本市教育委員会

～記入について～

- 1 回答は、できるだけ自分で書いてください。
- 2 回答は、あてはまる番号に○印をしてください。
- 3 この調査は、名前を書きませんので、意見を書くところは、正直な思いを書いてください。
- 4 すべて記入が終わりましたら、保護者の回答したアンケートと一緒に封筒に入れ封をし、担任の先生に提出してください。





1 あなたについてお聞きします。

問1 あなたの性別をお答えください。

- 1 男性 2 女性 3 その他

問2 あなたは何年生ですか。

- 1 小学校3年生 2 小学校6年生 3 中学校3年生

問3 あなた自身についてお聞きします。(①～③の各項目について、あてはまるものに、それぞれひとつだけに○)

項目	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	わからない
① 自分に自信がある	1	2	3	4	5
② いろいろなことに積極的に挑戦することができる	1	2	3	4	5
③ 自分のことが好き	1	2	3	4	5



2 学校生活についてお聞きします。

問4 あなたは、学校が楽しいですか。

- 1 楽しい 2 どちらかといえば楽しい 3 あまり楽しくない 4 楽しくない

問5 問4で「1」、「2」と答えた方にお聞きします。

学校で何をすることが楽しいですか。(最もあてはまるもの1つに○)

- 1 国語や算数・数学など 2 運動すること 3 友だちと遊ぶこと 4 音楽や図工・美術
5 総合的な学習の時間 6 給食 7 先生と話をすること
8 読書の時間 9 クラブ活動・部活動 10 その他 ()

問6 問4で「3」、「4」と答えた方にお聞きします。

どうして、楽しくないのですか。(最もあてはまるもの1つに○)

- 1 友だち関係がうまくいかない 2 先生がきらい 3 いじめられる
4 授業がつまらない 5 授業がわからない 6 勉強したくない
7 授業以外でいやなことがある 8 その他 ()

問7 あなたは、勉強することが好きですか。

- 1 好き 2 どちらかといえば好き 3 あまり好きではない 4 好きではない

問8 問7で「3」、「4」と答えた方にお聞きします。

どうして勉強することが好きではないのですか。(最もあてはまるもの1つに○)

1 授業が理解できない	2 授業がおもしろくない	3 何のためにやるのかわからない
4 成績がよくない	5 学校がきらい	6 先生がきらい
7 宿題が面倒くさい	8 その他()	

問9 あなたは、どんな先生が好きですか。(最もあてはまるもの1つに○)

1 面白い授業をしてくれる先生	2 良いところをほめてくれる先生
3 休み時間に遊んでくれたり、相談にのってくれる先生	
4 みんなに公平に接してくれる先生	5 悪いことをしたときにしかってくれる先生
6 その他()	

問10 あなたは、次の項目についてどのくらい良いと思いますか。

項目	良いと思う	どちらかというの良いと思う	あまり良いと思わない	良いと思わない
1 友だちとの関係は	1	2	3	4
2 先生との関係は	1	2	3	4
3 学校の雰囲気は	1	2	3	4
4 クラスの雰囲気は	1	2	3	4

問11 あなたは、次の項目についてどのくらい好きですか。

項目	とても好き	どちらかという好き	あまり好きでない	きらい
1 国語	1	2	3	4
2 社会	1	2	3	4
3 算数、数学	1	2	3	4
4 理科	1	2	3	4
5 音楽	1	2	3	4
6 図画工作、美術	1	2	3	4
7 (保健) 体育	1	2	3	4
8 技術・家庭(小6、中3のみ)	1	2	3	4
9 外国語()	1	2	3	4
10 外国人の先生の英語の学習	1	2	3	4
11 総合的な学習の時間	1	2	3	4
12 パソコンを使った学習	1	2	3	4
13 環境についての学習	1	2	3	4
14 学校の行事	1	2	3	4
15 給食	1	2	3	4
16 クラブ活動や部活動(入っている人のみ)	1	2	3	4

問12 新型コロナウイルス感染症により不安を感じていることは何ですか。
(最もあてはまるもの1つに○)

- | | |
|-----------------------------------|--------------------|
| 1 自分自身がコロナにかかってしまうこと | 2 家族がコロナにかかってしまうこと |
| 3 学校にいけなくなること | 4 勉強が心配 |
| 5 友だちと会えないこと | 6 体を動かして遊べないこと |
| 7 (かかっていないのに) コロナにかかったなどといじめられること | |
| 8 その他() | |



3 普段の生活についてお聞きします。

問13 あなたは、朝食を食べていますか。

- | | |
|---------------|---------------|
| 1 毎日食べている | 2 週に5~6日食べている |
| 3 週に3~4日食べている | 4 ほとんど食べない |

問14 あなたの睡眠時間は、何時間ですか。

- | | |
|-----------|-----------|
| 1 5時間未満 | 2 5~7時間未満 |
| 3 7~9時間未満 | 4 9時間以上 |

問15 あなたの自宅での過ごし方について、平日の1日あたりどれくらいしていますか。

	まったくしない	1時間未満	1~3時間未満	3時間以上
1 テレビ	1	2	3	4
2 ゲーム	1	2	3	4
3 動画視聴	1	2	3	4
4 SNS (ツイッター、ライン等)	1	2	3	4
5 勉強	1	2	3	4
6 読書	1	2	3	4
7 友だちと一緒に遊ぶ	1	2	3	4
8 家族との会話	1	2	3	4

問16 あなたは、学習塾(家庭教師を含む)や習いごとに通っていますか。

- | | |
|---------------|---------------|
| 1 週に1、2日通っている | 2 週に3、4日通っている |
| 3 週に5日以上通っている | 4 通っていない |

問17 あなたは、自分の携帯電話やスマホを持っていますか。

- | | |
|---------|----------|
| 1 持っている | 2 持っていない |
|---------|----------|

問18 あなたは、自分のパソコンやタブレット、小型ゲーム機を持っていますか。

- | | |
|---------|----------|
| 1 持っている | 2 持っていない |
|---------|----------|

問 25 あなたの住んでいる地域ちいきの大人に望むことは何ですか。(最もあてはまるもの1つに○)

- | | |
|--------------------------------------|------------------------|
| 1 自分たちの安全を見守ってほしい | 2 あいさつをかわしてほしい |
| 3 地域 <small>ちいき</small> の行事に参加させてほしい | 4 世の中のいろんなことについて教えてほしい |
| 5 困ったときに相談にのってほしい | 6 特に望むことはない |
| 7 その他 () | |



5 あなたの将来しょうらいやその他のことについてお聞きします。

問 26 あなたは、将来しよくぎょうなりたい職業がありますか。

- | | | |
|--------------|----------|--------------------|
| 1 はっきり決まっている | 2 何となくある | 3 考えたことはあるが決まっていない |
| 4 考えたことがない | 5 考えたくない | |

問 27 将来、松本市に住みたいと思いますか。

- | | | |
|----------------|------------|---------|
| 1 ずっと住み続けたい | 2 できれば住みたい | |
| 3 いつかは松本市に戻りたい | 4 市外に出たい | 5 わからない |

問 28 松本市が「学都松本がくと」をめざしていることを知っていますか。

- | | |
|------------------|---------------------|
| 1 めざすまちの姿まで知っている | 2 内容はわからないが聞いたことはある |
| 3 全く知らない | |

問 29 あなたは、「まつもと市民生きいき活動」を知っていますか。

- | | |
|-------------|---------------------|
| 1 内容まで知っている | 2 内容はわからないが聞いたことはある |
| 3 全く知らない | |

問 30 学校や家庭、地域ひごろのことで、あなたが、日頃、感じていることを自由にご書いてください。



以上でアンケートは終了です。ご協力ありがとうございました。

松本市の教育に関するアンケート調査

【調査ご協力のお願い】

保護者の皆様には、日頃から松本市の教育にご理解、ご協力をいただき誠にありがとうございます。

このたび、松本市教育委員会では教育に関する皆さまのご意見をお聴きし、今後の教育行政推進の参考にするとともに、「第3次松本市教育振興基本計画」を策定していく上での基礎資料とするため、アンケート調査を実施することといたしました。

お忙しいところ誠に恐縮ですが、このアンケートにご回答いただき、お子様のアンケートと一緒に封筒に入れ封をし、11月20日（金）までに担任の先生へ提出いただきますようお願い申し上げます。

なお、この調査は、他の目的には使用いたしませんので、調査の趣旨にご理解いただき、ご協力いただきますようお願い申し上げます。

また、この調査の結果につきましては、まとめ次第、松本市のホームページで公表する予定です。

令和2年10月 松本市教育委員会

～記入上の留意事項～

- 1 回答は、該当する番号に○印をしていただくか、回答欄にご記入ください。
- 2 この調査は、無記名ですので、自由記述欄については、率直なご意見をお書きください。
- 3 ご不明な点は、問い合わせ先までご連絡ください。

教育振興基本計画とは……

平成18年の教育基本法の改正により、地方自治体における教育の振興のための施策に関する基本的な計画を定めるよう努めなければならないと規定されたことに基づく計画です。

【問い合わせ先】 〒390-0874 松本市大手3-8-13 4F
松本市教育委員会 教育政策課 教育政策担当
TEL 0263-33-3980
FAX 0263-33-3934
Email: somu@city.matsumoto.lg.jp

1 あなたについてお聞きします。

問1 お子さんとの続柄は何ですか。

- 1 父親 2 母親 3 祖父 4 祖母 5 その他 ()

問2 お子さんは、何年生ですか。

- 1 保育園・幼稚園年長 2 小学3年生 3 小学6年生 4 中学3年生

問3 あなたは何歳ですか。

- 1 10歳代 2 20歳代 3 30歳代 4 40歳代
5 50歳代 6 60歳代 7 70歳以上

問4 あなたは松本市に親しみや愛着を感じますか。

- 1 とても感じる 2 いくらか感じる 3 あまり感じない
4 まったく感じない 5 わからない

2 学校等（保育園・幼稚園を含む）とのかかわりについてお聞きします。

問5 あなたのお子さんは、学校等に楽しく通っていますか。

- 1 とても楽しそう 2 どちらかといえば楽しそう 3 あまり楽しそうでない
4 行きたがらない 5 わからない

問6 問5で「3」、「4」、「5」と回答した方にお聞きします。

その理由は、何だと思えますか。(最もあてはまるもの1つに○)

- 1 友だち関係 2 先生との関係 3 いじめ 4 勉強のこと
5 授業以外でいやなことがある 6 その他 ()

問7 あなたは、お子さんが通っている学校等に対して何を望みますか。(最もあてはまるもの1つに○)

- 1 授業を充実してほしい 2 ぶだんの授業風景をみたい
3 学校等の教育方針を説明してほしい 4 学校等での出来事など情報を提供してほしい
5 保護者等がボランティアとして学校等を支援するしくみをつくってほしい
6 学校等の施設を地域に開放してほしい 7 その他 ()

3 子どもの教育についてお聞きします。

問8 幼児教育の充実には、どのような取組みが必要だと思えますか。(最もあてはまるもの1つに○)

- 1 「遊び」と「学び」の組織的、計画的指導の充実
2 発達状況に応じたきめ細かな対応 3 幼児教育と小学校教育との連携
4 保育士・幼稚園教諭の資質及び専門性の向上 5 親育ちの場の充実
6 地域人材の活用等地域の支援 7 つどいの広場*1の充実
8 今のままでよい 9 その他 ()

※1 つどいの広場：乳幼児連れの親たちが、気軽に集い、語り合い、交流できる場として、児童館・児童センター等で実施しているもの。

問9 子どもの教育について、あなたが関心のあることは何ですか。(最もあてはまるもの1つに○)

- | | |
|----------------|------------------|
| 1 子どもの基礎学力 | 2 主体的に学ぶ力 |
| 3 子どもの体力 | 4 子どもの基本的な生活習慣 |
| 5 子どもの道徳心や規範意識 | 6 子どものいじめ問題 |
| 7 学校の施設・設備 | 8 教職員の指導力や専門性 |
| 9 家庭でのしつけ・教育 | 10 家庭でのコミュニケーション |
| 11 地域での子育て・教育 | 12 学校・家庭・地域の連携 |
| 13 その他 () | |

問10 あなたは、松本市の子どもたちに、どのような子どもになってほしいと思いますか。(最もあてはまるもの1つに○)

- | | |
|---------------------|----------------|
| 1 ルールやマナーを守る子ども | 2 健康で活発な子ども |
| 3 自分の意見をはっきりと言える子ども | 4 創造性が豊かな子ども |
| 5 思いやりやさしさを持った子ども | 6 努力できる子ども |
| 7 責任感を持った子ども | 8 意欲的に学習する子ども |
| 9 向上心やチャレンジ精神のある子ども | 10 夢を持っている子ども |
| 11 リーダーシップのある子ども | 12 ふるさとを愛する子ども |
| 13 その他 () | |
| 14 特になし | 15 わからない |

問11 子どもたちを取り巻く環境は、この数年、どのように変化してきたと思いますか。(○は①～⑤ごとに1つ)

	増加・濃厚 ・向上	変わらない	減少・希薄 ・低下
① 家庭などでの生活体験の機会	3	2	1
② 地域社会での人間関係	3	2	1
③ 子どもと高齢者がふれ合う機会	3	2	1
④ インターネット・スマホなど多様な情報にふれる機会	3	2	1
⑤ 外国の人と接する機会	3	2	1

問12 子どもの教育に関して課題は何だと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

- | | | |
|------------------|---------------|-----------------|
| 1 基礎学力の低下 | 2 健康状態や体力の低下 | 3 基本的な生活習慣の乱れ |
| 4 いじめ問題 | 5 不登校問題 | 6 道徳心や規範意識等の低下 |
| 7 家庭環境等による教育格差 | 8 家庭の教育力の低下 | 9 地域の教育力の低下 |
| 10 学校・家庭・地域の連携不足 | 11 学校の施設や設備関係 | 12 教職員の資質や指導力不足 |
| 13 病気や障害等への理解不足 | 14 特になし | 15 その他 () |

問13 松本市の教育について「現在の状況」と「今後の重要度」について、それぞれ5段階であ
 なたの考えに最も近い番号を1つずつ選んで○をつけてください。

項目	【現在の状況】					【今後の重要度】				
	十分と感じる		十分と感じない			重要		重要でない		
	←		→			←		→		
1 ICTを活用した学び	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
2 メディア・リテラシー教育	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
3 英語教育	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
4 理科教育	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
5 異年齢、異学年集団での多様な学 び	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
6 環境、エネルギー教育	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
7 芸術（音楽、美術等）、文化に接 する機会	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
8 幼稚園・保育園・小学校の連携	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
9 小学校・中学校の連携	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
10 読書活動	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
11 道徳教育	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
12 健康と体力の向上	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
13 障がいのある子どもへの支援	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
14 いじめの防止・対応	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
15 不登校児童・生徒への支援	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
16 安全・安心な学校施設	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
17 松本版コミュニティスクール ^{※2}	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
18 学校から地域、家庭への情報 発信	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
19 職業体験などのキャリア教育	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
20 外国籍の子どもへの日本語支援	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
21 防災教育	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
22 主体的・対話的で深い学び（ア クティブラーニング） ^{※3}	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1

※2 松本版コミュニティスクール事業：「学校運営参画」、「学校支援」、「学校評価」を一体的、持続的に行うため、各学校に地域住民等によるコミュニティスクール運営委員会を設置し、公民館がコーディネート役となり、学校と地域の連携・協働を進め、地域での体験活動などを行うもの。

※3 主体的・対話的で深い学び：学習指導要領が目指す資質・能力を育むため、知識の習得に特化した、一方的な講義形式ではなく学習者の能動的な学習への参加を主眼とした学習法の総称

問 14 新型コロナウイルス感染症が今後も子どもたちの教育に大きな影響を及ぼす可能性があります。現在の状況下における松本市の子どもたちの教育について不安を感じていることは何ですか。(最もあてはまるもの1つに○)

- | | |
|-----------------------------|--------------------------|
| 1 学習保障に関すること | 2 学校での感染症対策に関すること |
| 3 心のケアに関すること | 4 運動不足・体力の低下に関すること |
| 5 生活習慣のみだれに関すること | 6 学校行事に関すること |
| 7 部活動に関すること | 8 ICT 環境整備・オンライン指導に関すること |
| 9 対面によるコミュニケーションの機会減少に関すること | |
| 10 その他 (|) |

4 家庭や地域での教育についてお聞きします。

問 15 昨年1年間で、地域の行事にお子さんと一緒に参加していますか。

- | | |
|--------------|-------------|
| 1 よく参加している | 2 時々参加している |
| 3 あまり参加していない | 4 全く参加していない |

問 16 地域には、ボランティアで学校を支援するなど、地域の子どもたちの教育に関わってくれる人が多いと思いますか。

- | | |
|-------------------|-----------------|
| 1 そう思う | 2 どちらかといえば、そう思う |
| 3 どちらかといえば、そう思わない | 4 そう思わない |

問 17 あなたが子育てで大切にしていることはどんなことですか。(最もあてはまるもの1つに○)

- | | |
|----------------------------|---|
| 1 できるだけ子どもと過ごす時間をとること | |
| 2 笑顔で子どもに接すること | |
| 3 スキンシップや会話をたくさんすること | |
| 4 ほめるときはほめ、しかるときはきちんとしかること | |
| 5 規則正しい生活をさせること | |
| 6 食事の作法、トイレの仕方、マナーなどを教えること | |
| 7 できるだけ外遊びをさせるようにすること | |
| 8 自然に触れる機会をつくること | |
| 9 いろいろな人と接する機会をつくること | |
| 10 文字や数など知的な経験の機会をつくること | |
| 11 自分自身が子育てを楽しむこと | |
| 12 自分がゆとりをもって子どもと接すること | |
| 13 その他 (|) |
| 14 特にない | |

問 18 あなたが、自分のお子さんによく注意することは何ですか。(最もあてはまるもの1つに○)

- | | | |
|-----------------------------|-------------------|--------------------------|
| 1 早寝、早起きなど規則正しい生活 | 2 あいさつ | 3 ものごとの善悪 |
| 4 長い時間のゲームやテレビ、スマホの使用を控えること | 5 家事の手伝い | |
| 6 自分でできることは自分ですること | 7 学校での出来事を家族に話すこと | |
| 8 勉強 | 9 体を動かすこと | 10 思いやり、やさしさの気持ち、約束を守ること |
| 11 その他 () | | |

問 19 あなたは、家庭での教育力向上にどのような取組みが必要だと思いますか。
(最もあてはまるもの1つに○)

- | | |
|-------------------------|-----------------------|
| 1 子どもへの教育方法や心構えを学ぶ機会の設定 | 2 保護者同士の情報交換の場の設定 |
| 3 子どもと保護者が一緒に体験できる機会の充実 | 4 しつけや教育について相談できる場の充実 |
| 5 子どもと保護者が一緒に読書を行う機会の充実 | 6 食事を通じた家族だんらんの場の設定 |
| 7 大人が自ら見本となる意識の向上 | 8 その他 () |

問 20 あなたは、地域で子どもを育てるためにはどのような取組みが必要だと思いますか。
(最もあてはまるもの1つに○)

- | | | |
|---------------------------------------|-------------------------|-----------|
| 1 地域の大人が地域の子どもの関心を持ち、ほめたり、注意したり、声をかける | | |
| 2 大人同士の近所付き合いの活発化 | 3 地域内での子ども同士の遊び、スポーツの推進 | |
| 4 地域活動、行事への積極的参加 | 5 伝統・文化・芸能等の子どもへの伝承 | |
| 6 良好な治安、環境の維持 | 7 特になし | 8 その他 () |

問 21 あなたは、学校、家庭、地域が連携協力するためには何が必要だと思いますか。
(最もあてはまるもの1つに○)

- | |
|--------------------------|
| 1 運動会等の学校行事に保護者や地域住民の協力 |
| 2 子ども地域行事等への積極的な参加 |
| 3 学校、保護者、地域住民の話し合いの機会 |
| 4 学校の授業への地域住民の協力 |
| 5 学校施設の地域への開放 |
| 6 学校開放日等の設置による地域の人々の学校参観 |
| 7 学校から保護者や地域への情報提供 |
| 8 保護者の参画意識の向上 |
| 9 地域行事に参加できるような工夫 |
| 10 その他 () |

5 その他のことについてお聞きします。

問22 松本市が「学都松本」をめざしていることを知っていますか。

- | | |
|------------------|---------------------|
| 1 めざすまちの姿まで知っている | 2 内容はわからないが聞いたことはある |
| 3 全く知らない | |

問23 あなたは、「まつもと市民生きいき活動」を知っていますか。

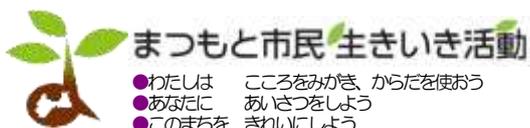
- | | |
|-------------|---------------------|
| 1 内容まで知っている | 2 内容はわからないが聞いたことはある |
| 3 全く知らない | |

問24 松本市の学校教育について、ご意見があればお書きください。

問25 松本市の生涯学習※4、社会教育※5について、ご意見があればお書きください。

※4 生涯学習：生涯にわたり自発的に学びの活動を続けていくこと ※5 社会教育：学校教育以外の組織的な教育活動

以上でアンケートは終了です。ご協力ありがとうございました。



「学都松本へ」

松本市の教育に関するアンケート調査

【調査ご協力のお願い】

教職員・保育士・幼稚園教諭の皆様には、日頃から児童・生徒の教育にご尽力をいただき誠にありがとうございます。

このたび、松本市教育委員会では教育に関する皆さまのご意見をお聴きし、今後の教育行政推進の参考にするとともに、「第3次松本市教育振興基本計画」を策定していく上での基礎資料とするため、アンケート調査を実施することといたしました。

お忙しいところ誠に恐縮ですが、このアンケートにご回答いただき、封筒に入れ封をし、11月20日（金）までに学校等の代表へ提出いただきますようお願い申し上げます。

なお、この調査は、他の目的には使用いたしませんので、調査の趣旨にご理解いただき、ご協力いただきますようお願い申し上げます。

また、この調査の結果につきましては、まとめ次第、松本市のホームページで公表する予定です。

令和2年10月 松本市教育委員会

～記入上の留意事項～

- 1 回答は、該当する番号に○印をしていただくか、回答欄にご記入ください。
- 2 この調査は、無記名ですので、自由記述欄については、率直なご意見をお書きください。
- 3 ご不明な点は、問い合わせ先までご連絡ください。

教育振興基本計画とは……

平成18年の教育基本法の改正により、地方自治体における教育の振興のための施策に関する基本的な計画を定めるよう努めなければならないと規定されたことに基づく計画です。

【問い合わせ先】 〒390-0874 松本市大手3-8-13 4F
松本市教育委員会 教育政策課 教育政策担当
TEL 0263-33-3980
FAX 0263-33-3934
Email: somu@city.matsumoto.lg.jp

1 あなたについてお聞きします。

問1 あなたは何歳ですか。

- | | | |
|--------|--------|---------|
| 1 20歳代 | 2 30歳代 | 3 40歳代 |
| 4 50歳代 | 5 60歳代 | 6 70歳以上 |

問2 あなたの勤務先は次のうちどれですか。

- | | | | | |
|-------|-------|-------|-------|--------|
| 1 保育園 | 2 幼稚園 | 3 小学校 | 4 中学校 | 5 高等学校 |
|-------|-------|-------|-------|--------|

問3 あなたは、ご自身の職務に「生きがい」、「やりがい」を感じますか。

- | | | | |
|-------|---------------|-----------|--------|
| 1 感じる | 2 どちらかといえば感じる | 3 あまり感じない | 4 感じない |
|-------|---------------|-----------|--------|

問4 あなたはご自身の職務について忙しいと感じていますか。

- | | | | |
|---------|-----------------|------------------|----------|
| 1 感じている | 2 どちらかというと感じている | 3 どちらかというと感じていない | 4 感じていない |
|---------|-----------------|------------------|----------|

問5 仕事をするうえで、あなたが、①時間をかけている業務、②負担感を感じている業務は、どのような業務ですか。(3つ以内の番号を記入) (①と②の回答は重複しても構いません)

① 時間をかけている業務				② 負担感を感じている業務			
--------------	--	--	--	---------------	--	--	--

- | | |
|---------------|-----------------|
| 1 保育・授業の準備 | 2 各種行事 |
| 3 学級経営・学年経営 | 4 園務・校務分掌 |
| 5 会議・打合せ | 6 事務処理 |
| 7 調査・報告書作成 | 8 研究・研修 |
| 9 保護者・PTA対応 | 10 地域・行政・関係団体対応 |
| 11 授業以外での学習指導 | 12 生徒指導 |
| 13 部活動指導 | 14 登下校指導 |
| 15 その他 () | |

問6 多忙を解消するために必要なことは何だと思えますか。(最もあてはまるもの1つに○)

- 1 教職員間の連携を密にし、仕事を分担するなど個々の仕事を減らす
- 2 調査や事務関係の書類の提出を少なくする
- 3 会議や研究会の効率化・スリム化を図る
- 4 学級定員の引き下げ
- 5 定時退勤日、ノ一部活デー、ノ一会議デーを徹底する
- 6 校務分掌の見直しなど校務の効率化を図る
- 7 年次有給休暇等の計画的な取得を推進する
- 8 ICT※1 機器の積極的な活用を促進する
- 9 支援員を増やす
- 10 家庭や地域との連携・協働を図る
- 11 外部人材を活用する
- 12 その他()

※1 ICT: Information and Communication Technology の略で、情報通信技術のこと。

問7 教職員の資質向上のためにどのような研修が必要だと思えますか。(あてはまるものすべてに○)

- 1 学級経営
- 2 教科等の指導方法
- 3 総合的な学習の時間の指導方法
- 4 ICT教育等の時代のニーズに応じた研修
- 5 児童・生徒の個に応じた指導方法
- 6 児童・生徒の理解や指導に関する研修
- 7 カウンセリング(メンタルヘルスも含む)
- 8 教職員の倫理観を高める研修
- 9 円滑な人間関係を築く能力を高める研修
- 10 民間企業の職場体験
- 11 海外研修
- 12 病気や障がい等への理解・支援に関する研修
- 13 その他()

問8 あなたは松本市に親しみや愛着を感じますか。

- 1 とても感じる
- 2 いくらか感じる
- 3 あまり感じない
- 4 まったく感じない
- 5 わからない

2 子どもの教育についてお聞きします。

問9 幼児教育の充実には、どのような取組みが必要だと思えますか。
(最もあてはまるもの1つに○)

- 1 「遊び」と「学び」の組織的、計画的指導の充実
- 2 発達状況に応じたきめ細かな対応
- 3 幼児教育と小学校教育との連携
- 4 保育士・幼稚園教諭の資質及び専門性の向上
- 5 親育ちの場の充実
- 6 地域人材の活用等地域の支援
- 7 つどいの広場※2の充実
- 8 今のままでよい
- 9 その他()

※2 つどいの広場: 乳幼児連れの親たちが、気軽に集い、語り合い、交流できる場として、児童館・児童センター等で実施しているもの。

問10 松本市の教育について「現在の状況」と「今後の重要度」について、それぞれ5段階であ
 なたの考えに最も近い番号を1つずつ選んで○をつけてください。

項目	【現在の状況】					【今後の重要度】				
	十分と感じる		十分と感じない			重要		重要でない		
	←		→			←		→		
1 ICTを活用した学び	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
2 メディア・リテラシー教育	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
3 英語教育	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
4 理科教育	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
5 異年齢、異学年集団での多様な学び	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
6 環境、エネルギー教育	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
7 芸術（音楽、美術等）、文化に接する機会	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
8 幼稚園・保育園・小学校の連携	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
9 小学校・中学校の連携	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
10 読書活動	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
11 道徳教育	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
12 健康と体力の向上	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
13 障がいのある子どもへの支援	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
14 いじめの防止・対応	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
15 不登校児童・生徒への支援	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
16 安全・安心な学校施設	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
17 松本版コミュニティスクール ^{※3}	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
18 学校から地域、家庭への情報発信	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
19 職業体験などのキャリア教育	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
20 外国籍の子どもへの日本語支援	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
21 防災教育	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
22 主体的・対話的で深い学び（アクティブラーニング） ^{※4}	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1

※3 松本版コミュニティスクール事業：「学校運営参画」、「学校支援」、「学校評価」を一体的、持続的に行うため、各学校に地域住民等によるコミュニティスクール運営委員会を設置し、公民館がコーディネート役となり、学校と地域の連携・協働を進め、地域での体験活動などを行うもの。

※4 主体的・対話的で深い学び：学習指導要領が目指す資質・能力を育むため、知識の習得に特化した、一方的な講義形式ではなく学習者の能動的な学習への参加を主眼とした学習法の総称

問 11 あなたが、学校教育等で特に子どもたちに学んでほしいこと3つ以内を選んでください。

- | | | |
|---------------------|---------------|---------------------|
| 1 基礎的な生活習慣 | 2 基礎学力 | 3 自ら学び、考え、主体的に行動する力 |
| 4 命の大切さ、思いやりの心 | | 5 情感豊かな心、情操 |
| 6 人間関係を築くコミュニケーション力 | | 7 我慢する力、やり遂げる粘り強さ |
| 8 社会常識、マナー | 9 社会に役立とうと思う心 | 10 自然、環境の大切さ |
| 11 郷土を愛する心 | 12 体力、運動能力 | 13 芸術的感性 |
| 14 創造性 | 15 その他（ | ） |

問 12 子どもの教育に関して課題は何だと思えますか。（あてはまるものすべてに○）

- | | | |
|------------------|---------------|-----------------|
| 1 基礎学力の低下 | 2 健康状態や体力の低下 | 3 基本的な生活習慣の乱れ |
| 4 いじめ問題 | 5 不登校問題 | 6 道徳心や規範意識等の低下 |
| 7 家庭環境等による教育格差 | 8 家庭の教育力の低下 | 9 地域の教育力の低下 |
| 10 学校・家庭・地域の連携不足 | 11 学校の施設や設備関係 | 12 教職員の資質や指導力不足 |
| 13 病気や障害等への理解不足 | 14 特になし | 15 その他（ |

3 家庭や地域の教育についてお聞きします。

問 13 あなたは、家庭での教育力向上にどのような取り組みが必要だと思えますか。

（最もあてはまるもの1つに○）

- | | |
|-------------------------|-----------------------|
| 1 子どもへの教育方法や心構えを学ぶ機会の設定 | 2 保護者同士の情報交換の場の設定 |
| 3 子どもと保護者が一緒に体験できる機会の充実 | 4 しつけや教育について相談できる場の充実 |
| 5 子どもと保護者が一緒に読書を行う機会の充実 | 6 食事を通じた家族だんらんの場の設定 |
| 7 大人が自ら見本となる意識の向上 | 8 その他（ |

問 14 あなたは、地域で子どもを育てるためにはどのような取り組みが必要だと思えますか。

（最もあてはまるもの1つに○）

- | | | |
|---------------------------------------|-------------------------|--------|
| 1 地域の大人が地域の子どもの関心を持ち、ほめたり、注意したり、声をかける | | |
| 2 大人同士の近所付き合いの活発化 | 3 地域内での子ども同士の遊び、スポーツの推進 | |
| 4 地域活動、行事への積極的参加 | 5 伝統・文化・芸能等の子どもへの伝承 | |
| 6 良好な治安、環境の維持 | 7 特になし | 8 その他（ |

問 15 あなたは、学校、家庭、地域が連携協力するためには何が必要だと思いますか。
(最もあてはまるもの1つに○)

- | |
|-------------------------|
| 1 運動会等の学校行事に保護者や地域住民の協力 |
| 2 子どもの地域行事等への積極的な参加 |
| 3 学校、保護者、地域住民の話し合いの機会 |
| 4 学校の授業への地域住民の協力 |
| 5 学校施設の地域への開放 |
| 6 学校開放日等の設置による地域の人の学校参観 |
| 7 学校から保護者や地域への情報提供 |
| 8 保護者の参画意識の向上 |
| 9 地域行事に参加できるような工夫 |
| 10 その他 () |

問 16 学校等が、地域に協力してもらいたいことがありますか。(あてはまるものすべてに○)

- | | | |
|------------------|-----------------------|-----------|
| 1 学校施設や花壇などの環境整備 | 2 部活動などの指導 | 3 子どもの見守り |
| 4 読み聞かせや図書の仕事 | 5 学習の補助(具体的に) | () |
| 6 農業体験などの指導 | 7 上記以外のボランティア活動(具体的に) | () |
| 8 特になし | 9 その他() | () |

4 その他のことについてお聞きします。

問 17 松本市が「学都松本」をめざしていることを知っていますか。

- | | |
|------------------|---------------------|
| 1 めざすまちの姿まで知っている | 2 内容はわからないが聞いたことはある |
| 3 全く知らない | |

問 18 あなたは、「まつもと市民生きいき活動」を知っていますか。

- | | |
|-------------|---------------------|
| 1 内容まで知っている | 2 内容はわからないが聞いたことはある |
| 3 全く知らない | |

問 19 あなたは、「松本市子どもの権利に関する条例」を知っていますか。

- | | |
|-------------|---------------------|
| 1 内容まで知っている | 2 内容はわからないが聞いたことはある |
| 3 全く知らない | |

問 20 新型コロナウイルス感染症が今後も子どもたちの教育に大きな影響を及ぼす可能性があります。現在の状況下における松本市の子どもたちの教育について不安を感じていることは何ですか。(最もあてはまるもの1つに○)

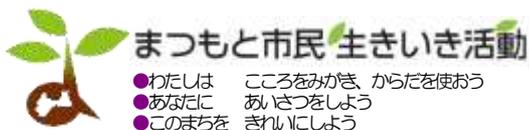
- | | |
|-----------------------------|--------------------------|
| 1 学習保障に関すること | 2 学校での感染症対策に関すること |
| 3 心のケアに関すること | 4 運動不足・体力の低下に関すること |
| 5 生活習慣のみだれに関すること | 6 学校行事に関すること |
| 7 部活動に関すること | 8 ICT 環境整備・オンライン指導に関すること |
| 9 対面によるコミュニケーションの機会減少に関すること | |
| 10 その他 () | |

問 21 松本市の学校教育について、ご意見があればお書きください。

問 22 松本市の生涯学習^{※5}、社会教育^{※6}について、ご意見があればお書きください。

※5 生涯学習：生涯にわたり自発的に学びの活動を続けていくこと ※6 社会教育：学校教育以外の組織的な教育活動

以上でアンケートは終了です。ご協力ありがとうございました。



「学都松本へ」

松本市の教育に関するアンケート調査

【調査ご協力のお願い】

市民の皆様には、日頃から松本市の教育にご理解とご協力をいただき誠にありがとうございます。

このたび、松本市教育委員会では教育に関する皆さまのご意見をお聴きし、今後の教育行政推進の参考にするとともに、「第3次松本市教育振興基本計画」を策定していく上での基礎資料とするため、アンケート調査を実施することといたしました。

お忙しいところ誠に恐縮ですが、このアンケートにご回答いただき、同封の封筒（切手及び差出人記入は不要です。）に入れて11月30日（月）までにご返送いただきますようお願い申し上げます。

なお、この調査は、他の目的には使用いたしませんので、調査の趣旨にご理解いただき、ご協力いただきますようお願い申し上げます。

また、この調査の結果につきましては、まとめ次第、松本市のホームページで公表する予定です。

令和2年10月 松本市教育委員会

～記入上の留意事項～

- 1 回答は、できるだけ宛名本人がご記入ください。
- 2 回答は、該当する番号に○印をしていただくか、回答欄にご記入ください。
- 3 この調査は、無記名ですので、自由記述欄については、率直なご意見をお書きください。
- 4 ご不明な点は、問い合わせ先までご連絡ください。

教育振興基本計画とは……

平成18年の教育基本法の改正により、地方自治体における教育の振興のための施策に関する基本的な計画を定めるよう努めなければならないと規定されたことに基づく計画です。

【問い合わせ先】 〒390-0874 松本市大手3-8-13 4F
松本市教育委員会 教育政策課 教育政策担当
TEL 0263-33-3980
FAX 0263-33-3934
Email: somu@city.matsumoto.lg.jp

1 あなたについてお聞きします。

問1 あなたは何歳ですか。

- | | | | |
|--------|--------|---------|--------|
| 1 10歳代 | 2 20歳代 | 3 30歳代 | 4 40歳代 |
| 5 50歳代 | 6 60歳代 | 7 70歳以上 | |

問2 あなたがお住まいの地区はどこですか。

- | | | | |
|----------------------|--------|--------|--------|
| 1 旧松本市 ^{※1} | 2 四賀地区 | 3 安曇地区 | 4 奈川地区 |
| 5 梓川地区 | 6 波田地区 | 7 その他 | |

※1 旧松本市：平成の合併前の松本市

問3 あなたは松本市に親しみや愛着を感じますか。

- | | | |
|------------|-----------|-----------|
| 1 とても感じる | 2 いくらか感じる | 3 あまり感じない |
| 4 まったく感じない | 5 わからない | |

2 子どもの教育についてお聞きします。

問4 幼児教育の充実には、どのような取り組みが必要だと思いますか。

(最もあてはまるもの1つに○)

- | | |
|--------------------------|----------------------------|
| 1 「遊び」と「学び」の組織的、計画的指導の充実 | |
| 2 発達状況に応じたきめ細かな対応 | 3 幼児教育と小学校教育との連携 |
| 4 保育士・幼稚園教諭の資質及び専門性の向上 | 5 親育ちの場の充実 |
| 6 地域人材の活用等地域の支援 | 7 つどいの広場 ^{※2} の充実 |
| 8 今のままでよい | 9 その他 () |

※2 つどいの広場：乳幼児連れの親たちが、気軽に集い、語り合い、交流できる場として、児童館・児童センター等で実施しているもの。

問5 子どもの教育について、あなたが関心のあることは何ですか。(最もあてはまるもの1つに○)

- | | | |
|------------------|----------------|--------------|
| 1 子どもの基礎学力 | 2 主体的に学ぶ力 | 3 子どもの体力 |
| 4 子どもの基本的な生活習慣 | 5 子どもの道徳心や規範意識 | 6 子どものいじめ問題 |
| 7 学校の施設・設備 | 8 教職員の指導力や専門性 | 9 家庭でのしつけ・教育 |
| 10 家庭でのコミュニケーション | 11 地域での子育て・教育 | |
| 12 学校・家庭・地域の連携 | 13 その他 () | |

問6 あなたは、松本市の子どもたちに、どのような子どもになってほしいと思いますか。

(最もあてはまるもの1つに○)

- | | |
|---------------------|----------------|
| 1 ルールやマナーを守る子ども | 2 健康で活発な子ども |
| 3 自分の意見をはっきりと言える子ども | 4 創造性が豊かな子ども |
| 5 思いやりややさしさを持った子ども | 6 努力できる子ども |
| 7 責任感を持った子ども | 8 意欲的に学習する子ども |
| 9 向上心やチャレンジ精神のある子ども | 10 夢を持っている子ども |
| 11 リーダーシップのある子ども | 12 ふるさとを愛する子ども |
| 13 その他 () | |
| 14 特にない | 15 わからない |

問7 子どもたちを取り巻く環境は、この数年、どのように変化してきたと思いますか。

(○は①～⑤ごとに1つ)

	増加・濃厚 ・向上	変わらない	減少・希薄 ・低下
① 家庭などでの生活体験の機会	3	2	1
② 地域社会での人間関係	3	2	1
③ 子どもと高齢者がふれ合う機会	3	2	1
④ インターネット・スマホなど多様な情報にふれる機会	3	2	1
⑤ 外国の人と接する機会	3	2	1

問8 子どもの教育に関して課題は何だと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

1 基礎学力の低下	2 健康状態や体力の低下	3 基本的な生活習慣の乱れ
4 いじめ問題	5 不登校問題	6 道徳心や規範意識等の低下
7 家庭環境等による教育格差	8 家庭の教育力の低下	9 地域の教育力の低下
10 学校・家庭・地域の連携不足	11 学校の施設や設備関係	12 教職員の資質や指導力不足
13 病気や障害等への理解不足	14 特になし	15 その他 ()

問9 新型コロナウイルス感染症が今後も子どもたちの教育に大きな影響を及ぼす可能性があります。現在の状況下における松本市の子どもたちの教育について不安を感じていることは何ですか。(最もあてはまるもの1つに○)

1 学習保障に関すること	2 学校での感染症対策に関すること
3 心のケアに関すること	4 運動不足・体力の低下に関すること
5 生活習慣のみだれに関すること	6 学校行事に関すること
7 部活動に関すること	8 ICT環境整備・オンライン指導に関すること
9 対面によるコミュニケーションの機会減少に関すること	
10 その他 ()	

問10 松本市の教育について「現在の状況」と「今後の重要度」について、それぞれ5段階であ
 なたの考えに最も近い番号を1つずつ選んで○をつけてください。

項目	【現在の状況】					【今後の重要度】				
	十分と感じる ←		→ 十分と感じない			重要 ←		→ 重要でない		
1 ICTを活用した学び	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
2 メディア・リテラシー教育	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
3 英語教育	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
4 理科教育	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
5 異年齢、異学年集団での多様な学 び	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
6 環境、エネルギー教育	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
7 芸術（音楽、美術等）、文化に接 する機会	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
8 幼稚園・保育園・小学校の連携	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
9 小学校・中学校の連携	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
10 読書活動	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
11 道徳教育	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
12 健康と体力の向上	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
13 障がいのある子どもへの支援	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
14 いじめの防止・対応	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
15 不登校児童・生徒への支援	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
16 安全・安心な学校施設	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
17 松本版コミュニティスクール ^{※3}	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
18 学校から地域、家庭への情報 発信	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
19 職業体験などのキャリア教育	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
20 外国籍の子どもへの日本語支援	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
21 防災教育	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
22 主体的・対話的で深い学び（ア クティブラーニング） ^{※4}	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1

※3 松本版コミュニティスクール事業：「学校運営参画」、「学校支援」、「学校評価」を一体的、持続的に行うため、各学校に地域住民等によるコミュニティスクール運営委員会を設置し、公民館がコーディネート役となり、学校と地域の連携・協働を進め、地域での体験活動などを行うもの。

※4 主体的・対話的で深い学び：学習指導要領が目指す資質・能力を育むため、知識の習得に特化した、一方的な講義形式ではなく学習者の能動的な学習への参加を主眼とした学習法の総称

3 家庭や地域での教育についてお聞きします。

問11 あなたは、家庭での教育力向上にどのような取り組みが必要だと思いますか。

(最もあてはまるもの1つに○)

- 1 子どもへの教育方法や心構えを学ぶ機会の設定
- 2 保護者同士の情報交換の場の設定
- 3 子どもと保護者が一緒に体験できる機会の充実
- 4 しつけや教育について相談できる場の充実
- 5 子どもと保護者が一緒に読書を行う機会の充実
- 6 食事を通じた家族だんらんの場の設定
- 7 大人が自ら見本となる意識の向上
- 8 その他 ()

問12 あなたは、地域で子どもを育てるためにはどのような取り組みが必要だと思いますか。

(最もあてはまるもの1つに○)

- 1 地域の大人が地域の子どもに関心を持ち、ほめたり、注意したり、声をかける
- 2 大人同士の近所付き合いの活発化
- 3 地域内での子ども同士の遊び、スポーツの推進
- 4 地域活動、行事への積極的参加
- 5 伝統・文化・芸能等の子どもへの伝承
- 6 良好な治安、環境の維持
- 7 特になし
- 8 その他 ()

問13 あなたは、学校、家庭、地域が連携協力するためには何が必要だと思いますか。

(最もあてはまるもの1つに○)

- 1 運動会等の学校行事に保護者や地域住民の協力
- 2 子ども地域行事等への積極的な参加
- 3 学校、保護者、地域住民の話し合いの機会
- 4 学校の授業への地域住民の協力
- 5 学校施設の地域への開放
- 6 学校開放日等の設置による地域の人々の学校参観
- 7 学校から保護者や地域への情報提供
- 8 保護者の参画意識の向上
- 9 地域行事に参加できるような工夫
- 10 その他 ()

問 19 リカレント教育^{※5} や社会人の学び直しが注目されていますが、あなたは今後、教育機関等で学習したいと思いますか。

1 すでに学習している	2 今後学習してみたい
3 環境が整備されれば学習してみたい	4 学習したいと思わない

※5 リカレント教育：義務教育または基礎教育の修了後、生涯にわたって教育と他の諸活動（労働、余暇など）を交互に行う教育システムのこと。スウェーデンやフランスの有給教育制度、アメリカ合衆国のコミュニティ・スクール、日本の夜間制社会人大学院、放送大学などがその例である。

問 20 あなたは、昨年1年間に市内の次の施設をどのくらい利用しましたか。

教育関係施設	0回	1、2回	3～5回	6～9回	10回以上
1 地区公民館（公立）	1	2	3	4	5
2 体育施設	1	2	3	4	5
3 図書館	1	2	3	4	5
4 美術館	1	2	3	4	5
5 博物館 ^{※6}	1	2	3	4	5
6 学校施設（学校行事を除く）	1	2	3	4	5
7 市内の文化財（松本城など）	1	2	3	4	5
8 文化会館 ^{※7}	1	2	3	4	5

※6 博物館：市立博物館、国宝開智学校校舎、歴史の里、松本民芸館、考古博物館など

※7 文化会館：まつもと市民芸術館、音楽文化ホール、波田文化センター、キッセイ文化ホール（長野県松本文化会館）など

問 21 あなたは、週に何回、どんなスポーツを行っていますか。

1 ほとんどしない	2 1回程度	3 2回程度	4 3回以上
(スポーツの種類：)			

問 22 あなたがもっと活用したい又は皆に活用してほしいと思う施設はどれですか。(3つ以内に○)

1 教育文化センター	2 学校施設	3 公民館	4 図書館	5 松本城
6 美術館	7 博物館	8 体育施設	9 文化会館	10 公園
11 特になし	12 その他 ()			

問 23 問 22 の教育関係施設に期待すること、ご意見がありましたらお書きください。

5 その他のことについてお聞きします。

問 24 松本市が「学都松本」をめざしていることを知っていますか。

- | | |
|------------------|---------------------|
| 1 めざすまちの姿まで知っている | 2 内容はわからないが聞いたことはある |
| 3 全く知らない | |

問 25 あなたは、「まつもと市民生きいき活動」を知っていますか。

- | | |
|-------------|---------------------|
| 1 内容まで知っている | 2 内容はわからないが聞いたことはある |
| 3 全く知らない | |

問 26 あなたは、「松本市子どもの権利に関する条例」を知っていますか。

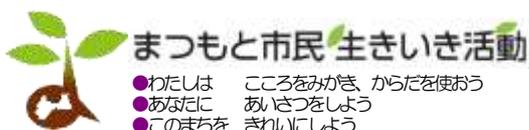
- | | |
|-------------|---------------------|
| 1 内容まで知っている | 2 内容はわからないが聞いたことはある |
| 3 全く知らない | |

問 27 松本市の学校教育について、ご意見があればお書きください。

問 28 松本市の生涯学習^{※8}、社会教育^{※9}について、ご意見があればお書きください。

※8 生涯学習：生涯にわたり自発的に学びの活動を続けていくこと ※9 社会教育：学校教育以外の組織的な教育活動

以上でアンケートは終了です。ご協力ありがとうございました。



「学都松本へ」

松本市教育振興基本計画策定のためのヒアリング調査について

1 調査の概要

(1) 調査目的

第3次松本市教育振興基本計画を新たに策定するにあたり、アンケート調査の結果を補完し、松本市における教育の現状と課題を把握するために、市内の教育関連施設・団体に対してヒアリング調査を実施したもの

(2) 調査対象

本調査では、アンケートでは聞き取ることができない松本市の教育を取り巻く現状を把握するため、以下の教育関連施設・機関・団体を対象にヒアリング調査を実施

ア 社会教育に関する団体

- ・
- ・
- ・
- ・

イ 学校教育に関する施設

- ・
- ・

ウ 子育て・子育て支援に関する施設・団体

- ・
- ・
- ・

エ 特別な支援を必要とする子どもたちへの教育に関する機関

- ・
- ・

(3) 調査方法

ア 株式会社名豊にて依頼文・シート作成

イ 松本市教育委員会からヒアリング対象先へシート依頼
(日程調整及びWEB会議環境の確認)

ウ 名豊からヒアリング対象先にWEB ID送信もしくはWEB機材送付

エ 指定日時にWEB実施

(4) 調査実施時期

令和2年12月～令和3年1月

(5) 調査項目

ア 社会教育に関する団体

- ・ 松本市の社会教育に期待すること、特に重点を置いてほしいこと
- ・ 現在、社会教育、地域が抱えている課題について
- ・ 学習成果を子どもの教育やまちづくりに生かすための仕組みづくりに必要なこと
- ・ 松本市で取り組んでいる教育施策に関し、ご意見などがありましたら、自由にご記入ください。

イ 学校教育に関する施設

- ・ 松本市の子どもたちについて感じること
- ・ 松本市の子どもたちを取り巻く教育環境について感じること
- ・ 現在事業を運営している中での課題
- ・ 松本市の教育について特に重点を置くべきこと

ウ 子育て・子育て支援に関する施設・団体

- ・ 松本市の子どもたちについて感じること
- ・ 松本市の子どもたちを取り巻く教育環境について感じること
- ・ 現在事業を運営している中での課題
- ・ 松本市の教育について特に重点を置くべきこと

エ 特別な支援を必要とする子どもたちへの教育に関する機関・団体

- ・ 活動内容
- ・ 地域に期待することについて
- ・ 学校教育における課題について
- ・ 松本市に期待すること、特に重点を置いてほしいこと

第2次計画の振り返りからの課題の抽出

別添4

基本施策1 子どもの教育の充実

「施策の方針(1) 子どもの権利の推進」についての課題

現計画の方向性	施策展開の方向性 (ア) 子どもの権利条例の普及 施策展開の方向性 (イ) 子どもの権利侵害に対する取組み 施策展開の方向性 (ウ) 子どもの貧困対策に関する取組み 施策展開の方向性 (エ) 子どもの自主性を育む取組み
---------	--

1 第2次計画の成果と課題	(ア) ・子どもの権利条例の基本理念に基づき、子どもに関わるすべての大人が連携し、協働して、すべての子どもにやさしいまちづくりを進めるため、子どもだけでなく、子どもに関わる大人も含め、市民全体に、子どもの権利に対する理解が広がるよう、子どもの権利学習会の開催、子どもの権利の日市民フォーラムの開催、子どもの権利学習パンフレットの活用等で積極的に普及・啓発に取り組んだ。意識調査により子どもの権利に関する認知度は〇〇%となり、更なる理解を深めるような取組みが課題 (イ) ・子どもの権利擁護に必要な支援をするため、子どもの権利相談室「こころの鈴」で擁護委員と相談員が、子どもの悩みや苦しみを受け止め、一緒に解決を目指した。相談件数は〇〇件となり、必要に応じて専門の関係機関と連携を強化していく必要がある。 (ウ) ・子どもの未来応援事業として、子どもの孤食や欠食を防ぐとともに、学習支援や保護者支援を行い地域の中に健康と安全を守るための子どもの居場所を〇〇箇所を設置した。地域の支援者拡大とネットワークの集約が課題 (エ) ・子ども未来委員会を設置し、子どもの意見表明や参加の促進を図り、市政や地域の課題を学び、松本のまちづくりについて市議会や市長と意見交換を行った。意見交換の内容を具体化していく取組みが今後の課題
2 各種データ等調査結果	【教育に関するアンケート (児童・生徒)】 ・自己肯定感を感じている児童生徒の割合は〇〇%で、地域の行事に良く参加すると答えた子どもはより自己肯定感を感じる傾向がある 【子どもの権利に関する意識調査】 ・子どもの権利条例を知っている保護者の割合が〇%から×%へ向上しているが、児童生徒の割合は△%から●%へと低下した
3 第3次計画に向けた課題	・子どもの権利条例は、子どもたちへの継続的な周知が必要と考えられ、各学校での取組みを教員と連携しながら改善していく必要がある。 ・子どもの権利侵害への救済を□□等と連携する体制作りが急務 ・子ども食堂の取組みを拡充するため、学習支援団体のネットワーク化に着手し、支援手法の相互学習や研修の機会づくりに取り組む ・子ども未来委員会の活動を一部の児童生徒だけでなく、当たり前活動とするため未来委員会経験者や地域のサポーターと共に活性化していく仕組みづくりが必要

第2次計画の方向性

第2次計画の振り返り

アンケート調査からの現状課題

第3次計画に向けた課題

第3次松本市教育振興基本計画体系・骨子（案）

現計画の体系・骨子		現計画の振り返りからの主な現状と課題	市民策定委員会での意見	視点（重点課題）	第3次松本市教育振興基本計画の体系・骨子（案）	
					施策	施策の方針
<p>「学都松本」としてめざす まちの姿</p> <p>「学び続けるまち」 市民一人ひとりが自らの意思で何を学ぶかを決 め、学び続けるまち 「共に学ぶまち」 市民の学びを地域や行政が協働してサポートし、 「共に学ぶまちづくり」を推進するまち 「次代に引き継ぐまち」 市民一人ひとりが学んだ知識・技術を社会 に生かして、次代に引き継ぐまち</p>	<p>施策1 子どもの教育の充実</p> <p>(1)子どもの権利の推進</p>				<p>めざす子どもの教育</p>	<p>施策1</p> <p>(1)</p>
	(2)子育て・幼児教育の充実					
	(3)学校教育の充実					
	(4)学校と家庭と地域の連携					
	(5)学校給食と食育の推進					
	(6)環境教育の推進					
	(7)子ども関係施設の整備・充実					
<p>第2次計画の振り返り</p>		<p>委員会での 意見</p>	<p>第3次計画に向け た重点課題</p>	<p>第3次計画の 骨子</p>		